

大切なものがあるから

Kb Device

KB-N シリーズ | 取扱説明書

2019.10.15 初版

KB-N シリーズ

KB-N320AS / KB-N420A / KB-N520A / KB-N620A

取扱説明書 - 操作・設定編 -



お客様へ

このたびは、弊社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 **ケービデバイス**

限定保証

(株)ケービデバイス(以下、当社)は、KB-N シリーズ(以下、本機)が頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

つきましては、当社へ返送していただいたもので、当社が点検した上で材料および仕上げに欠陥があると判断した場合は、当社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 5 年間かつ日本国内で使用される本機についてのみ有効なものとなります。

免責事項

- ① 当社は、市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、保証条件以外のものは一切保証いたしません。
- ② いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用により発生した損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。
また、そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。
- ③ お客様は本機の使用、ならびに本機を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。
この保証は、最初の購入者であるお客様に対して適用され、お客様が本機を転売された第三者には適用されません。
- ④ 当社は、第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる要求に関しても責任を負わないものとします。
- ⑤ 下記にあげる項目は、保証の対象外とさせていただきます。
 - 火災、地震、第三者による行為、その他の事故により本機に不具合が発生した場合。
 - お客様が本機に手を加えて改造、修理した場合。
 - 本マニュアルに記載されている内容を守らないことで発生した損害等について。
 - お客様の故意、もしくは過失・誤用が起因して発生した損害等について。
 - アース接続が行われていないことで発生した損害等について。

内容

安全にお使い頂くために	8
使用上のご注意	11
1 章 はじめに	1-1
1-1 取扱説明書について	1-1
1-2 著作権について	1-1
1-3 個人情報の保護について	1-1
1-4 商標について	1-1
2 章 PC から本機へアクセスする	2-1
2-1 PC の接続準備	2-1
2-1-1 SmartManager をインストールする	2-1
2-1-2 SmartManager の表示言語を変更する	2-2
2-2 SmartManager の使い方	2-3
2-2-1 カメラのアドレスを検索する / カメラにアクセスする	2-3
2-2-2 カメラのアドレスを変更する	2-6
2-2-3 その他の使い方	2-8
3 章 ライブ画面	3-1
3-1 ライブ画面上の各種アイコンの見方	3-2
3-2 スナップショットを取得する	3-4
3-3 デジタルズームを行う	3-5
3-4 マニュアルトリガーを作動させる	3-6
3-5 レンズ調整をする	3-7
3-6 クイックメニューの使い方	3-9
4 章 各種設定	4-1
4-1 基本設定	4-2
4-1-1 ユーザー -アカウント情報を設定する-	4-3
- ログインユーザーを追加する	4-4
- 操作権限・パスワードを変更する	4-6
- ログインユーザーを削除する	4-7
4-1-2 ネットワーク -IP アドレスを設定する-	4-8
4-1-3 ビデオ&イメージ -ストリーム情報を設定する-	4-9
4-1-4 オーディオ -音声入出力を設定する-	4-12
- ライブ音声を出力する	4-13
- 外部スピーカーへ音声を出力する	4-14
4-1-5 日付&時間 -システム時刻を設定する-	4-15
4-2 ビデオ&イメージ	4-18
4-2-1 基本 -ストリーム設定を変更する-	4-18

4-2-2	プライバシーマスク -エリア非表示を有効にする-	4-19
-	マスクエリアを設定する	4-20
-	マスクエリアを削除する	4-22
4-2-3	ハイストリーム -ROI 機能を有効にする-	4-23
-	ROI(関心領域)を設定する	4-24
-	ROI(関心領域)を削除する	4-27
4-2-4	カメラセットアップ -カメラ映像を調整する-	4-28
4-2-5	OSD -タイトルや時刻を表示する-	4-35
4-3	オーディオ	4-38
4-4	イベント	4-39
4-4-1	イベント入力 > オンブート -起動検知を有効にする-	4-39
4-4-2	イベント入力 > アラーム入力 -接点入力を有効にする-	4-40
4-4-3	イベント入力 > マニュアルトリガー -手でイベントを発生させる-	4-41
4-4-4	イベント入力 > モーション検知 -動き検知を有効にする-	4-42
-	モーション検知エリアを設定する	4-43
-	検知エリア内の感度を設定する	4-45
-	検知エリアを削除する	4-46
4-4-5	イベント入力 > ネットワークロス -接続不良検知を有効にする-	4-47
4-4-6	イベント入力 > AIHM	4-48
4-4-7	イベント入力 > タイムトリガー -定期的にイベントを発生させる-	4-49
4-4-8	イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-	4-51
-	カメラ妨害検知を有効にする	4-53
-	インテリジェントモーションを有効にする	4-54
-	侵入検知を有効にする	4-56
-	ハイストリームの動的関心領域の検出条件を設定する	4-59
-	VCA 機能無効エリアを設定する	4-60
-	ビデオコントロール (背景を認識する)	4-61
4-4-9	イベント出力 > SMTP(Eメール送信) -メールを送信する-	4-62
4-4-10	イベント出力 > FTP&JPEG -FTP サーバーへ通知する-	4-64
4-4-11	イベント出力 > アラーム出力 -接点出力する-	4-67
4-4-12	イベント出力 > オーディオアラート	4-68
4-4-13	イベント出力 > 録画	4-69
4-4-14	イベント出力 > XML 通知	4-73
4-4-15	イベント出力 > ブースト -ブースト出力する-	4-74
4-4-16	イベント出力 > 通知サーバー	4-76
4-4-17	イベント出力 > Hi-Link	4-77
4-4-18	イベントマップ -イベント入力と出力を関連付ける-	4-78
4-5	システム	4-82

4-5-1	インフォメーション -機器情報を確認する-	4-83
-	デバイス名を変更する	4-83
-	ロケーション設定を設定する	4-83
4-5-2	セキュリティ > ユーザー -アカウント情報を設定する-	4-84
4-5-3	セキュリティ > IP フィルタリング -アクセス制限をかける-	4-85
4-5-4	セキュリティ > OpenVPN	4-88
4-5-5	セキュリティ > 日付&時刻	4-89
4-5-6	ネットワーク > 基本 -ネットワークに接続する-	4-90
-	IPv4 アドレスを設定する	4-91
-	IPv6 アドレスを設定する	4-91
-	DNS を設定する	4-92
-	ホスト名を設定する	4-92
-	ポート番号を設定する	4-93
-	リンクスピードコントロール	4-93
4-5-7	ネットワーク > DDNS -DDNS サーバーを設定する-	4-94
4-5-8	ネットワーク > RTP	4-95
4-5-9	ネットワーク > UPnP	4-96
4-5-10	ネットワーク > QoS	4-97
4-5-11	ネットワーク > NAT	4-98
4-5-12	ネットワーク > Zeroconf	4-99
4-5-13	ネットワーク > Bonjour	4-100
4-5-14	言語 -表示言語を設定する-	4-101
4-5-15	メンテナンス	4-102
-	本機の再起動 / 設定の初期化を行う	4-102
-	FW を更新する	4-103
-	各種設定を外部に出力する	4-104
-	各種設定をインポートする	4-104
-	IV ライセンス	4-104
-	レンズ (KB-N420A、KB-N520A、KB-N620A)	4-104
4-5-16	サポート	4-105
-	ログ情報を検索・ダウンロードする	4-105
-	機器レポートを確認する	4-107
-	機器の状態を確認する	4-107
5	検索・再生・バックアップ	5-1
5-1	検索・再生画面上的の各種アイコンの見方	5-2
5-2	タイムサーチする	5-4
5-3	イベントサーチする	5-6
5-4	バックアップする	5-8

6 章 工場出荷時の設定一覧.....	6-1
7 章 トラブルシューティング.....	7-1
8 章 製品仕様.....	8-1
8-1 KB-N320AS.....	8-1
8-2 KB-N420A.....	8-3
8-3 KB-N520A.....	8-5
8-4 KB-N620A.....	8-7

安全にお使い頂くために

- ・ 本機をご使用になる前に、必ず本書をよく読んでください。
- ・ 本書は必ず保管し、使用上不明な点などがある場合には再読し、ご確認ください。
- ・ 本書を十分理解せずに本機をご使用にならないでください。
- ・ KB-N320AS / KB-N420A / KB-N520A / KB-N620A の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ KB-N シリーズは、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置などの人命、事故に関わる特別な品質、信頼性などが要求される用途でご使用にならないでください。
- ・ KB-N シリーズは、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。
- ・ 第三者からの不正アクセス防止のため、パスワードは必ず変更してください。
- ・ 本書に載っている挿絵は、実際のものとは若干異なる場合があります。

【 表示および図記号について 】

本書では、本製品を安全に正しくご使用頂くために、さまざまな表示をしています。

内容をご理解の上、本文をよくお読みください。

注意記号	禁止記号	指示記号
		
一般注意	一般禁止 接触禁止 分解禁止	一般指示 電源を抜く アース接続



警告

正しくご使用頂けない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

- **水にぬらさない**



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所（温度、湿度変化の激しい場所）や水の入る場所に設置しないでください。

- **指定の電源電圧を超えない**



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。
火災および感電の恐れがあります。

- **分解、改造をしない**



本製品を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。メンテナンスや検査が必要な場合には、製品を購入いただいた販売店にご連絡ください。

- **液体や金属片を上に乗かない、挿入しない**



本製品の上に、水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本体内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

- **異常が発生したとき**



以下の場合には直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- ・ 本体から煙や異臭または異音が発生したとき
- ・ 落下などにより本体または電源コードが損傷したとき

- **落雷時は触れない**



落雷があったときは、本体やケーブルに触れないでください。感電の恐れがあります。落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用頂けない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● めれた手で触れない



濡れた手で本体およびケーブルに触れないでください。
感電の恐れがあります。

● コードを置いたままにしない



ケーブル類を通路に置いたままにしないでください。
通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。
本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。
異物の除去のために薬剤(シンナー、溶剤など)は使用しないでください。

● 使用する場所に注意



以下の場所で使用または保管しないでください。

- ・ 温度が極端に低い、高い場所
- ・ 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
- ・ 埃が多い場所
- ・ 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレホンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

● 法規に準拠した廃棄を



本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

使用上のご注意

仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本製品を使用しないでください。

強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。

電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、本製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようにしてください。

本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性があります。

その場合、使用中のデータの損傷や記録ができないことがあります。

無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。

本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。

しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動に繋がる場合があります。

本製品は、外部機器(センサー、オーディオ機器、PC、レコーダーなど)と接続して使用するため、外部要因による誤作動の恐れがあります。

安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。

本製品から出力される映像情報は個人情報やプライバシーに係わる機密情報が含まれる場合があります。

「個人情報保護法」に準拠した取り扱いを実施されることを推奨致します。

本製品は、精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。

火災や感電、本体の破損に繋がります。

運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を弊社は負うことができません。

あらかじめご了承ください。

本製品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。

(ハードウェア、ソフトウェア、文書など)

設置に関する注意事項

- **本機を屋外に設置する場合、必ず STP ケーブルの使用及び接地工事を行い、金属の支柱や壁面に設置する際は設置面とカメラを絶縁してご利用ください。**

ネットワークに関する注意事項

本機をネットワークに接続して使用する場合、以下のような被害を受けることが考えられます。

1. 本機を経由した情報漏えいや流出
2. 悪意をもった第三者による本機への不正操作
3. 悪意をもった第三者による本機への妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策を含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- PC が接続されているシステムで本機をしようする場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に(1週間に1回程度)行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名、パスワードを初期値から変更しログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報(ユーザー名、パスワード)、アラームメール情報、FTP サーバー情報、DDNS サーバー情報などをネットワーク上に漏洩させないため、ユーザー認証でアクセス制限するなどの対策を実施する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ず全てのブラウザを閉じる。
- 管理者パスワードは定期的に変更する。
- 本機、ケーブルなどが用意に破壊されるような場所に設置しないこと。

録画(SD)に関する注意事項

- 録画機能は、お客様自身の責任においてご利用ください。
- MicroSD カードに録画されない、再生できないことに関して、お客様に発生する一切の損害、お客様の損失利益その他の派生的または付随的損害、及び第三者からお客様になされた損害賠償請求に基づく損害については、当社は一切責任を負いたしません。
- MicroSD カードは、本機の電源を切ってから取り付け、取り外しを行ってください。また、取り外しの前に、Web ページにて「デバイスの取り外し」操作を行ってください。
- 設置後に事前に録画を行い、正常に再生できることを確認してください。
- MicroSD カードは消耗品です。定期的に変更を行ってください。
- 本機、または MicroSD カードを譲渡する場合、情報流出に注意してください。MicroSD カードを破棄する場合、情報流出を防ぐため、データ消去ソフトまたは物理的に破壊することをお勧めします。

VCA 機能に関する注意事項

- VCA 機能は、お客様自身の責任においてご利用ください。
- 撮影環境や被写体の性質や頻度によって検知精度が大きく変化します。システムでの運用時は必ず事前検証をおこない、検知精度を理解したうえで利用してください。
- 検知精度に関するクレームや精度向上に関するお問合せには対応できません。
- VCA 機能は、記録映像の検索再生を容易にするための補助機能です。誤検知の際にお客様の業務や財産に影響を与えるようなシステムでの利用は避けてください。
- VCA 機能での誤検知または未検知に関して、お客様に発生する一切の損害、お客様の損失利益その他の派生的または付随的損害、及び第三者からお客様になされた損害賠償請求に基づく損害については、当社は一切責任を負いません。

DDNS 機能に関する注意事項

- DDNS 機能は、お客様自身の責任においてご利用ください。
- DDNS 機能を利用することに関して、お客様に発生する一切の損害、お客様の損失利益その他の派生的または付随的損害、及び第三者からお客様になされた損害賠償請求に基づく損害については、当社は一切責任を負いません。

1章 はじめに

1-1 取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書と取扱説明書 -設置編-の2部構成になっています。

本書では、クライアント PC(以下、PC)から本機へアクセスする方法と本機の各種機能および設定方法について説明しています。

本機の設置方法については、「取扱説明書 -設置編-」をお読みください。

1-2 著作権について

お客様が本機で録画した画像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと、著作権法等に抵触する場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、防犯などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

1-3 個人情報の保護について

本機で撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。

プライバシー侵害に当たる可能性もありますので、映像情報については適正にお取り扱いください。

1-4 商標について

・Internet Explorer®およびWindows Media®Playerは米国及びその他の国における Microsoft Corporation. の商標または登録商標です。

・BonjourはApple Computer, Inc.の商標または登録商標です。

・STARVISは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

・その他に記載の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

本書中では、下記の通称及び略称で表記されている場合があります。ご了承ください。

Internet Explorer® ⇒ Internet Explorer

Windows Media®Player ⇒ Windows Media Player

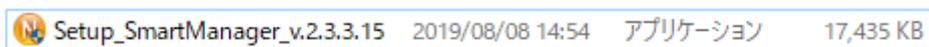
2章 PC から本機へアクセスする

2-1 PC の接続準備

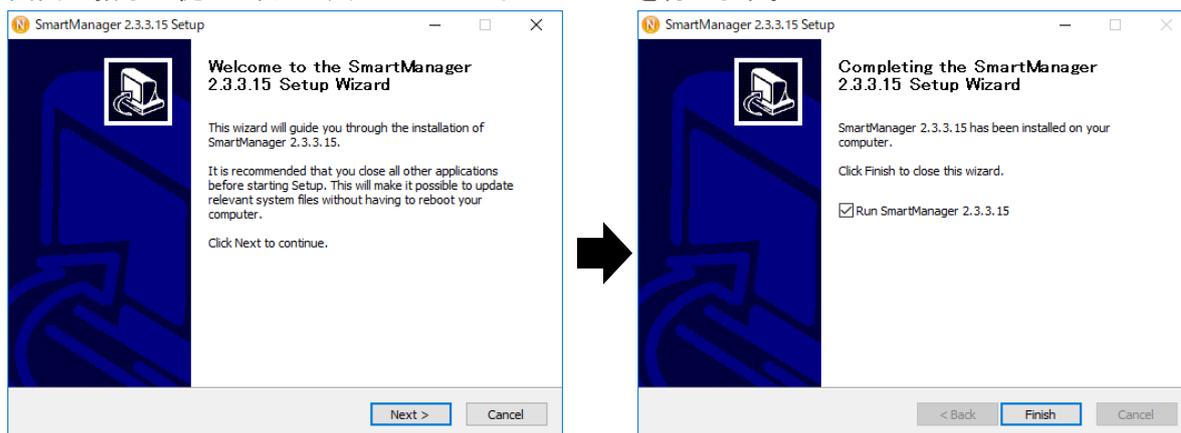
2-1-1 SmartManager をインストールする

SmartManager は、本機の IP アドレスを自動的に検索・表示するアプリケーションです。
下記手順にそって、アプリケーションのインストールを行ってください。

1. 同梱されている CD-ROM を PC にセットし、読み込みます。
2. CD-ROM 内の「Setup_SmartManager」をダブルクリックし、インストーラーを起動します。



3. 画面の指示に従って、アプリケーションのインストールを行います。



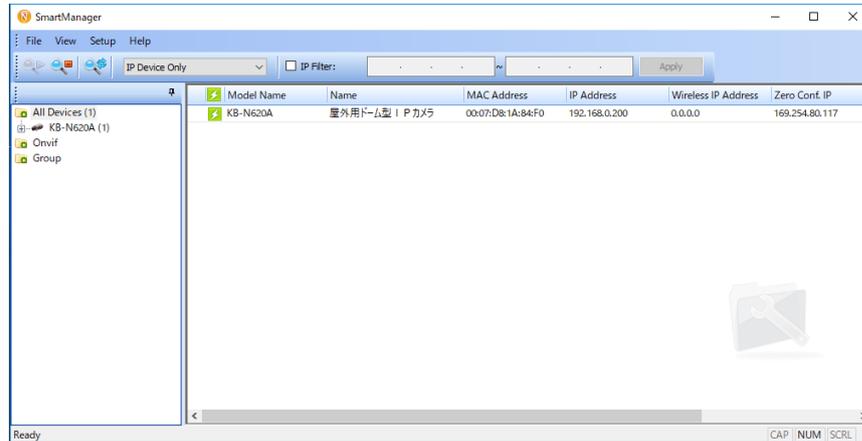
4. インストール後、「Finish」をクリックして完了です。
※「Run SmartManager」にチェックを入れた状態で「Finish」をクリックすると、インストーラーの終了とともに、SmartManager が起動します
SmartManager の使い方については、「2-2 SmartManager の使い方 (p.2-3)」をご覧ください。

2-1-2 SmartManager の表示言語を変更する

本アプリの初回起動時、表示言語は英語になっています。

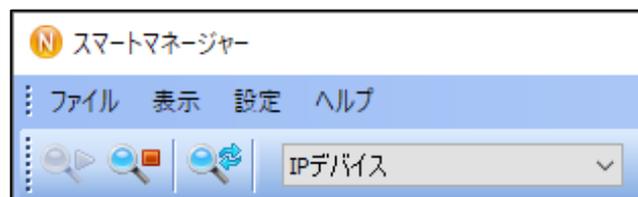
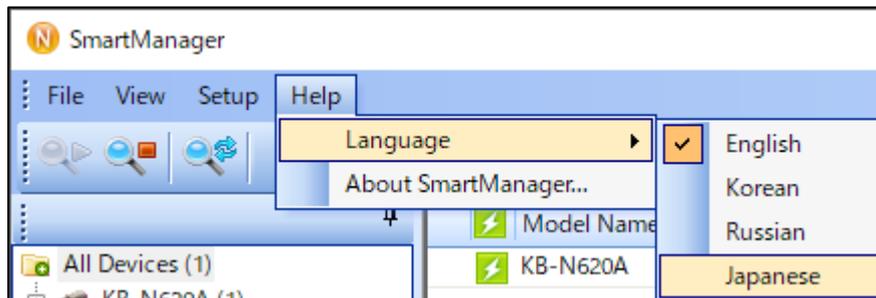
下記手順で、表示言語を日本語に変更できます。

1. インストール済みの SmartManager を起動します。



2. 「Help」 > 「Language」 > 「Japanese」の順にクリックして完了です。

※クリック後、本アプリの表示言語が日本語表記になります。

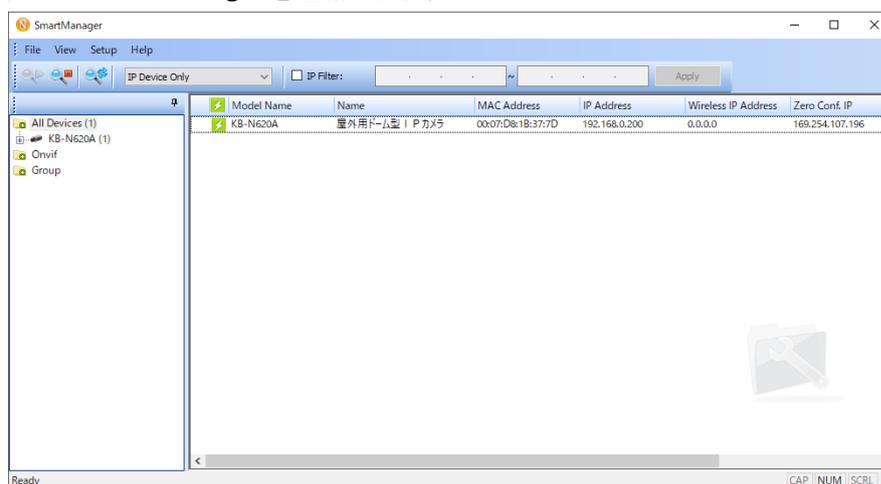


2-2 SmartManager の使い方

2-2-1 カメラのアドレスを検索する / カメラにアクセスする

以下の手順で SmartManager から本機へアクセスできます。

1. インストール済みの SmartManager を起動します。

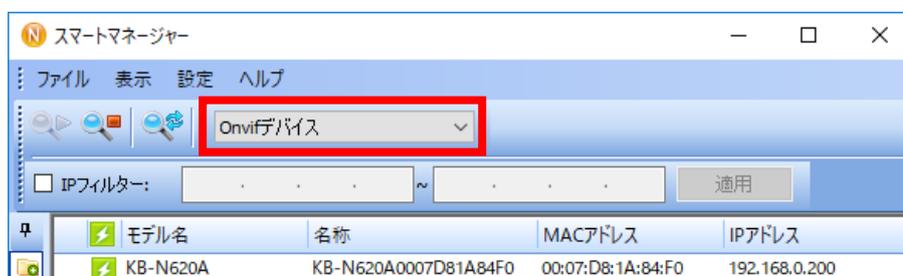


2. 起動後、表示エリアに検索済みのカメラ情報が一覧で表示されます。

Model Name	Name	MAC Address	IP Address	Wireless IP Address	Zero Conf. IP
KB-N620A	屋外用ドーム型 I Pカメラ	00:07:D8:1B:37:7D	192.168.0.200	0.0.0.0	169.254.107.196

カメラ情報が表示されない場合は、下記事項をご確認ください。

- 更新アイコン  をクリックして、カメラの再検索を行う。
- カメラが正常に通電されているか。
- PC のネットワークアダプター機能が正しく設定されているか。
- PC のセキュリティソフトにブロックされていないか。
- 検索条件を「IP デバイス」から「Onvif デバイス」に変更して検索できるか。



「Onvif デバイス」検索の場合、PC とカメラを同じネットワークエリア内に設定する必要があります。

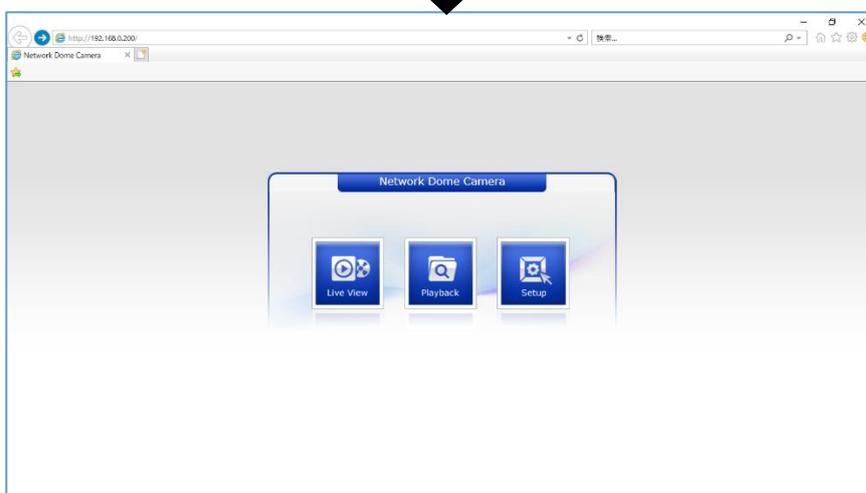
カメラのアドレスを検索する / カメラにアクセスする(つづき)

3. 一覧に表示されているカメラ行をダブルクリックすると、選択したカメラへアクセスします。
※自動的に Web ブラウザーが起動します。

<< 注意 >>

お使いの PC のデフォルトの Web ブラウザーが Internet Explorer11 である必要があります。

Model Name	Name	MAC Address	IP Address	Wireless IP Address	Zero Conf. IP
KB-N620A	屋外用ドーム型 I Pカメラ	00:07:D8:1B:37:7D	192.168.0.200	0.0.0.0	169.254.107.196



既に接続先アドレスが判明している場合は、Web ブラウザーを起動後、直接カメラアドレスを入力することでもアクセスが可能です。

例：本機の IP アドレスが「192.168.0.200」の場合「http://192.168.0.200」と入力して検索すると、アクセスできます。

<< 注意 >>

Web ブラウザーは Internet Explorer11 をご使用ください。

Internet Explorer の表示倍率(拡大(Z))は、100%でご使用ください。

Internet Explorer の互換性表示設定を解除してご使用ください。

本機にアクセスできない場合は、下記事項をご確認ください。

- PC とカメラが同じネットワークエリア内になるように設定できているか。
- PC のネットワークアダプターが正しく設定できているか。
- Web ブラウザーから直接アドレスを入力した場合、入力に間違いがないか。

カメラのアドレスを検索する / カメラにアクセスする(つづき)

4. ライブ画面の見方や各種設定変更の方法については、各章をご覧ください。



ライブ画面に移行します。
詳しくは、「3 章 ライブ画面 (p.3-1)」をご覧ください。

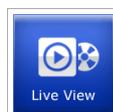


MicroSD カードに録画した映像を検索・再生画面に移行します。
詳しくは、「5 章 検索・再生・バックアップ (p.5-1)」をご覧ください。



各種設定画面に移行します。
詳しくは、「4 章 各種設定 (p.4-1)」をご覧ください。

Web ブラウザーを起動してから初めてアクセスした場合は、ログイン画面が表示されます。
ログインを要求された際は、ユーザー名とパスワードを入力して各画面にアクセスしてください。



Windows セキュリティ

iexplore.exe

サーバー 192.168.0.200 がユーザー名とパスワードを要求しています。
サーバーの報告によると、これは KB-N620A からの要求です。

警告: ユーザー名とパスワードは、セキュリティで保護されていない接続で基本認証を使用して送信されます。

ユーザー名

パスワード

資格情報を記憶する

OK キャンセル

本機の初期ユーザー名とパスワードは下記のとおりです。※入力間違いにご注意ください。

- ユーザー名 … admin
- パスワード … admin

接続後は、必ず「4-1-1 ユーザー(操作権限・パスワードを変更する) (p.4-6)」を参照し、パスワードの変更を行ってください。

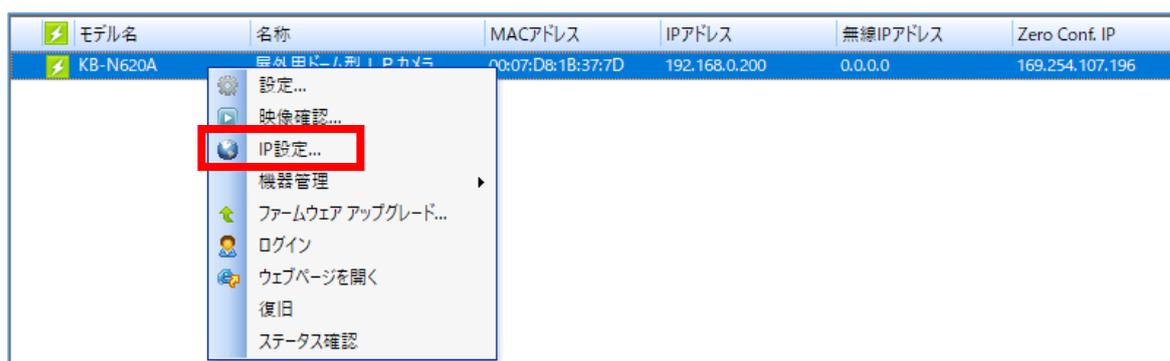
2-2-2 カメラのアドレスを変更する

以下の手順で、検索済みのカメラアドレスを任意のアドレスへ変更できます。

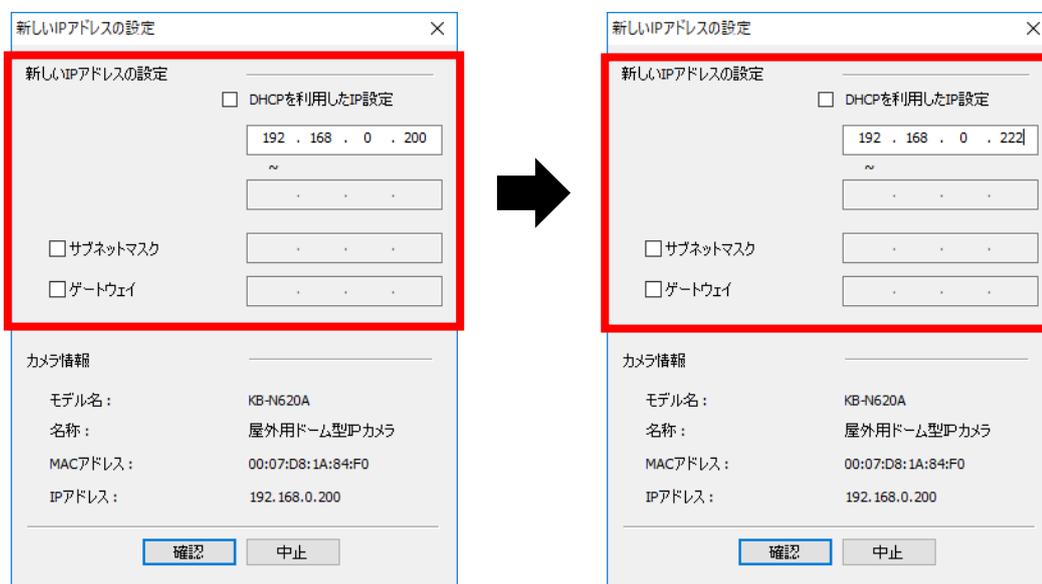
なお、カメラのアドレスは、カメラの各種設定からでも変更が可能です。

詳しくは、「4-1-2 ネットワーク -IP アドレスを設定する(p.4-8)」をご覧ください。

1. SmartManager を起動し、変更したいカメラの行にカーソルを移動させ、右クリックします。
2. クイックメニュー内の「IP 設定」をクリックします。



3. 設定画面が表示されたらカメラの新しい IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをそれぞれ設定します。



<< 注意 >>

カメラの IP アドレスを設定する際は、同じネットワークエリア内にあるネットワーク機器の IP アドレスと重複しないように設定してください。

DHCP から固定の IP アドレスに変更する場合、2 回設定操作が必要になる場合があります。

カメラのアドレスを変更する(つづき)

4. 設定後、「確認」をクリックします。

新しいIPアドレスの設定

新しいIPアドレスの設定

DHCPを利用したIP設定

192 . 168 . 0 . 222

~

サブネットマスク

ゲートウェイ

カメラ情報

モデル名: KB-N620A

名称: 屋外用ドーム型IPカメラ

MACアドレス: 00:07:D8:1A:84:F0

IPアドレス: 192.168.0.200

確認 中止

5. SmartManager にて新しく設定したアドレスが表示されているのを確認して完了です。

モデル名	名称	MACアドレス	IPアドレス	無線IPアドレス	Zero Conf. IP
KB-N620A	屋外用ドーム型IPカメラ	00:07:D8:1B:37:7D	192.168.0.222	0.0.0.0	169.254.107.196

※「IP アドレス」に表示されている値がカメラの IP アドレスとなります。

以降は、新しく設定したアドレスで本機にアクセスできます。

2-2-3 その他の使い方

• ライブ映像を表示する

検索済みのカメラ行を右クリックし、クイックメニュー内の「映像確認」をクリックすると、選択中のカメラのライブ映像を簡易表示します。



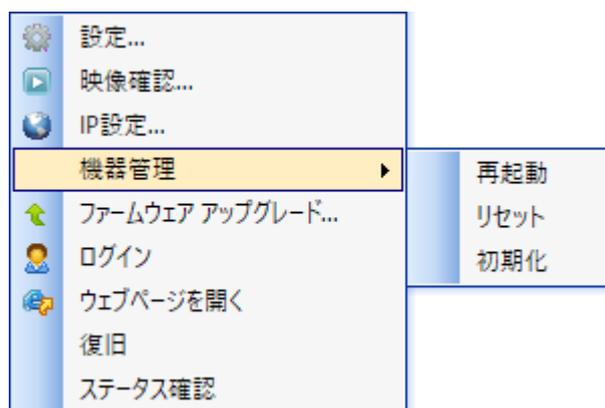
パスワードを初期値(admin)から変更した場合、パスワード入力画面が表示されます。

第3者による不正アクセス防止のため、パスワードは変更することをお勧めします。

パスワード変更方法については、「4-1-1 ユーザー(操作権限・パスワードを変更する)(p.4-6)」をご覧ください。

• 再起動 / リセット / 初期化する

検索済みのカメラの行を右クリックし、クイックメニュー内の「機器管理」をクリックすると、選択中のカメラの再起動や設定初期化ができます。



➤ 再起動 … 本機を再起動します。

➤ リセット … 本機を再起動し、各種設定内容を工場出荷時にリセットします。

下記項目は初期化されません。

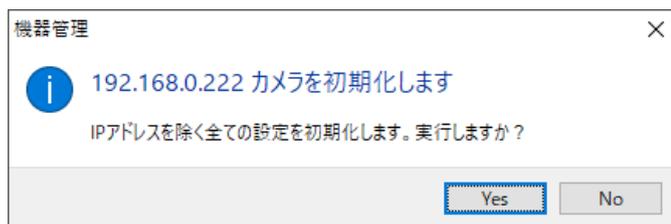
・「4-5-6 ネットワーク > 基本」の設定項目 (IP アドレス設定など)

・レンズの画角、フォーカス位置

➤ 初期化 … IP アドレスを含む全ての設定値を初期化します。

いずれも確認画面の表示後、「Yes」をクリックすると実行します。

その他の使い方(つづき)



実行をキャンセルする場合は、「No」をクリックしてください。

- **再起動 / リセット / 初期化する(つづき)**

リセットおよび初期化を実行する場合は、本機のログイン ID とパスワードを入力する必要があります。

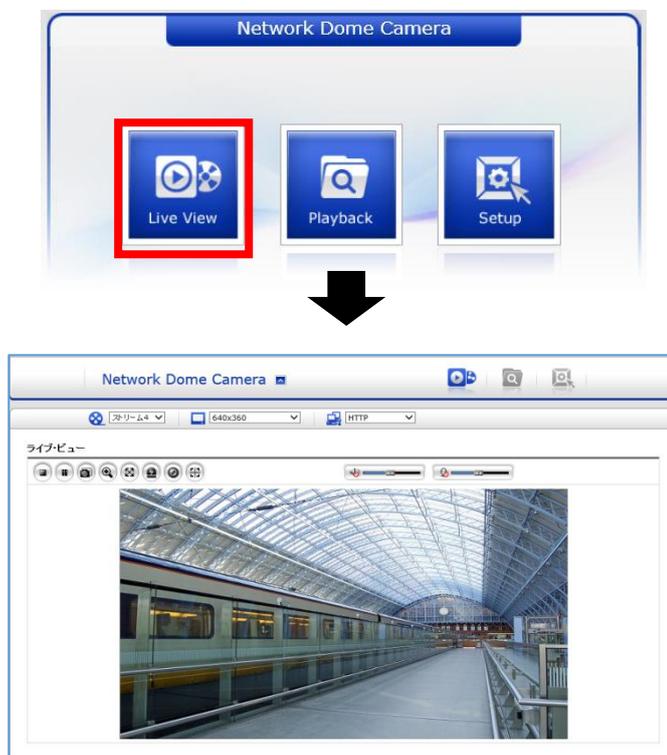
※本機の初期 ID は「admin」、初期パスワードは「admin」です。

ID とパスワード入力後、「確認」をクリックすると、リセットまたは初期化を開始します。

3章 ライブ画面

本機にアクセス後、「Live View」をクリックすると、ライブ画面に切り替わります。

ライブ画面では、現在の映像や、デジタルズーム、スナップショットなど様々なアイコンが表示されます。各アイコンの見方については、次ページ以降をご覧ください。



検索・再生画面または、設定画面を表示中でも、画面上部の「Live View」をクリックするとライブ画面に切替えることができます。

Web ブラウザーを起動してから初めてアクセスした場合は、ログイン画面が表示されます。

ログインを要求された際は、ユーザー名とパスワードを入力してライブ画面にアクセスしてください。

お使いの PC によってはライブ画面を表示する際に、アドオンのインストールを要求される場合があります。Web ブラウザーからインストールを促すメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがってアドオンのインストールを行ってください。



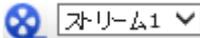
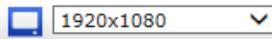
<< 注意 >>

このライブ画面で映像の遅延が大きい場合、H.264 に変更することで改善する場合があります。

設定方法は、「4-1-3 ビデオ&イメージ ストリーム情報を設定する (p.4-9)」をご覧ください。

3-1

ライブ画面上の各種アイコンの見方

アイコン	内容
	ライブ画面に移動します。
	検索・再生画面に移動します。 移動の際にログイン ID とパスワードを入力する必要があります。
	各種設定画面に移動します。 移動の際にログイン ID とパスワードを入力する必要があります。
	ライブ画面で表示するビデオストリームを選択できます。
	ライブ画面に表示する解像度を選択できます。
	表示要件やネットワークプロパティに応じて、使用するプロトコルを選択できます。
	再生中のビデオストリームを停止します。 再度ボタンをクリックすると、ビデオストリームを再開します。
	ビデオストリームを一時停止します。再度ボタンをクリックすると、ビデオストリームを再開します。
	ボタンをクリックした瞬間のスナップショットを取得します。 詳しくは、「3-2 スナップショットを取得する(p.3-4)」をご覧ください。
	デジタルズームを実行できます。 詳しくは、「3-3 デジタルズームを行う(p.3-5)」をご覧ください。
	ライブ映像を全画面表示します。 「Esc」キーを押すと、全画面表示を解除します。
	マニュアルトリガーイベントを発生させます。 詳しくは、「3-4 マニュアルトリガーを作動させる(p.3-6)」をご覧ください。
	ズームイン/アウト、フォーカス調整を手動で制御します。 ボタンをクリックすると、制御画面が表示されます。 詳しくは、「3-5 レンズ調整をする(p.3-7)」をご覧ください。 (KB-N420A、KB-N520A、KB-N620A のみ表示されます。)
	ボタンをクリックすると、フォーカスの自動調整を開始します。 (KB-N420A、KB-N520A、KB-N620A のみ表示されます。)
	イベントの VCA 機能の検知結果をライブ映像に反映します。 ※イベントの VCA 機能を有効にした場合にのみ表示されます。
	アラーム出力の状態を切り替えます。 ※イベントのアラーム出力機能を有効にした場合にのみ表示されます。 イベント通知動作中は切り替えできません。

ライブ画面上の各種アイコンの見方(つづき)

アイコン	内容
	本機に入力された音声をライブ画面上で再生します。 スライダーを動かすことで音量を調整できます。
	PC から入力された音声をライブ画面上で再生します。 スライダーを動かすことで音量を調整できます。

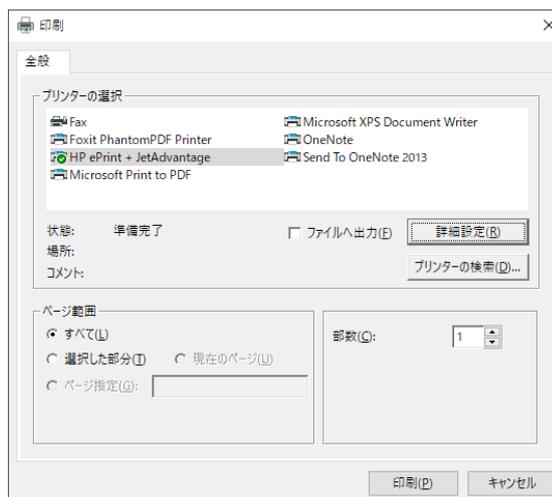
3-2 スナップショットを取得する

1. ライブ画面上のスナップショットアイコン  をクリックすると、取得画面が表示されます。



2. 「保存」をクリックすると、Jpeg ファイルが生成・保存されます。
また、Jpeg ファイルの保存後、保存先のフォルダーが開きますので、
タスクバー上のフォルダアイコン  をご確認ください
ファイルの名前は、「取得した年月日時分秒.jpeg」となります。

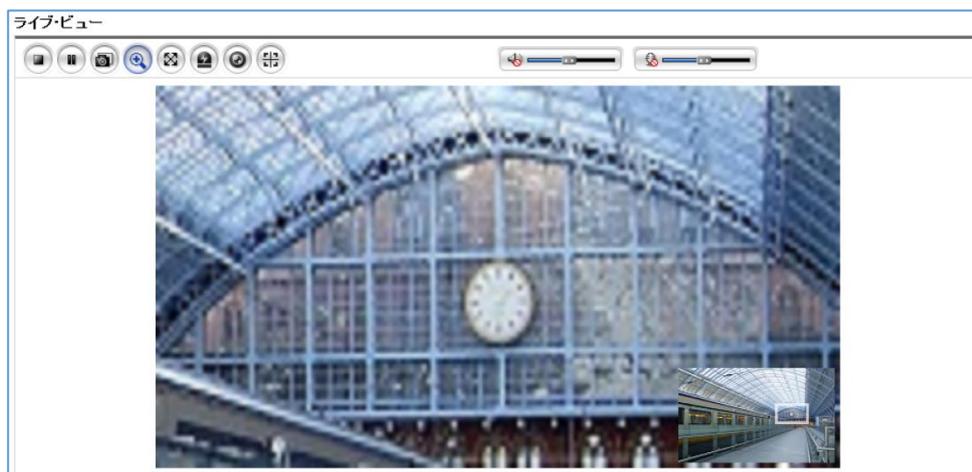
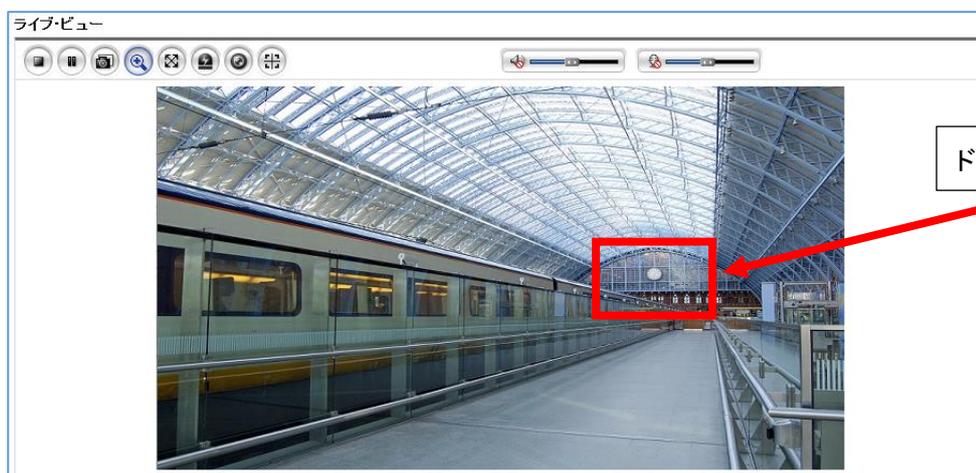
3. 「印刷」をクリックすると、取得したスナップショットを印刷出力できます。
お使いのプリンターを選択し、「印刷」をクリックしてください。



4. スナップショットの取得をキャンセルする場合は、取得画面右上の「閉じる(×)」をクリックしてください。

3-3 デジタルズームを行う

1. ライブ画面上のデジタルズームアイコン  をクリックします。
2. 映像表示エリア上からズーム表示したいエリアをドラッグ & ドロップします。
※デジタルズームモードに移行します。



3. 画面右下の全体画面表示上の枠を移動させると、ズーム位置を調整できます。
4. デジタルズームアイコンをクリックまたは映像表示エリアをダブルクリックすると、デジタルズームモードを解除します。

3-4 マニュアルトリガーを作動させる

マニュアルトリガーを作動させるには、あらかじめイベント入出力の設定が必要です。
イベント入出力の設定については、「4-4-3 イベント入力 > マニュアルトリガー
-手動でイベント発生させる- (p.4-41)」をご覧ください。

1. ライブ画面上のマニュアルトリガーアイコン  をクリックします。
※トリガー選択画面が表示されます。

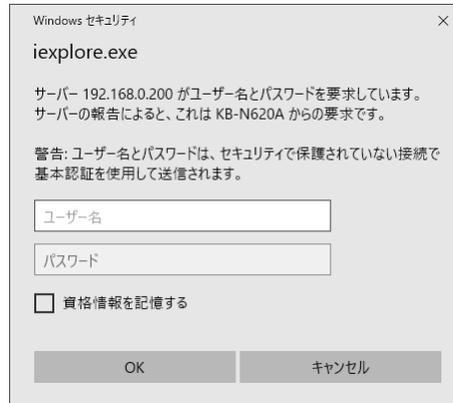


2. 設定済みのトリガー1~4 を選択し、「実行」をクリックします。
クリックすると、イベント出力が作動します。
3. 各トリガーで設定された保持時間経過後、イベント出力が停止します。

3-5 レンズ調整をする

1. ライブ画面上のレンズコントロールアイコン  をクリックします。

※ログイン画面が表示されます。



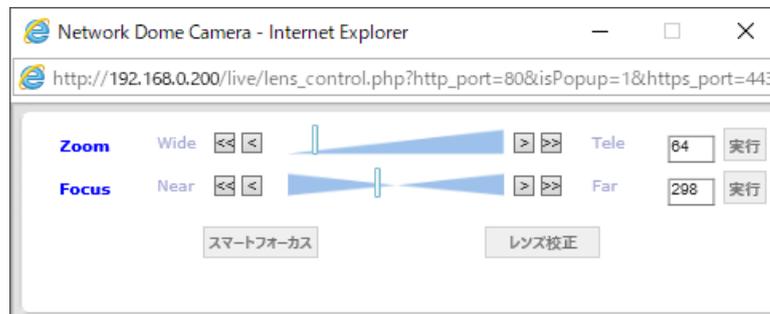
<< 注意 >>

ユーザー権限によって、本機能が利用できないようになっている場合があります。

詳しくは、「4-1-1 ユーザー（操作権限・パスワードを変更する）(p.4-6)」をご覧ください。

2. パスワード要求画面が表示されたら、本機のログイン ID とパスワードを入力します。

※パスワード入力後、レンズ制御画面が表示されます。



- Zoom … ズームイン/ズームアウトを調整します。フォーカスは、自動調整されます。
- Focus … フォーカスを調整します。
- スマートフォーカス … 現在の画角でフォーカスを自動調整します。
- レンズ校正 … 原点復帰動作をします。自動調整でフォーカスが合わない場合に実行すると、フォーカスが合うようになる場合があります。

<< 注意 >>

フォーカスの自動調整は、画像内の輪郭成分を元に判別して調整しているため、ご希望のフォーカス位置に調整されない場合があります。フォーカスの自動調整後は、フォーカス位置を確認してください。また、必要に応じて、フォーカスを微調整してください。

ズーム位置調整後、自動でフォーカス調整を行います。このフォーカスの調整結果がレンズ制御画面に反映されません。ズーム位置調整後、フォーカス位置を微調整される場合、レンズ制御画面を開きなおしてください。

レンズ調整をする(つづき)

3. 左右アイコン   をクリックまたは、マウス操作で動かし任意の位置までレンズを調整してください。



クリックした位置までシークバーが移動し、レンズが自動的に移動します。

制御画面右側の BOX に数値を入力し、「実行」をクリックすることでもレンズ位置を調整できます。



- Zoom … 0～535
- Focus … 0～745

の範囲で数値を入力してください。

3-6 クイックメニューの使い方

ライブ画面上で右クリックすると、クイックメニューが表示されます。

クイックメニューからでもスナップショットの取得やフルスクリーン表示が可能です。



項目	内容
Freeze	ビデオストリームを一時停止します。 再度ボタンをクリックすると、ビデオストリームを再開します。
Show OSD	現在のフレームレートとPCの日時を表示します。
Filter	ライブ映像を回転表示します。 ➤ 90 degree clockwise ... 時計周りに90°回転表示します。 ➤ 90 degree counterclockwise ... 反時計周りに90°回転表示します。 ➤ 180 degree clockwise ... 180°回転表示します。
Snapshot	ボタンをクリックした瞬間のスナップショットを取得します。 詳しくは、「3-2 スナップショットを取得する(p.3-4)」をご覧ください。
Buffering	本機では使用しません。
FullScreen	ライブ映像を全画面表示します。 「Esc」キーを押すと、全画面表示を解除します。

4章 各種設定

本機にアクセス後、「Setup」をクリックすると、各種設定画面に切り替わります。
設定画面では、OSD 表示やストリーム情報などの設定を変更できます。



ライブ画面または、検索・再生画面を表示中でも、画面上部の「Setup」をクリックすると各種設定画面に切替えることができます。

Web ブラウザーを起動してから初めてアクセスした場合は、ログイン画面が表示されます。
管理者またはオペレーター権限のユーザー名とパスワードを入力して設定画面にアクセスしてください。

<< 設定が完了したら >>

設定完了後、各設定画面下の「保存」をクリックして設定内容の反映を行ってください。

設定値を保存前の状態に戻す場合は、「リセット」をクリックしてください。

保存

リセット

4-1 基本設定

基本設定では、本機の情報の確認や簡易的な設定を行うことができます。



The screenshot shows the 'Network Dome Camera' web interface. The title bar includes the camera name and navigation icons. The main content area is titled '基本設定' (Basic Settings). On the left, there is a sidebar menu with options: '基本設定' (selected), 'ユーザー', 'ネットワーク', 'ビデオ&イメージ', 'オーディオ', and '日付&時刻'. Below this are buttons for 'ビデオ&イメージ', 'オーディオ', 'イベント', and 'システム'. The main panel displays the following information:

基本設定
メーカー : Kb
モデル名 : KB-N620A
デバイス名 : 屋外用ドーム型IPカメラ
ファームウェアバージョン : [3.0.4-H_5213_Release](#)
MACアドレス : 00:07:DB:1A:84:F0
IPアドレス : 192.168.0.222
リンク-ローカルIPアドレス : 169.254.80.117
OpenVPN IP アドレス : 0.0.0.0
ビデオモード : NTSC
VCAライセンスステータス : 有効
VCAライセンスタイプ : 標準

項目	内容
基本設定	本機の情報を表示します。
ユーザー	ユーザー認証の設定を行います。
ネットワーク	本機の IP アドレス設定を行います。
ビデオ&イメージ	ビデオストリームの設定を行います。
オーディオ	オーディオの設定を行います。
日付&時刻	時刻設定を行います。

4-1-1 ユーザー -アカウント情報を設定する-

■ 基本設定 > ユーザー



ユーザーの新規追加や操作可能権限の設定、パスワードの変更ができます。

• ユーザー設定

➤ 匿名のビューワーログインを可能にする

ボックスにチェックを入れると、ログインなしでライブ映像の閲覧ができるようになります。チェックを外した場合、ライブ画面の表示の際にログイン画面が表示されるようになります。セキュリティのため、チェックを外してご利用ください。

• ユーザーリスト設定

ユーザーの新規追加/削除や、ユーザー毎に操作可能な権限を設定できます。

ユーザー名	ユーザーグループ	権限
admin	管理者	ライブ, セットアップ, システム, レンズ

権限欄に表示されている項目が、操作可能な項目となります。

デフォルトで登録済みの admin(管理者)は、全ての操作が可能となっています。

<< 注意 >>

デフォルトで登録済みの admin(管理者)は、ユーザー名と操作権限の変更と削除はできません。

ユーザーの新規登録や削除、権限の設定方法については、次ページをご覧ください。

ユーザー -アカウント情報を設定する-(つづき)

- ログインユーザーを追加する

1. 「追加」をクリックし、新規ユーザー情報を入力します。

追加 変更 削除

ユーザー追加

ユーザー設定

・ユーザー名 :

・パスワード :

・パスワード確認 :

・ユーザーグループ :

レンズコントロールを許可する

OK キャンセル

- ユーザー名 … 新規ユーザー名を入力します。
※半角英数字と_が使用可能です。最大 14 文字まで設定できます。
※ユーザー名の開始文字は、アルファベットにする必要があります。
 - パスワード … ログイン時のパスワードを設定します。
※半角英数字と下記の記号が使用可能です。最大 14 文字まで設定できます。
記号 … ! “ # \$ % ‘ () * + , - . : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { | } ~
- << 注意 >>パスワードを設定する際は、下記事項をお守りください。
- ・ セキュリティ維持のため、**必ず定期的に変更**してください。
 - ・ 携帯番号や名前など**第 3 者に推測されやすい値は避けて設定**してください。
 - ・ 設定した値はメモをとるなどし、紛失しないように適切に保管してください。
- パスワード確認 … 確認用としてパスワード欄と同じ値を入力します。

ユーザー -アカウント情報を設定する-(つづき)

- ユーザーグループ … 権限グループを選択します。

※各グループの操作可能項目は下記の通りです。

ユーザーグループ	権限説明
ゲスト	ライブ画面のページのみアクセスできます。
オペレーター	ライブ画面、検索・再生画面、システム設定を除く設定画面にアクセスできます。
管理者	全ての画面にアクセスできます。

- レンズコントロールを許可する … ボックスにチェックを入れると、ライブ画面でズームイン/アウト・フォーカス調整が操作可能になります。
(KB-N420A、KB-N520A、KB-N620A のみ設定可能です。)

2. 各項目設定後、「OK」をクリックします。

ユーザー変更

ユーザー設定

- ・ユーザー名: test_user
- ・パスワード: ●●●●
- ・パスワード確認: ●●●●
- ・ユーザーグループ: オペレーター

レンズコントロールを許可する

OK キャンセル

3. ユーザーリストに追加されていることを確認し、完了です。

ユーザーリスト設定

ユーザー名	ユーザーグループ	権限
admin	管理者	ライブ, セットアップ, システム, レンズ
test_user	オペレーター	ライブ, セットアップ, レンズ

追加 変更 削除

<< 注意 >>

別ユーザーでログインする場合は、Web ブラウザーを全て終了した後に、再度 Web ブラウザーを起動して本機にアクセスした上で、別ユーザー名とパスワードでログインしてください。

ユーザー -アカウント情報を設定する-(つづき)

- 操作権限・パスワードを変更する

1. ユーザーリスト内から変更したいユーザーをクリックします。

ユーザー名	ユーザーグループ	権限
admin	管理者	ライブ, セットアップ, システム, レンズ
test_user	オペレーター	ライブ, セットアップ, レンズ

※選択中のユーザーは青色で表示されます。

2. 「変更」をクリックし、パスワードおよびユーザーグループを修正します。



ユーザー変更

ユーザー設定

・ユーザー名: test_user

・パスワード: ●●●●●●

・パスワード確認: ●●●●●●

・ユーザーグループ: ゲスト

レンズコントロールを許可する

OK キャンセル

※パスワードは必ず入力してください。

<< 注意 >> パスワードを設定する際は下記事項をお守りください。

- ・ セキュリティ維持のため、**必ず定期的に変更**してください。
- ・ 携帯番号や名前など**第3者に推測されやすい値は避けて設定**してください。
- ・ 設定した値はメモをとるなどして、紛失ないように適切に保管してください。

3. 各項目修正後、「OK」をクリックして完了です。
移行は、新しい設定にて操作を行ってください。

ユーザー名	ユーザーグループ	権限
admin	管理者	ライブ, セットアップ, システム, レンズ
test_user	ゲスト	ライブ, レンズ

ユーザー -アカウント情報を設定する-(つづき)

- ログインユーザーを削除する

1. ユーザーリスト内から削除したいユーザーをクリックします。



ユーザー名	ユーザーグループ	権限
admin	管理者	ライブ, セットアップ, システム, レンズ
test_user	ゲスト	ライブ, レンズ

※選択中のユーザーは青色で表示されます。

2. 「削除」をクリックすると、選択したユーザーが削除されます。



確認画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

削除をキャンセルする場合は、「キャンセル」をクリックします。

3. ユーザーリストから削除されていることを確認して完了です。

4-1-2 ネットワーク -IP アドレスを設定する-

■ 基本設定 > ネットワーク



The screenshot shows a web-based configuration interface for network settings. On the left is a sidebar menu with options: 基本設定 (selected), ユーザー, ネットワーク, ビデオ&イメージ, オーディオ, イベント, システム. The main area is titled 'ネットワーク' and contains an 'IPアドレス設定' section. It has two radio buttons: 'DHCP経由のIPアドレス' (selected) and '次のIPアドレスを使用する:'. Below are three input fields: '-IPアドレス' (192.168.0.200), '-サブネットマスク' (255.255.255.0), and '-デフォルトゲートウェイ' (192.168.0.1). At the bottom are '保存' and 'リセット' buttons. A gear icon is visible in the bottom right corner of the main area.

本機のネットワークアドレスを変更できます。

• IP アドレス設定

➤ DHCP 経由の IP アドレス

DHCP サーバー経由で IP アドレスを自動取得する場合に選択します。

<< 注意 >>

DHCP サーバー経由で IP アドレスが取得できない場合、静的 IP アドレスの設定になります。

DHCP サーバー経由で IP アドレス取得後に DHCP サーバーと通信不能になった場合、本機が再起動するまで、DHCP サーバーから取得した IP アドレスとなります。

DHCP サーバーから割り当てされる IP アドレスが変更される場合があります。このような場合、ネットワーク管理者にご相談ください。

➤ 次の IP アドレスを使用する

本機の IP アドレスを手動で固定する場合に選択します。(静的 IP アドレスを設定します)
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイをそれぞれ入力してください。

<< 注意 >>

静的 IP アドレスを設定する際は、**同一ネットワークにある他ネットワーク機器の IP アドレスと重複しないように十分ご注意ください。**

4-1-3 ビデオ&イメージ -ストリーム情報を設定する-

■ 基本設定 > ビデオ&イメージ

ライブ映像表示や録画時に使用する各ストリームの解像度、フレームレートなどを変更できます。

基本設定

- 基本設定
- ユーザー
- ネットワーク
- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- 日付&時刻

- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- イベント
- システム

ビデオ&イメージ

センサー設定

キャプチャモード

ストリーム1設定

コーデックタイプ H264 H265
コーデック
解像度
ビットレートコントロール CBR CVBR
ビットレート [Kbps]
フレームレート
GOPサイズ [1 ...10]

ストリーム2設定

コーデック
解像度
フレームレート
画質 (1, 80, 100)

ストリーム3設定

コーデックタイプ H264 H265
コーデック
解像度
ビットレートコントロール CBR CVBR
ビットレート [Kbps]
フレームレート
GOPサイズ [1 ...10]

ストリーム4設定

コーデックタイプ H264 H265
コーデック
解像度
ビットレートコントロール CBR CVBR
ビットレート [Kbps]
フレームレート
GOPサイズ [1 ...30]

ビデオ & イメージ - ストリーム情報を設定する-(つづき)

- センサー設定

- キャプチャーモード

- 初期設定値から変更しないでください。

- ※初期設定値 …… 1920*1080,30fps,NTSC

- ストリーム 1 設定

本機を当社 NVR:KB-SRIP04A / KB-SRIP08A / KB-SRIP32A と接続して使用する場合、1 画面表示、4 分割表示用の録画、ライブ映像にストリーム 1 を使用します。

※当社 NVR:KB-SRIP04A / KB-SRIP08A / KB-SRIP32A と接続して運用する場合は、接続する NVR から設定してください。

項目	内容
コーデックタイプ	映像の圧縮タイプを選択します。
コーデック	映像の圧縮方式を選択します。
解像度	ストリームの解像度を選択します。
ビットレートコントロール	CBR(固定ビットレート)、CVBR(可変ビットレート)から選択します。
ビットレート	CBR 設定時、ターゲットビットレートを設定します。 CVBR 設定時、最大ビットレートを設定します。 ビットレート値が低い程、帯域の節約になりますが映像品質に影響がでる場合があります。
フレームレート	フレームレートを選択します。
GOP サイズ	I フレームの間隔を設定します。 ※数値が大きい程帯域を節約できますが、映像品質に影響がでる場合があります。 フレームレートと同じ値に設定することを推奨します。

<< 注意 >>

解像度を切り替えると、ストリーム 1,3,4 のビットレートの値がリセットされます。

ビットレート設定は、最後に変更してください。

ビデオ & イメージ - ストリーム情報を設定する-(つづき)

- **ストリーム 2 設定**

MJPEG でのストリーム設定をします。

項目	内容
コーデック	MJPEG のみ選択できます。
解像度	ストリームの解像度を選択します。
フレームレート	フレームレートを選択します。
画質	画質を選択します。 ※値が大きい程高品質な映像となります。

<< 注意 >>

MJPEG の仕様上、暗い箇所や動きの多い箇所で録画を行った場合、データサイズが大きくなります。解像度、フレームレート、画質を制限すると、データサイズを抑えることができる反面、映像品質が低下する可能性があります。その為、撮影箇所毎に解像度、フレームレート、画質を適切な値に調整する必要があります。

- **ストリーム 3 設定**

ストリーム 1 と同様です。

本機を当社 NVR:KB-SRIP04A / KB-SRIP08A / KB-SRIP32A と接続して使用する場合、9 分割以上の分割表示用の録画、ライブ映像にストリーム 3 を使用します。

※当社 NVR:KB-SRIP04A / KB-SRIP08A / KB-SRIP32A と接続して運用する場合は、接続する NVR から設定してください。

- **ストリーム 4 設定**

ストリーム 1 と同様です。

4-1-4 オーディオ - 音声入出力を設定する-

■ 基本設定 > オーディオ

基本設定

オーディオ

オーディオ設定

オーディオ有効

- 圧縮タイプ G.711 u-law

- サンプルレート 8kHz

- サウンドビットレート 64kbps

オーディオ入力

入力 自動検出

入力音量 5 ミュート

オーディオ出力

オーディオ出力有効

- 出力音量 5 ミュート

保存 リセット

本機に接続したマイクからの音声をライブ画面にて出力します。

ライブ音声の出力には、外部マイクを本機に接続する必要があります。

なお、KB-N320AS および KB-N420A をお使いの場合は、内蔵マイクを使用することができます。

本機とマイクや外部スピーカーの接続方法については、付属の「取扱説明書 -設置編-」をご覧ください。

- 本機に接続したマイクからの音声をライブ画面にて出力する方法
→<< **ライブ音声**を出力する(p.4-13) >>をご覧ください。
- PC などからの音声を本機に接続したスピーカーへ出力する方法
→<< **外部スピーカー**へ音声

オーディオ -音声入出力を設定する-(つづき)

- ライブ音声を出力する

1. オーディオ設定の「オーディオ有効」のボックスをクリックしてチェックをいれます。

オーディオ設定

オーディオ有効

- 圧縮タイプ G.711 u-law

- サンプルレート 8KHz

- サウンドビットレート 64kbps

※圧縮タイプ、サンプルレート、サウンドビットレートは変更できません。

2. KB-N320AS または KB-N420A をお使いの場合は、オーディオ入力の「入力」にて入力タイプを選択します。

※KB-N520A および KB-N620A は「入力」項目はありません。

- 自動検出 … 音声入出力端子への接続の有無により、外部マイクまたは内部マイクの使用を自動的に切替えます。

※自動検出は、KB-N320AS のみ選択可能です。

※KB-N320AS でオーディオ入出力を同時に使用する場合、内部アンプを選択してください。

- 外部アンプ … 外部マイクの音声を入力します。
- 内部アンプ … 内蔵マイクの音声を入力します。

3. オーディオ入力の「入力音量」にて入力音量を調整します。

※「ミュート」のボックスにチェックを入れると、無音状態になります。

オーディオ入力

入力 自動検出

入力音量 10 ミュート

4. 「保存」をクリックし、設定内容を適用します。

保存 リセット

5. ライブ画面に移動し、音声が出力されていることを確認し完了です。

※音声が出力されない場合は下記事項をご確認ください。

- マイクは正常に起動しているか。
- マイクが正しく本機に接続されているか。
- ライブ音声出力機能アイコン が ON になっているか。
 (OFF) と表示されている場合は、アイコンをクリックして機能を ON にしてください。

オーディオ - 音声入出力を設定する(つづき)

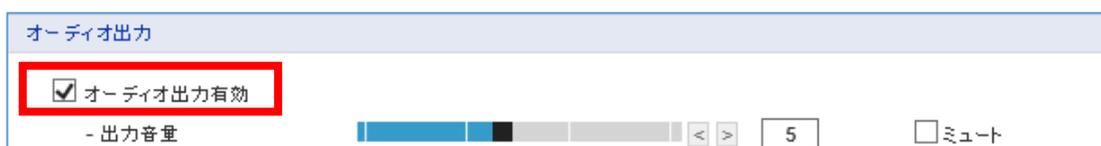
- 外部スピーカーへ音声を出力する

1. オーディオ設定の「オーディオ有効」のボックスをクリックしてチェックをいれます。

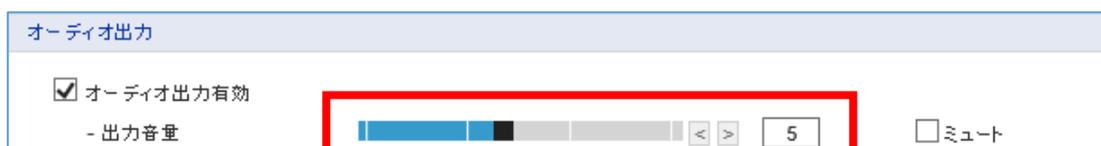


※圧縮タイプ、サンプルレート、サウンドビットレートは変更できません。

2. オーディオ出力の「オーディオ出力有効」のボックスをクリックしてチェックをいれます。



3. オーディオ出力の「出力音量」にて出力音量を調整します。
※「ミュート」のボックスにチェックを入れると、無音状態になります。



4. 「保存」をクリックし、設定内容を適用します。



5. ライブ画面に移動し、スピーカーから音声出力されていることを確認して完了です。

※音声出力されない場合は、下記事項をご確認ください。

- スピーカーは正常に起動しているか。
- スピーカーが正しく本機に接続されているか。
- ライブ音声出力機能アイコン  が ON になっているか。

 (OFF)と表示されている場合は、アイコンをクリックして機能を ON にしてください。

4-1-5 日付&時間 -システム時刻を設定する-

■ 基本設定 > 日付&時間

基本設定

- 基本設定
- ユーザー
- ネットワーク
- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- 日付&時刻

- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- イベント
- システム

日付&時刻

カメラの現在時刻

日付: 2019-09-23 時間: 12:38:01

日付&時刻設定

・タイムゾーン
[(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo]
 サマータイムを有効にする

・タイムモード

パソコンの時刻と同期する
日付: 2019-09-23 時間: 12:38:02

NTPサーバーの時刻と同期する
NTPサーバー: time.nist.gov NTP間隔: 12 [時間]

手動設定
日付: 2019-09-23 時間: 12:37:46

日付&時刻フォーマット

日付フォーマット: YYYY-MM-DD
時刻フォーマット: 24時間

保存 リセット

本機に登録されている日時を変更できます。

<< 注意 >>

ユーザーグループが「管理者」以外のアカウントでログインしている場合は、本項目は設定できません。
ユーザー権限については、「4-1-1 ユーザー -アカウント情報を設定する (p.4-5)」をご覧ください。

• カメラの現在時刻

本機の現在時刻を表示します。

カメラの現在時刻

日付: 2019-09-23 時間: 12:38:01

日付 & 時間 -システム時刻を設定する-(つづき)

- **日付 & 時刻設定 > タイムゾーン / サマータイム**

タイムゾーンおよびサマータイムは初期設定値から変更しないでください。
変更すると、時刻ずれの原因となります。

The screenshot shows the 'Date & Time Settings' dialog box with the 'Time Zone' section selected. A dropdown menu is set to '(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo'. Below it, there is an unchecked checkbox labeled 'Enable Summer Time'.

タイムゾーンの初期設定値は、「(GMT +09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo」です。
「サマータイムを有効にする」の初期設定はチェックを外した状態です。
本項目の設定は、変更しないでください。

- **日付 & 時刻設定 > タイムモード**

本機の時刻同期方法を選択します。

The screenshot shows the 'Date & Time Settings' dialog box with the 'Time Mode' section selected. There are three radio button options: 'Synchronize with PC clock' (selected), 'Synchronize with NTP server clock', and 'Manual setting'. The 'Synchronize with PC clock' option shows a date of 2019-09-23 and a time of 12:38:02. The 'Synchronize with NTP server clock' option shows an NTP server of 'time.nist.gov' and an interval of 12 minutes. The 'Manual setting' option shows a date of 2019-09-23 and a time of 12:37:46.

- **パソコンの時刻と同期する**

保存をクリックした時に、お使いの PC の時刻と同じ日時が設定されます。

＜＜ 注意 ＞＞

PC のタイムゾーンは、日本時間を選択してください。

PC の時刻と定期的に同期する機能ではありません。

- **NTP サーバーの時刻と同期する**

「NTP サーバー」欄に登録した NTP サーバーアドレスにアクセスして時刻同期を行います。

「NTP 間隔」にて、同期を行う間隔を選択します。

- **手動設定**

手入力で、本機のシステム時刻を設定します。

日付 & 時間 -システム時刻を設定する-(つづき)

- **日付&時刻フォーマット**

日付および時刻の表示形式を選択します。

日付 & 時刻フォーマット	
日付フォーマット :	YYYY-MM-DD ▼
時刻フォーマット :	24時間 ▼



- **日付フォーマット**

年月日の表示順番を変更します。

- **時刻フォーマット**

24 時間表記または 12 時間表記を選択します。

4-2 ビデオ & イメージ

4-2-1 基本 -ストリーム設定を変更する-

■ ビデオ & イメージ > 基本

ビデオ&イメージ

基本設定

ビデオ&イメージ

- 基本
- プライバシーマスク
- ハイストリーム
- カメラセットアップ
- OSD

オーディオ

イベント

システム

ビデオ & イメージ-基本

センサー設定

キャプチャモード: 1920x1080,30fps,NTSC

ストリーム1設定

コーデックタイプ: H264 H265
コーデック: H.265 Main Profile
解像度: 1920x1080
ビットレートコントロール: CBR CVBR
ビットレート: 800 [Kbps]
フレームレート: 5
GOPサイズ: 5 [1 ...10]

ストリーム2設定

コーデック: MJPEG
解像度: 640x360
フレームレート: 15
画質: 1 80 100

ストリーム3設定

コーデックタイプ: H264 H265
コーデック: H.265 Main Profile
解像度: 640x360
ビットレートコントロール: CBR CVBR
ビットレート: 400 [Kbps]
フレームレート: 5
GOPサイズ: 5 [1 ...10]

ストリーム4設定

コーデックタイプ: H264 H265
コーデック: H.265 Main Profile
解像度: 640x360
ビットレートコントロール: CBR CVBR
ビットレート: 4000 [Kbps]
フレームレート: 15
GOPサイズ: 15 [1 ...30]

保存 リセット

ライブ映像表示や録画時に使用する各ストリームの解像度、フレームレートなどを変更できます。
本項目の設定内容は、「4-1-3 ビデオ & イメージ ストリーム情報を設定する(p.4-9)」をご覧ください。

4-2-2 プライバシーマスク -エリア非表示を有効にする-

■ ビデオ & イメージ > プライバシーマスク

ライブ映像内の任意の場所にマスクングを設定できます。

マスクングの設定方法については、次ページをご覧ください。

ビデオ&イメージ

- 基本設定
- ビデオ&イメージ**
 - 基本
 - プライバシーマスク**
 - ハイストリーム
 - カメラセットアップ
 - OSD
- オーディオ
- イベント
- システム

プライバシーマスク

ビデオプレビュー



*** Note**
エリアの追加・削除などの操作は、ビデオプレビュー上でマウス操作により設定します。
ビデオプレビュー上を右クリックすると選択範囲が表示されます。

プライバシーマスク設定

プライバシーマスク有効

ID	名前	削除
----	----	----

保存 リセット

プライバシーマスク -エリア非表示を有効にする-(つづき)

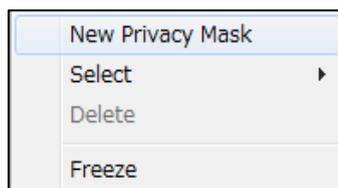
- マスクエリアを設定する

1. 「プライバシーマスク有効」のボックスをクリックし、チェックを入れます。



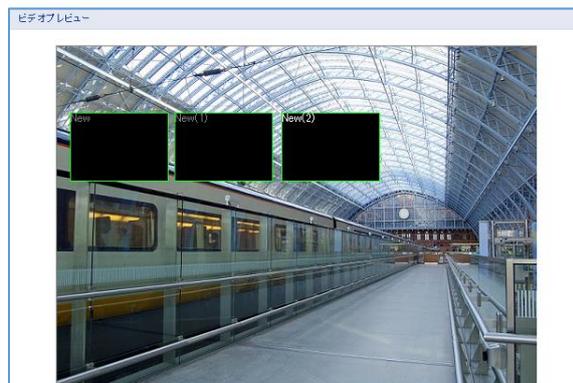
2. 画面上の映像表示エリア上で右クリックします。

※クイックメニューが表示されます。



3. 「New Privacy Mask」をクリックし、映像表示エリア内でマスクしたいエリアをドラッグ&ドロップで選択します。

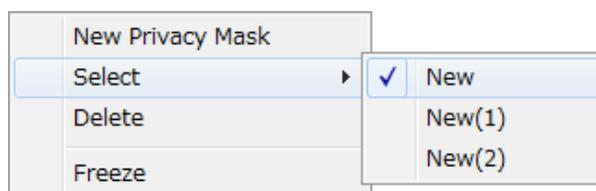
※選択中のエリアは緑色の枠で表示されます。



※同様の手順で最大 8 箇所マスクングエリアを設定できます。

<< 設定後にマスクング位置やサイズを変更するには... >>

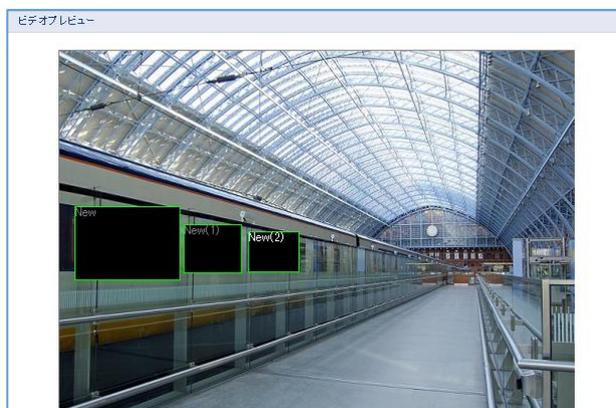
- ① 映像表示エリア内でクイックメニューを表示し、「Select」をクリックします。
- ② 変更したいマスクを選択します。



※画面下のマスクリストから選択することも可能です。

プライバシーマスク -エリア非表示を有効にする-(つづき)

- ③ 設定済みのマスクエリア内にマウスカーソルを移動し、再度マスクング位置を調整して完了です。
緑辺にマウスカーソルを重ねると、マスクサイズを変更できます。



4. マスキングエリアを設定すると、画面下のリストに追加表示されます。

ID	名前	削除
1	MaskArea1	X
2	Window	X
3	Door	X

-ID
-名前

「名前」欄にて、各マスクの表示名称を変更できます。半角英数文字で設定してください。
※「ID」は変更できません。

5. 画面下の「保存」をクリックして完了です。

プライバシーマスク -エリア非表示を有効にする-(つづき)

- マスクエリアを削除する

1. マスクリストから削除したい ID 行をクリックし、「削除」欄のアイコン  をクリックします。
クイックメニューにて「Select」からエリアを選択後、「Delete」でも削除できます。
※確認画面が表示されたら「OK」をクリックしてください。
2. リストから削除されていることを確認して完了です。

4-2-3 ハイストリーム -ROI 機能を有効にする-

■ ビデオ & イメージ > ハイストリーム

ビデオ & イメージ

基本設定

ビデオ & イメージ

- 基本
- プライバシーマスク
- ハイストリーム
- カメラセットアップ
- OSD

オーディオ

イベント

システム

ハイストリーム

ビデオプレビュー

*** Note**
エリアの追加・削除などの操作は、ビデオプレビュー上でマウス操作により設定します。
ビデオプレビュー上を右クリックすると選択数が表示されます。

ハイストリーム設定

ハイストリーム(関心領域)を有効にする

動的関心領域 静的関心領域

関心領域の画質

非関心領域の画質

非関心領域のフレームレート

ID	名前	削除
----	----	----

保存 リセット

ハイストリーム(関心領域)機能を使用することで、指定したエリア内は、高画質、高フレームレートで映像表示・録画を行い、エリア外の画質、フレームレートは低く設定することができます。

本機能を使用することで、データ容量を抑制することができます。

※ハイストリームの設定は、ストリーム1のみに反映されます。

※関心領域のフレームレートは、ストリーム1のフレームレートの設定が反映されます。

「4-1-3 ビデオ & イメージ ストリーム情報を設定する(p.4-10)」をご覧ください。

※関心領域と非関心領域のフレームレートが異なる場合、映像に境が生じ、見づらくなる場合があります。

関心領域と非関心領域のフレームレートは、同じにすることを推奨します。

ハイストリーム -ROI 機能を有効にする-(つづき)

- ROI(関心領域)を設定する

1. 「ハイストリーム(関心領域)を有効にする」のボックスをクリックし、チェックを入れます。

※本機能を有効にする場合、ビットレート制御が CVBR(可変ビットレート)になります。

確認画面が表示されたら「OK」をクリックしてください。

ハイストリーム設定

ハイストリーム(関心領域)を有効にする

動的関心領域 静的関心領域

関心領域の画質 標準

非関心領域の画質 標準

非関心領域のフレームレート 5

2. 検知タイプを選択します。

ハイストリーム設定

ハイストリーム(関心領域)を有効にする

動的関心領域 静的関心領域

関心領域の画質 標準

非関心領域の画質 標準

非関心領域のフレームレート 5

➤ 動的関心領域

VCA(映像解析)機能と連動してオブジェクト検出した領域(変化の大きい領域)を関心領域として高画質で表示します。

※システムの都合上、オブジェクト検出しない期間、映像の左上隅が関心領域となります。

VCA 機能の設定については「4-4-7 イベント入力 > VCA(映像解析)(p.4-51)」をご覧ください。

動的関心領域の場合は、エリアを設定する必要はありません。

※静的関心領域設定で ROI Area を設定した後に、動的関心領域に切り替えた場合、

この静的関心領域設定で設定した ROI Area が残る場合があります。

この場合、静的関心領域の ROI Area を削除後に、動的関心領域に切り替えてください。

ハイストリーム -ROI 機能を有効にする-(つづき)

➤ 静的関心領域

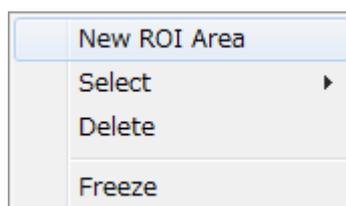
手動で設定したエリアを関心領域として表示します。

静的関心領域を選択した場合は、下記手順でエリアを設定してください。

※この設定は、ストリーム 1 の解像度設定後に行ってください。

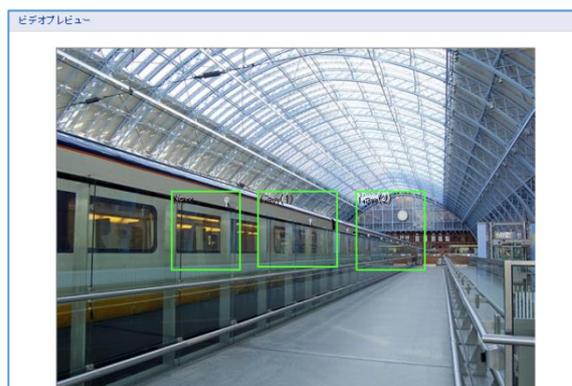
① 画面上の映像表示エリア上で右クリックします。

※クイックメニューが表示されます。



② 「New ROI Area」をクリックし、映像表示エリア内で関心領域にしたいエリアをドラッグ & ドロップで選択します。

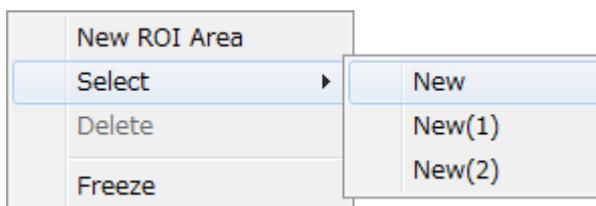
※選択中のエリアは緑色の枠で表示されます。



※同様の手順で最大 8 箇所関心領域を設定できます。

<< 設定後にエリア位置やサイズを変更するには・・・ >>

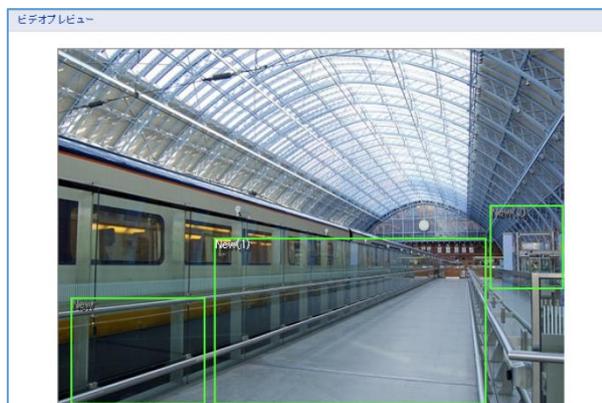
1. 映像表示エリア内でクイックメニューを表示し、「Select」をクリックします。
2. 変更したいエリアを選択します。



※画面下のエリアリストから選択することも可能です。

ハイストリーム -ROI 機能を有効にする-(つづき)

3. 設定済みのエリア内にマウスカーソルを移動し、再度関心領域位置を調整して完了です。
緑辺にマウスカーソルを重ねると、エリアサイズを変更できます。



3. 関心領域を設定すると、画面下のリストに追加表示されます。

ID	名前	削除
1	space1	X
2	space2	X
3	space3	X

- ID

- 名前

「名前」欄にて、各エリアの表示名称を変更できます。半角英数文字で設定してください。

※「ID」は変更できません。

4. 関心領域内・外の画質、フレームレートを設定します。

ハイストリーム設定

ハイストリーム(関心領域)を有効にする

動的関心領域 静的関心領域

関心領域の画質

非関心領域の画質

非関心領域のフレームレート

- 関心領域の画質 … 関心領域内の画質を選択します。
- 非関心領域の画質 … 関心領域外の画質を選択します。
- 非関心領域のフレームレート … 関心領域外のフレームレートを選択します。

ハイストリーム -ROI 機能を有効にする-(つづき)

5. 画面下の「保存」をクリックして設定内容を適用して完了です。



- ROI(関心領域)を削除する

1. マスクリストから削除したい ID 行をクリックし、「削除」欄のアイコン  をクリックします。

クイックメニューにて「Select」からエリアを選択後、「Delete」でも削除できます。

※確認画面が表示されたら「OK」をクリックしてください。

2. リストから削除されていることを確認して完了です。

4-2-4 カメラセットアップ -カメラ映像を調整する-

■ ビデオ & イメージ > カメラセットアップ

ビデオ&イメージ

基本設定

ビデオ&イメージ

- 基本
- プライバシーマスク
- ハイストリーム
- カメラセットアップ
- OSD

オーディオ

イベント

システム

カメラセットアップ

Profile 1

ビデオプレビュー

ビデオプレビュー

露出コントロール

モード 自動 フリッカーレス 50Hz フリッカーレス 60Hz

露出目標 デフォルト

最大ゲイン 低 中 高

シャッター 自動 固定

最長シャッター [s]

最短シャッター [s]

P/Aイリス

モード 自動 マニュアル

範囲 デフォルト

画像設定

ブライトネス デフォルト

コントラスト デフォルト

彩度 デフォルト

色相 デフォルト

シャープネス デフォルト

ホワイトバランスモード 自動 マニュアル

拡張制御

WDR機能を有効にする

フリップ

ミラー

ノイズリダクションを有効にする

レベル 低 中 高

Defog機能を有効にする

測光モード スポット センター 平均

左 右 対ム

デイ&ナイトコントロール

モード 自動 デイ ナイト

しきい値 低 中 高

スマートフォーカスをデイ&ナイトに同期する

IRコントロール

IR有効

IRタイプ 固定IR スマートIR

最大光量

* Note
このページの設定は、設定変更後、自動的に保存されます。

ライブ映像の露出コントロール、画質設定、ホワイトバランス、デイ&ナイトの設定を調整できます。
なお、このページでは、設定を変更後、自動的に反映・保存されます。

カメラセットアップ -カメラ映像を調整する-(つづき)

• ビデオプレビュー

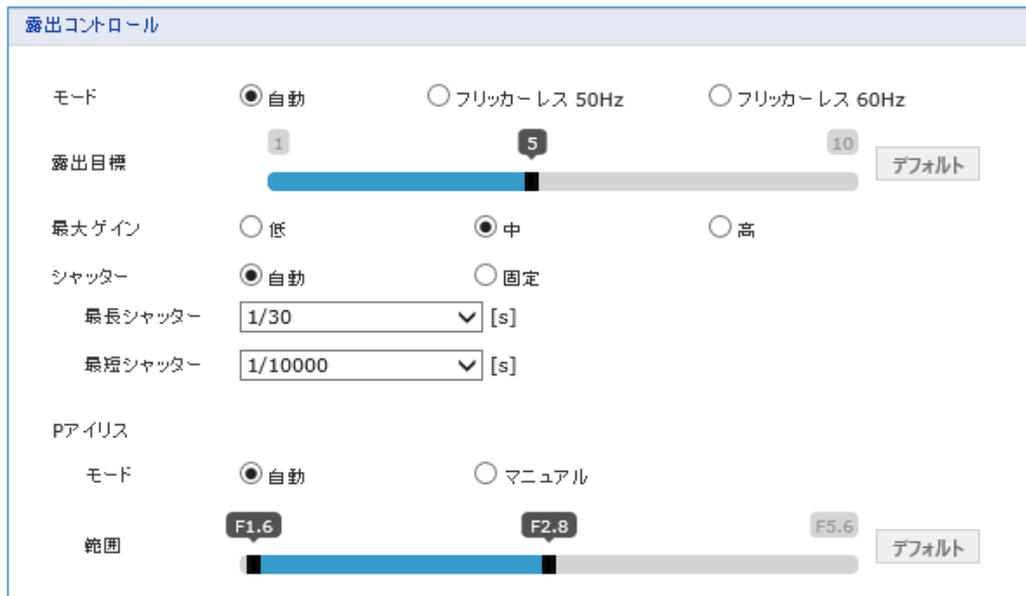
別ウィンドウにてライブ映像を表示します。

本項目の設定を行う際は、プレビュー画面を見ながら行うと設定が容易になります。



• 露出コントロール

映像の明るさ設定を変更できます。



➤ モード

蛍光灯や白熱灯のちらつき防止を設定します。

映像にちらつきがある場合は、お使いの地域の電源周波数に合わせて選択してください。

※東日本 : 50Hz | 西日本 : 60Hz

＜＜ 注意 ＞＞

フリッカーレス設定でちらつきが改善しない場合、シャッターを自動から固定に変更してください。

シャッターを固定に変更後、映像が白とびする場合、P-IRIS の範囲(閉口側)を調整してください。

➤ 露出目標

映像の明るさを調整します。数値が大きい程、明るい映像になります。

「デフォルト」をクリックすると、初期値に戻ります。

➤ 最大ゲイン

光の増幅レベルを選択します。

レベルが高い程映像は明るくなりますが、映像にノイズが出やすくなります。

カメラセットアップ -カメラ映像を調整する-(つづき)

➤ シャッター

シャッタースピードを選択します。

項目	内容
自動	撮影環境に合わせて最適なシャッタースピードで撮影を行います。
➤ 最長シャッター	低照度での最長集光時間を選択します。 ※シャッターモードを「自動」にしている場合のみ設定できます。
➤ 最短シャッター	高照度での最短集光時間を選択します。 ※シャッターモードを「自動」にしている場合のみ設定できます。
固定	常に一定のシャッタースピードで撮影を行います。

➤ P-Iris (KB-N520A、KB-N620A のみ設定可能です。)

項目	内容
モード ➤ 自動	アイリス(絞り)の動作範囲を設定した範囲内で自動調整して撮影を行います。
モード ➤ 自動 ➤ 範囲	アイリスの調整範囲を設定します。 F値が大きい程、ピントの合う範囲が広がりますが、 暗い環境で画質が低下しやすくなります。 「デフォルト」をクリックすると、初期値に戻ります。
モード ➤ マニュアル	アイリスの動作範囲を固定して撮影を行います。
モード ➤ マニュアル ➤ 絞り調整	アイリスの値を設定します。 F値が大きい程、ピントの合う範囲が広がりますが、 暗い環境で画質が低下しやすくなります。 「デフォルト」をクリックすると、初期値に戻ります。

➤ DC アイリス有効 (KB-N320AS のみ設定可能です。)

DC アイリスの有効/無効を選択します。

「無効」を選択すると、アイリスが常に全開の状態です。

＜＜ 注意 ＞＞

通常は、DC アイリスを有効にしてご使用ください。

DC アイリスの設定は、他の設定項目を変更時に反映されます。

カメラセットアップ -カメラ映像を調整する-(つづき)

• 画像設定

画像の調整を行います。

「デフォルト」をクリックすると、初期値に戻ります。



- ブライツネス
画像の明るさを調整します。
- コントラスト
画像のコントラストを調整します。
- 彩度
画像の色の濃さを調整します。
- 色相
画像の色相を調整します。
- シャープネス
画像のきめ細かさを調整します。
- ホワイトバランスモード
画像のホワイトバランスを調整します。

項目	内容
自動	自動的に RGB の値を調整します。
自動 > ホールド	マニュアルの簡易設定用のボタンです。 ホールドをクリックした時点での映像をもとに マニュアルの調整値を更新し、マニュアルに切り替えます。
マニュアル	手動で RGB の値を調整します。
> R ゲイン	赤色のゲイン値を調整します。
> B ゲイン	青色のゲイン値を調整します。
> G ゲイン	緑色のゲイン値を調整します。

カメラセットアップ -カメラ映像を調整する-(つづき)

- 拡張制御

拡張制御

WDR機能を有効にする

フリップ

ミラー

ノイズリダクションを有効にする

レベル 低 中 高

Defog機能を有効にする

測光モード スポット センター 平均

左 右 ボトム

- WDR 機能を有効にする
ワイドダイナミックレンジ機能の有効/無効を選択します。
有効にすると、ダイナミックレンジのレベルを選択できます。
※WDR 機能を有効にしている場合は、Defog 機能を有効にすることはできません。
- フリップ
チェックをいれると、画像を上下反転して表示します。
- ミラー
チェックを入れると、画像を左右反転して表示します。
- ノイズリダクションを有効にする
ノイズリダクション機能の有効/無効を選択します。
有効にすると、映像内のノイズの除去・軽減レベルを選択できます。
- Defog 機能を有効にする
Defog 機能の有効/無効を選択します。
有効にすると、映像内の霧の除去・軽減レベルを選択できます。
※Defog 機能を有効にしている場合は、WDR 機能を有効にすることはできません。
- 測光モード
測光位置を選択します。
背景が極端に逆光の環境下や明暗差が大きい環境下で映像が見にくい場合、基準とする明るさの位置を設定できます。
※フリップ、ミラーの設定を変更した場合は、測光モードを再設定する必要があります。

カメラセットアップ -カメラ映像を調整する-(つづき)

• デイ&ナイトコントロール

デイ&ナイトコントロール			
モード	<input checked="" type="radio"/> 自動	<input type="radio"/> デイ	<input type="radio"/> ナイト
しきい値	<input type="radio"/> 低	<input checked="" type="radio"/> 中	<input type="radio"/> 高
<input type="checkbox"/> スマートフォーカスをデイ&ナイトに同期する			

➤ モード

カラー、モノクロ撮影の切り替え方式を選択します。

項目	内容
自動	撮影環境の明るさに応じて、自動的にカラーとモノクロ撮影を切替えます。
デイ	常にカラー撮影を行います。
ナイト	常にモノクロ撮影を行います。

➤ しきい値

カラー撮影とモノクロ撮影を切替える明るさレベルを選択します。

レベルが高い程、より明るい環境下で撮影が切り替わります。

➤ スマートフォーカスをデイ&ナイトに同期する

(KB-N420A / KB-N520A / KB-N620A のみ設定できます。)

チェックを入れると、撮影が切り替わったタイミングでフォーカスを再調整します。

<< 注意 >>

本項目はチェックを入れないことを推奨します。

自動フォーカスは、画像内の輪郭成分を元に判別して調整しているため、

ご希望のフォーカス位置に調整されない場合があります。

カメラセットアップ -カメラ映像を調整する-(つづき)

- IRコントロール(KB-N520A,KB-N620A のみ設定可能です。)
 - 赤外線投光時、赤外線の光量を調整できます。



➤ IR 有効

赤外線 LED の有効/無効を選択します。

<< 注意 >>

赤外線 LED を無効にする場合、固定 IR を選択した後にチェックを外してください。

➤ IR タイプ

項目	内容
固定 IR	一定の光量で赤外線 LED を照射します。
> 最大光量	赤外線投光時の光量を調整します。 数値が大きい程、LED の照射レベルが上がります。
スマート IR	赤外線 LED による白とびを軽減するように撮影環境に合わせて光量を自動的に調整します。 ※スマート IR 動作時、画面周辺が暗くなる場合があります。 問題となる場合、固定 IR に変更してください。 ※スマート IR 動作時、撮影環境が明るい場合、赤外線 LED が点灯しない場合があります。
> 速度	光量の制御速度を調整します。 数値が大きい程、すばやく最適な光量になります。

4-2-5 OSD -タイトルや時刻を表示する-

■ ビデオ & イメージ > OSD

ストリーム毎に OSD 表示の有効/無効を選択できます。

ビデオ & イメージ

基本設定

ビデオ & イメージ

- 基本
- プライバシーマスク
- ハイストリーム
- カメラセットアップ
- OSD

オーディオ

イベント

システム

OSD

OSD位置設定



OSD Title
OSD Subtitle
Date & Time

* Note
このページの設定の一部は、OSD位置設定画面上でマウス操作により設定します。

ビデオプレビュー

ビデオプレビュー

OSD設定

ストリーム1 OSD有効
 ストリーム2 OSD有効
 ストリーム3 OSD有効
 ストリーム4 OSD有効

OSD透明度 [0 ... 255]

背景 有効

OSDカラー

文字色 

背景色 

OSDタイトル

OSDタイトル有効
- タイトル

OSDサブタイトル有効
- サブタイトル

日付/時刻

日付 & 時刻 有効

保存 リセット

OSD -タイトルや時刻を表示する-(つづき)

- **ビデオプレビュー**

別ウィンドウにてライブ映像を表示します。

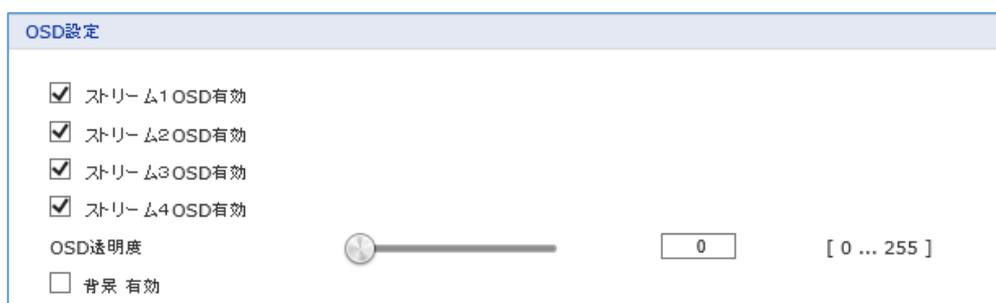
本項目の設定を行う際は、プレビュー画面を見ながら行うと設定が容易になります。



- **OSD 設定**

ストリーム毎に OSD を表示するかを選択します。

チェックの入っているストリームに対して OSD 表示を行います。



- **ストリーム 1~4OSD 有効**

チェックの入っているストリームに対して OSD 表示を有効にします。

- **OSD 透明度**

OSD の透過率を調整します。

数字が大きいく程、OSD 表示の透過率が上がります。

- **背景 有効**

OSD の背景表示の表示/非表示を選択します。

チェックが入っている場合に有効となります。

- **OSD カラー**

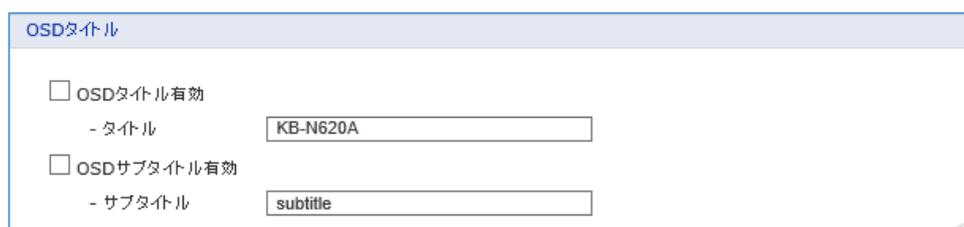


- **文字色** ... OSD にて表示される文字の色を選択します。

- **背景色** ... OSD にて表示される背景の色を選択します。

OSD -タイトルや時刻を表示する-(つづき)

- OSD タイトル



OSDタイトル

OSDタイトル有効
- タイトル KB-N620A

OSDサブタイトル有効
- サブタイトル subtitle

- OSD タイトル有効

OSD タイトルの表示/非表示を選択します。
チェックを入れると、OSD タイトルを表示します。

「タイトル」内にて表示する内容を変更できます。
※最大 25 文字まで設定できます。

- OSD サブタイトル有効

OSD サブタイトルの表示/非表示を選択します。
チェックを入れると、OSD サブタイトルを表示します。

「サブタイトル」内にて表示する内容を変更できます。
※最大 25 文字まで設定できます。

- 日付/時刻



日付/時刻

日付&時刻 有効

日付および現在時刻の表示/非表示を選択します。
チェックを入れると、日付と現在時刻を表示します。

本機の時刻設定については、「4-1-5 日付&時間(p.4-15)」をご覧ください。

4-3 オーディオ

■ オーディオ > 基本

オーディオ

基本設定

ビデオ & イメージ

オーディオ

基本

イベント

システム

オーディオ-基本

オーディオ設定

オーディオ有効

- 圧縮タイプ

- サンプリングレート

- サウンドビットレート

オーディオ入力

入力

入力音量 ミュート

オーディオ出力

オーディオ出力有効

- 出力音量 ミュート

保存 リセット

音声ストリームの設定ができます。

本項目の設定内容については、「4-1-4 オーディオ (p.4-12)」をご覧ください。

4-4 イベント

さまざまなイベント発生した際に、メール送信や接点信号出力によりイベント通知を行うことができます。

<< 注意 >>

イベント機能を正しく動作させるためには、下記手順でイベント入力と出力を関連付けする必要があります。

1. イベント入力にて、イベント条件を設定します。
2. イベント出力にて、イベント発生時の動作内容を設定します。
3. イベントマップにて、イベント入力と出力の関連付けをします。

4-4-1 イベント入力 > オンブート -起動検知を有効にする-

■ イベント > イベント入力 > オンブート



本機が起動したことを検出してイベント出力を行います。

• オンブート設定

➤ オンブート有効

オンブート機能を使用する場合、ボックスをクリックしチェックを入れてください。

➤ 保持時間

イベント検出後の状態を維持する時間を設定します。

4-4-2 イベント入力 > アラーム入力 -接点入力を有効にする-

■ イベント > イベント入力 > アラーム入力

イベント

基本設定

ビデオ & イメージ

オーディオ

イベント

- イベント入力
 - オンブート
 - アラーム入力
 - マニュアルトリガー
 - モーション検知
 - ネットワークロス
 - AITHM
 - タイムトリガー
 - VCA(映像解析)
- イベント出力
 - イベントマップ

システム

イベント入力-アラーム入力

アラーム入力 ポート1設定

アラーム入力 ポート1有効

- タイプ NO

- 保持時間 3 [1... 180] 秒

保存 リセット

アラーム入力端子の状態の変化を検知してイベント出力を行います。

アラーム信号の入力には、2 芯線などを本機に接続する必要があります。
詳しい接続方法については、「取扱説明書 - 設置編 -」をご覧ください。

• アラーム入力 ポート 1 設定

➤ アラーム入力 ポート 1 有効

アラーム入力検知機能を使用する場合、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。

➤ タイプ

アラーム入力端子の基本状態を選択します。

- NC … アラーム入力端子が開放状態の時、イベント出力を行います。
- NO … アラーム入力端子が短絡状態の時、イベント出力を行います。

➤ 保持時間

イベント検出後の状態を維持する時間を設定します。

4-4-3 イベント入力 > マニュアルトリガー -手動でイベントを発生させる-

■ イベント > イベント入力 > マニュアルトリガー

イベント

基本設定

ビデオ&イメージ

オーディオ

イベント

- イベント入力
 - オンブート
 - アラーム入力
 - マニュアルトリガー
 - モーション検知
 - ネットワークロス
 - AIHM
 - タイムトリガー
 - VCA(映像解析)
- イベント出力
 - イベントマップ

システム

イベント入力-マニュアルトリガー

マニュアルトリガー-1設定

マニュアルトリガー-1を有効にする
- 保持時間 [1... 180] 秒

マニュアルトリガー-2設定

マニュアルトリガー-2を有効にする
- 保持時間 [1... 180] 秒

マニュアルトリガー-3設定

マニュアルトリガー-3を有効にする
- 保持時間 [1... 180] 秒

マニュアルトリガー-4設定

マニュアルトリガー-4を有効にする
- 保持時間 [1... 180] 秒

保存 リセット

ライブ画面にて任意のタイミングでイベント出力を発生させることができます。

• マニュアルトリガー1 設定

➤ マニュアルトリガー1 を有効にする

本機能を有効にする場合は、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。

➤ 保持時間

イベント検出後の状態を維持する時間を設定します。

• マニュアルトリガー2~4 設定

マニュアルトリガー1 設定と内容は同じです。

4-4-4 イベント入力 > モーション検知 -動き検知を有効にする-

■ イベント > イベント入力 > モーション検知

イベント

- 基本設定
- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- イベント
 - イベント入力
 - オンポート
 - アラーム入力
 - マニュアルトリガー
 - モーション検知
 - ネットワークロス
 - AIHM
 - タイムトリガー
 - VCA(映像解析)
 - イベント出力
 - イベントマップ
- システム

イベント入力-モーション検知

ビデオプレビュー



*** Note**
エリアの追加・削除などの操作は、ビデオプレビュー上でマウス操作により設定します。
ビデオプレビュー上を右クリックすると選択数が表示されます。

モーション検知設定

モーション検知を有効にする

ID	名前	タイプ	しきい値	感度	保持時間	削除
----	----	-----	------	----	------	----

保存 リセット

指定エリア内の動きの変化を検知してイベント出力を行います。

※モーション検知とVCA機能のインテリジェントモーション検知を同時に使用することはできません。

モーション検知エリアの設定方法については、次ページをご覧ください。

イベント入力 > モーション検知 -動き検知を有効にする-(つづき)

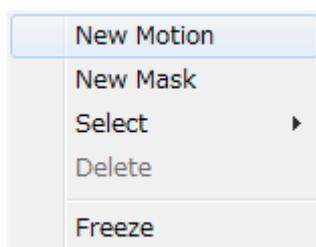
- モーション検知エリアを設定する

1. 「モーション検知を有効にする」のボックスをクリックし、チェックを入れます。



2. 画面上の映像表示エリア上で右クリックします。

※クイックメニューが表示されます。



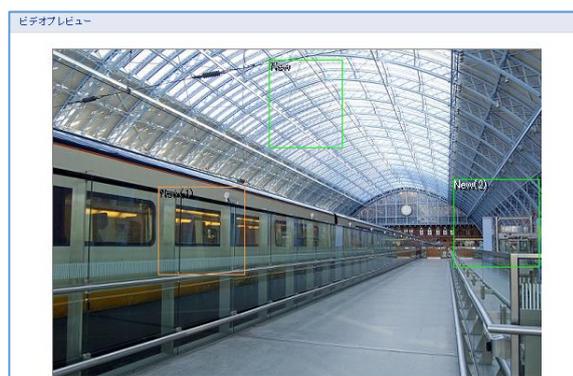
3. 「New Motion」をクリックし、映像表示エリア内で検知したいエリアをドラッグ & ドロップで選択します。

「New Mask」にて設定したエリアは、動き検知機能を無効にします。

※検知エリアは緑色、非検知エリアはオレンジ色の枠で表示されます。

<< 注意 >>

検知エリアと非検知エリアが重なっている場合は、非検知エリアが優先されます。



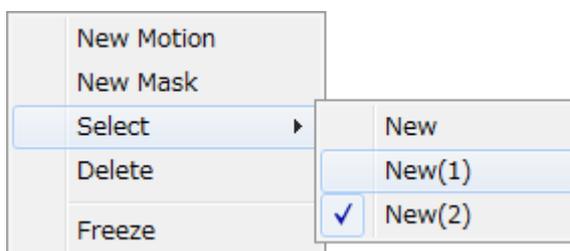
同様の手順で最大 8 箇所検知エリアを設定できます。

<< 設定後に検知エリア位置やサイズを変更するには・・・ >>

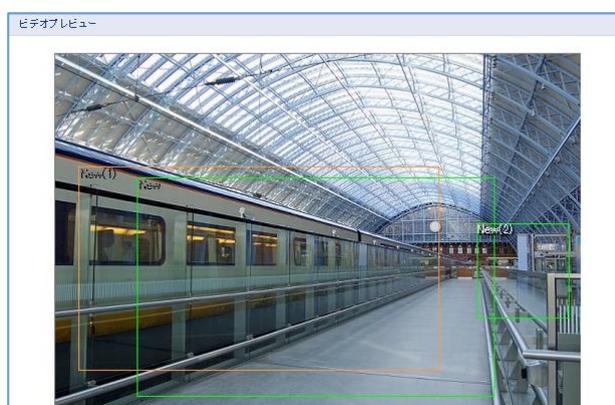
- ① 映像表示エリア内でクイックメニューを表示し、「Select」をクリックします。

イベント入力 > モーション検知 -動き検知を有効にする-(つづき)

- ② 変更したいマスクを選択します。



- ③ 設定済みの検知エリア内にマウスカーソルを移動し、再度検知エリア位置を調整して完了です。
緑辺(オレンジ辺)にマウスカーソルを重ねると、検知(非検知)エリアサイズを変更できます。



4. エリアを設定すると、画面下のリストに追加表示されます。

ID	名前	タイプ	しきい値	感度	保持時間	削除
1	New	検知領域	2	55	3	X
2	New(2)	検知領域	2	55	3	X
9	New(1)	非検知領域	0	0	0	X

- ID

- 名前

「名前」欄にて各エリアの表示名称を変更できます。

※「ID」は変更できません。

5. 画面下の「保存」をクリックして完了です。



各エリアの感度やイベント保持時間については次のページをご覧ください。

イベント入力 > モーション検知 -動き検知を有効にする-(つづき)

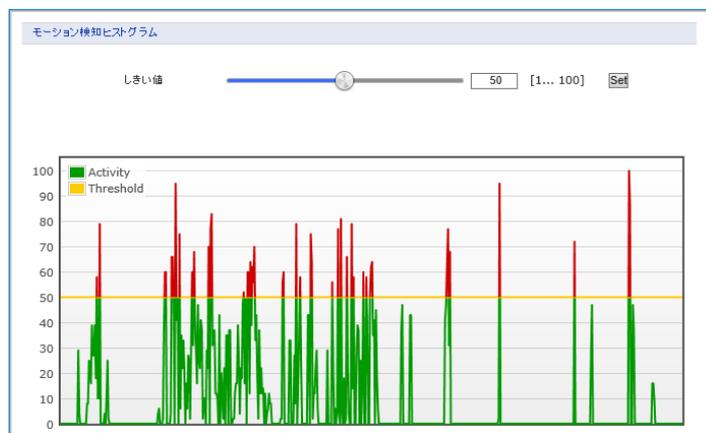
- 検知エリア内の感度を設定する

1. リスト内から設定を行いたい ID 行をクリックして、感度やイベント保持時間を設定します。

ID	名前	タイプ	しきい値	感度	保持時間	削除
1	New	検知領域	2	55	3	X
2	New(2)	検知領域	2	55	3	X
9	New(1)	非検知領域	0	0	0	X

- ID ヒストグラム表示
- 名前
- タイプ ▼
- しきい値 [1... 100]
- 感度 [1... 100]
- 保持時間 [1... 180] 秒

- ID
エリアの ID 番号を表示します。本項目は変更できません。
- 名前
エリアの表示名を変更します。
- タイプ
検知エリアまたは非検知エリアを表示します。本項目からのタイプ変更はできません。
- しきい値
モーション検知の閾値を設定します。数字が小さい程、イベントを作動させやすくなります。設定保存後、「ヒストグラム表示」をクリックすると、下記ウィンドウが表示されます。



この画面にて検出量としきい値を確認しながら、検知するしきい値を設定してください。赤色で表示されると、動きを検出したとしてイベント通知を作動させます。

イベント入力 > モーション検知 -動き検知を有効にする-(つづき)

- 感度
モーション検知の感度を設定します。数字が大きい程、小さな動きを検知します。
ノイズが多い環境では、感度を下げてください。
- 保持時間
イベント検出後の状態を維持する時間を設定します。
- 削除
選択中のエリアを削除します。

2. 各種設定後、「保存」をクリックして完了です。



- 検知エリアを削除する

1. エリアリストから削除したい ID 行をクリックし、「削除」欄のアイコン **X** をクリックします。
クイックメニューにて「Select」からエリアを選択後、「Delete」でも削除できます。
※確認画面が表示されたら「OK」をクリックしてください。
2. リストから削除されていることを確認して完了です。

4-4-5 イベント入力 > ネットワークロス -接続不良検知を有効にする-

■ イベント > イベント入力 > ネットワークロス



本機と直接接続している機器とのネットワーク接続が切れたことを検知してイベント出力を行います。

• ネットワークロス設定

- ネットワークロスを有効にする
ネットワークロス検知機能を使用する場合、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。
- 保持時間
イベント検出後の状態を維持する時間を設定します。

4-4-6 イベント入力 > AIHM

■ イベント > イベント入力 > AIHM



本機能はご利用できません。
設定内容を変更しないでください。

4-4-7 イベント入力 > タイムトリガー -定期的にイベントを発生させる-

■ イベント > イベント入力 > タイムトリガー

イベント

基本設定

ビデオ&イメージ

オーディオ

イベント

イベント入力

- ・ オンブート
- ・ アラーム入力
- ・ マニュアルトリガー
- ・ モーション検知
- ・ ネットワークロス
- ・ AIHM
- ・ **タイムトリガー**
- ・ VCA(奥検解析)

イベント出力

- ・ イベントマップ

システム

イベント入力-タイムトリガー

タイムトリガー-設定

タイムトリガー-有効

トリガー 1 トリガー 2 トリガー 3 トリガー 4

タイムトリガー 1

指定した日付の指定時刻にトリガーする

- 日付 2019-09-23

- 時刻 15 : 42

毎日、指定時刻にトリガーする

- 時刻 15 : 42

指定した曜日の指定時刻にトリガーする

- 曜日 月

- 時刻 15 : 42

毎月、指定日の指定時刻にトリガーする

- 日 23

- 時刻 15 : 42

保存 リセット

指定した時間毎にイベントを作動させてイベント出力を行います。

• タイムトリガー設定

➤ タイムトリガー有効

タイムトリガー機能を使用する場合、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。

➤ 指定した日付の指定時刻にトリガーする

特定の日付時刻にイベント出力を行う場合、ボックスにチェックを入れます。

「日付」、「時刻」にてイベントを発生させる日付、時刻を設定してください。

指定した日付の指定時刻にトリガーする

- 日付 2019-09-23

- 時刻 15 : 42

例 : 2019年9月23日 15時42分にイベント出力を行います。

イベント入力 > タイムトリガー -定期的にイベントを発生させる-(つづき)

- 毎日、指定時刻にトリガーする

毎日、特定の時刻にイベント出力を行う場合、ボックスにチェックを入れます。
「時刻」にてイベントを発生させる時刻を設定してください。

毎日、指定時刻にトリガーする

- 時刻 :

例 : 毎日 15 時 42 分にイベント出力を行います。

- 指定した曜日の指定時刻にトリガーする

毎週、特定の曜日時刻にイベント出力を行う場合、ボックスにチェックを入れます。
「曜日」、「時刻」にてイベントを発生させる曜日、時刻を設定してください。

指定した曜日の指定時刻にトリガーする

- 曜日

- 時刻 :

例 : 毎週月曜日の 15 時 42 分にイベント出力を行います。

- 毎月、指定日の指定時刻にトリガーする

毎月、特定の日付時刻にイベント出力を行う場合、ボックスにチェックを入れます。
「日」、「時刻」にてイベントを発生させる日付、時刻を指定してください。

毎月、指定日の指定時刻にトリガーする

- 日

- 時刻 :

例 : 毎月 23 日の 15 時 42 分にイベント出力を行います。

4-4-8 イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-

■ イベント > イベント入力 > VCA(映像解析)

イベント

- 基本設定
- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- イベント
 - イベント入力
 - オンブート
 - アラーム入力
 - マニュアルトリガー
 - モーション検知
 - ネットワークロス
 - AIHM
 - タイムトリガー
 - VCA(映像解析)**
 - イベント出力
 - イベントマップ
- システム

イベント入力-VCA(映像解析)

ビデオプレビュー



*** Note**
このページの設定の一部は、ビデオプレビュー上でマウス操作により設定します。

VCA(映像解析)設定

VCA(映像解析)を有効にする

ルールの表示

モーション 侵入検知 排他的

オブジェクト

感度 80 デフォルト

横幅 最小サイズ 2 デフォルト

縦幅 最小サイズ 6 デフォルト

横幅 最大サイズ 50 デフォルト

縦幅 最大サイズ 60 デフォルト

オブジェクトサイズ表示

デテクションルール

番号	有効/無効	ルール名		
1	無効	AnalyticRule1		
2	無効	AnalyticRule2		
3	無効	AnalyticRule3		

排他的領域

- 排他的領域 off

ビデオコントロール

このボタンを押すと背景を再認識します。

シーンの種類

表示モード



映像内のオブジェクトを認識し、侵入検知や置き去り検知をもとにイベント出力を行います。
このオブジェクトの認識は、ハイストリームの動的関心領域の ROI(関心領域)にも反映されます。

イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

<< VCA 機能の使用上の注意 >>

本機能をご利用になる前に「VCA 機能に関する注意事項(p.13)」をご覧ください。

下記の撮影環境で VCA 機能を使用した場合、誤検知する場合があります。

- 暗い環境の場合
- 撮影環境の明るさの変化が激しい場合
- 動いている物体が施設に重なっている場合
- 影が発生する場合
- 木や植物が風に揺れる場合
(排他的領域で非検知エリアを設定してください。)
- 川、湖、ビルの窓、鏡などのように反射が映る環境の場合
(排他的領域で非検知エリアを指定してください。)
- 物体のサイズが画面上の 5%以下または、40%以上の場合
- カメラの AGC や IRIS 動作により明るさが変化した場合
- 背景と明るさの差が小さい被写体が移動する場合
- 台風、雪、雨のような悪天候の場合
- 被写体のサイズ変化量が大きい場合
- 木のような障害物の背後を被写体が通過した場合
- 動きが少ない場合
- 被写体の動きが早い場合
- 移動する物体が多く、背景との識別が難しい場合(例:通勤時間の地下鉄乗り場)
- カメラの揺れによる映像のぶれがある場合
- 撮影領域に点滅する光がある場合
- カメラレンズの汚れなどによりフォーカスが合わない場合

イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

- カメラ妨害検知を有効にする

レンズ前を布などで覆う行為や、画角が変わるなど撮影妨害を検知してイベント出力を行います。

下記手順で設定を行ってください。

1. 「VCA(映像解析)を有効にする」のボックスをクリックしてチェックを入れます。

VCA(映像解析)設定

VCA(映像解析)を有効にする

ルールの表示

モーション 侵入検知 排他的

2. 「ディテクションルール」にて「カメラ妨害検知」を選択します。

3. 続けて妨害検知の詳細を設定します。

ディテクションルール			
1	カメラ妨害検知	ルール名: AnalyticRule1 保持時間: 3 [1... 180] 秒 感度: 50 [10... 100] 照明変化検出: <input type="checkbox"/> 点灯 <input type="checkbox"/> 消灯 照明感度: 60 [10... 100]	
2	無効	ルール名: AnalyticRule2	
3	無効	ルール名: AnalyticRule3	

項目	内容
ルール名	検出ルールの名称を設定できます。
保持時間	イベント検知した状態を維持する時間を設定します。
感度	カメラの向きの変化、振動を検知する感度を設定します。 数値が大きい程、検知しやすくなります。
照明変化検出	室内光源の点灯または消灯を検知します。 > 点灯 … 室内が点灯するとイベント出力を行います。 > 消灯 … 室内が消灯するとイベント出力を行います。
照明感度	輝度の変化を検知する感度を設定します。 数値が大きい程、検知しやすくなります。

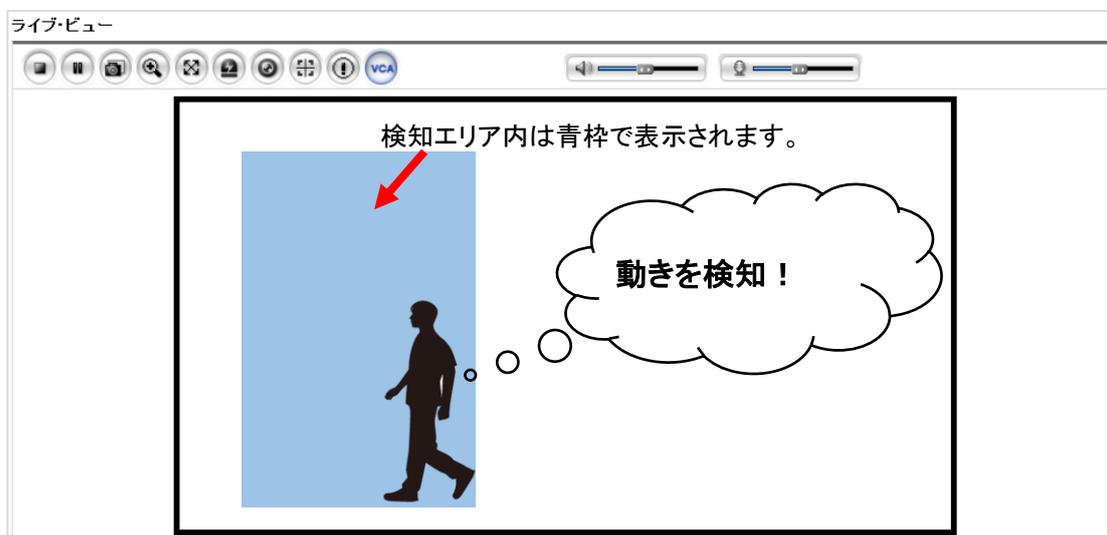
4. 設定完了後、画面下の「保存」をクリックして完了です。

イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

- インテリジェントモーションを有効にする

指定した検知エリア内の動きを検知し、イベント出力を行います。

<< イメージ >>



下記手順で設定を行ってください。

1. 「VCA(映像解析)を有効にする」のボックスをクリックしてチェックを入れます。



2. 「ルールを表示」にて「モーション」のボックスをクリックしてチェックを入れます。



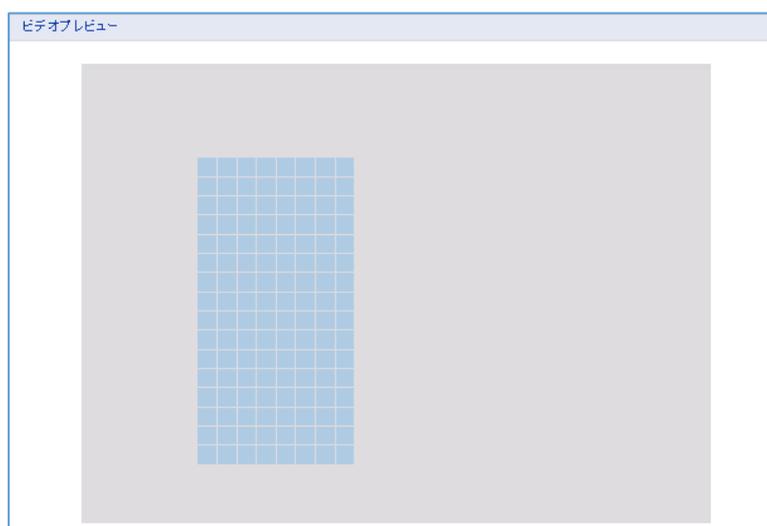
イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

3. 「ディテクションルール」にて「インテリジェントモーション」を選択します。
続けて、ルールの詳細を設定します。

ディテクションルール			
1	インテリジェントモーション	ルール名 AnalyticRule1 保持時間 3 [1... 180] 秒 感度 85 [1... 100]	off
2	無効	ルール名 AnalyticRule2	
3	無効	ルール名 AnalyticRule3	

項目	内容
ルール名	検出ルールの名称を設定できます。
保持時間	イベント検知した状態を維持する時間を設定します。
感度	検知枠内の動きを検知する感度を設定します。 数値が大きいく程、検知しやすくなります。

4. 「ディテクションルール」テーブルの右端をクリックし、**off** から **Edit** に切替えます。
5. ビデオプレビューの画面にてマウス操作でクリックまたはドラッグ & ドロップして検知エリアを設定します。
※検知エリアを設定するには、ディテクションルール欄が **Edit** となっている必要があります。



インテリジェントモーションで設定したエリアは、青色で表示されます。
既に設定済みのエリアを再度クリックまたはドラッグ & ドロップで選択すると、エリア設定が解除されます。

6. 画面下の「保存」をクリックして完了です。

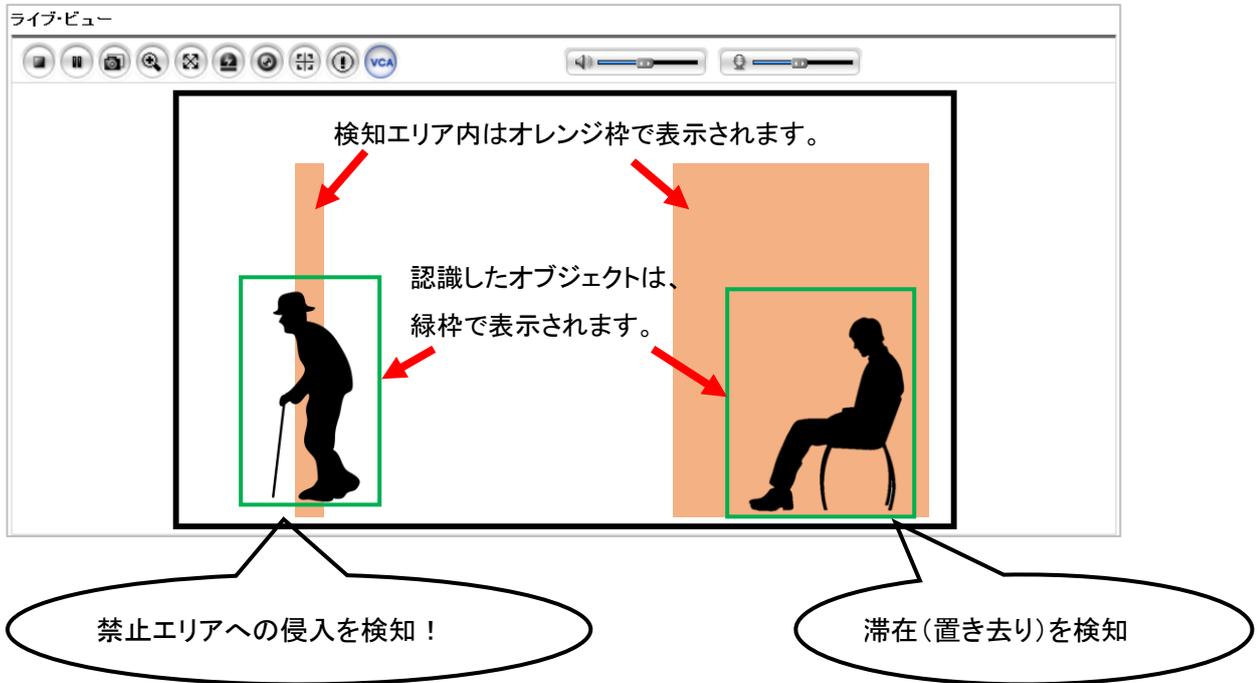


イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

- 侵入検知を有効にする

映像内のオブジェクトを認識し、指定エリア内への侵入や滞在(置き去り)を検知してイベント出力を行います。

<< イメージ >>



下記の手順で設定を行ってください。

1. 「VCA(映像解析)を有効にする」のボックスをクリックしてチェックを入れます。



2. 「ルールを表示」にて「侵入検知」のボックスをクリックしてチェックを入れます。



イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

3. 「オブジェクト」にて認識するオブジェクトサイズや感度を設定します。

オブジェクト			
感度		< > 80	デフォルト
横幅 最小サイズ		< > 2	デフォルト
縦幅 最小サイズ		< > 6	デフォルト
横幅 最大サイズ		< > 50	デフォルト
縦幅 最大サイズ		< > 60	デフォルト
<input type="checkbox"/> オブジェクトサイズ表示			

項目	内容
感度	認識するオブジェクトの感度を設定できます。 ノイズなどにより誤認識する場合は、感度を下げてください。
横幅(縦幅) 最小(最大)サイズ	認識するオブジェクトのサイズを設定できます。 最小サイズは、認識対象の平均サイズの約 50%程度 最大サイズは、認識対象の平均サイズの約 130%程度に それぞれ設定してください。
オブジェクトサイズ表示	ボックスにチェックを入れると、ビデオプレビューにオブジェクトの イメージサイズが表示されます。

4. 「ディテクションルール」にて「侵入検知」を選択します。

続けて、ルールの詳細を設定します。

ディテクションルール			
1	侵入検知	ルール名 <input type="text" value="AnalyticRule1"/>	<input type="checkbox"/> 侵入 <input type="checkbox"/> 滞在 <input type="checkbox"/> 退出 off
2	無効	ルール名 <input type="text" value="AnalyticRule2"/>	
3	無効	ルール名 <input type="text" value="AnalyticRule3"/>	

項目	内容
ルール名	検出ルールの名称を設定できます。
侵入	指定した検知エリア内をオブジェクトが通過すると イベント出力を行います。
滞在	指定した検知エリア内とオブジェクトが重なっている間、 イベント出力を行います。
退出	指定した検知エリア内をオブジェクトが通過すると イベント出力を行います。

イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

5. 「ディテクションルール」テーブルの右端をクリックし、**off** から **Edit** に切替えます。
6. ビデオプレビューの画面にてマウス操作でクリックまたはドラッグ & ドロップして検知エリアを設定します。
※検知エリアを設定するには、ディテクションルール欄が、**Edit** となっている必要があります。



侵入検知で設定したエリアは、オレンジ色で表示されます。

既に設定済みのエリアを再度クリックまたはドラッグ & ドロップで選択すると、エリア設定が解除されます。

7. 画面下の「保存」をクリックして完了です。

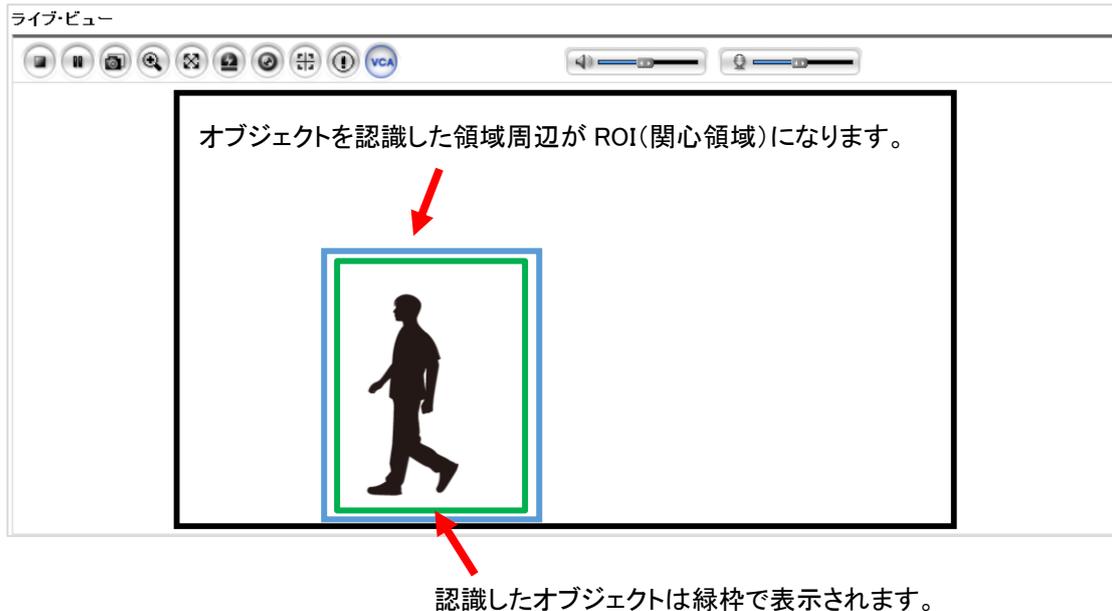


イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

- ハイストリームの動的関心領域の検出条件を設定する

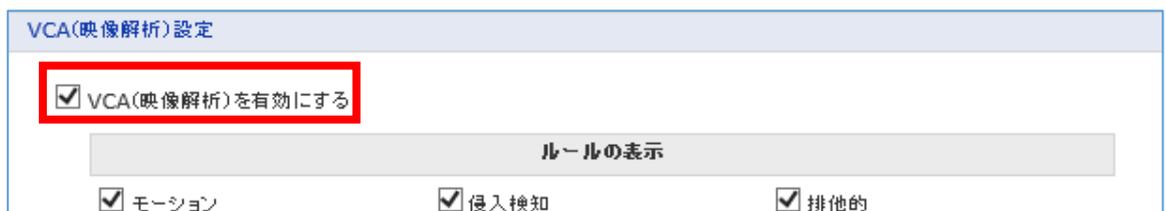
動的関心領域設定では、映像内のオブジェクトを認識した領域周辺が ROI(関心領域)となります。ハイストリーム機能の設定については「4-2-3 ハイストリーム -ROI 機能を有効にする(p.4-23)」をご覧ください。

<< イメージ >>



下記手順で設定を行ってください。

5. 「VCA(映像解析)を有効にする」のボックスをクリックしてチェックを入れます。



6. 「オブジェクト」にて認識するオブジェクトサイズや感度を設定します。

詳しくは、p.4-57 の手順 3 をご覧ください。

7. 画面下の「保存」をクリックして完了です。



イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

- VCA 機能無効エリアを設定する

VCA 機能によるオブジェクト検出を無効にするエリアを設定できます。

ハイストリームの ROI(関心領域)にする必要のないエリアを設定してください。

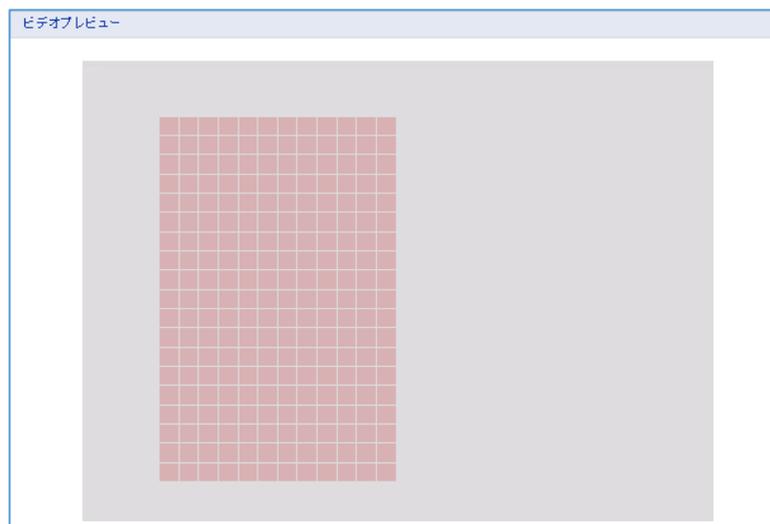
下記手順で設定を行ってください。

1. 「排他的領域」テーブルの右端をクリックし、**off** から **Edit** に切替えます。



2. ビデオプレビューの画面にてマウス操作でクリックまたな、ドラッグ&ドロップして無効エリアを設定します。

※無効エリアを設定するには、排他的領域欄が **Edit** となっている必要があります。



排他的領域で設定したエリアは、赤色で表示されます。

<< 注意 >>

侵入検知で設定済みの検知エリアと排他的領域が重なった場合は、**排他的領域**による無効機能が優先されます。

既に設定済みのエリアをクリックまたは再度ドラッグ & ドロップで選択すると、エリア設定が解除されます。

3. 画面下の「保存」をクリックして完了です。



イベント入力 > VCA(映像解析) -映像解析を設定する-(つづき)

- ビデオコントロール（背景を認識する）

撮影環境の変化が小さい環境では、背景を認識することで、オブジェクト検出の精度を高められます。

撮影環境の背景のみを撮影した条件で、「背景を認識する」をクリックして完了です。

ビデオコントロール

背景を認識する このボタンを押すと背景を再認識します。

シーンの種類 屋外 ▼

表示モード 水平 ▼

項目	内容
シーンの種類	設定内容を変更しないでください。
表示モード	設定内容を変更しないでください。

4-4-9 イベント出力 > SMTP(Eメール送信) -メールを送信する-

■ イベント > イベント出力 > SMTP(Eメール送信)

The screenshot shows the 'SMTP(Eメール送信)設定' (SMTP (E-mail sending) Settings) page. On the left is a navigation menu with 'イベント' (Event) selected, and 'イベント出力' (Event Output) expanded to show 'SMTP(Eメール送信)'. The main area contains the following sections:

- SMTP(Eメール送信)を有効にする** (Enable SMTP (E-mail sending)) - A checkbox that is currently unchecked.
- 送信元** (Sender) - A text input field.
- イメージ添付** (Image Attachment) - A checkbox that is currently unchecked.
- インターバル** (Interval) - A numeric input field set to 60, with a range of [10... 180] seconds.
- イベント蓄積数** (Event Accumulation Count) - A numeric input field set to 50, with a range of [1... 100].
- メールサーバー使用** (Use Mail Server) - A checkbox that is currently unchecked.
- メールサーバー** (Mail Server) - A text input field.
- ポート** (Port) - A numeric input field set to 25.
- 接続セキュリティ** (Connection Security) - A dropdown menu set to 'なし' (None).
- ユーザー名** (Username) - A text input field.
- パスワード** (Password) - A text input field.
- ログイン方法** (Login Method) - A dropdown menu set to 'SMTP認証 (LOGIN)' (SMTP Authentication (LOGIN)).
- 送信先メールアドレス** (Destination Mail Address) - Eight text input fields for specifying recipient addresses.
- メール送信テスト** (Email Sending Test) - A section with a '送信先メールアドレス' (Destination Mail Address) input field and a 'テスト' (Test) button.
- At the bottom are '保存' (Save) and 'リセット' (Reset) buttons.

イベントが発生した際に指定したアドレスにメールを送信します。

● SMTP(Eメール送信)設定

➤ SMTP(Eメール送信)を有効にする

メール送信機能を使用する場合、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。

➤ イメージ添付

ボックスにチェックを入れた場合、メール送信時に JPEG 画像を添付します。

- インターバル

メール送信間隔を設定します。

イベント検出後からメール送信を行うまでの間隔にも、本設定が適用されます。

※イメージ添付にチェックを入れない場合に設定できます。

- イベント蓄積数

未送信メールの件数が設定値を上回った場合に、古い順に未送信メールを送信します。

※イメージ添付にチェックを入れない場合に設定できます。

イベント出力 > SMTP (E メール送信) -メールを送信する-(つづき)

➤ メールサーバー使用

ボックスをクリックしてチェックを入れます。

使用するメールサーバー情報を入力してください。

項目	内容
メールサーバー	メールサーバーアドレスを入力します。
ポート	メールサーバーのポート番号を入力します。
接続セキュリティ	メールサーバーの対応しているセキュリティを選択してください。
ユーザー名	メールサーバーに登録しているアカウントのユーザー名を入力します。
パスワード	メールサーバーに登録しているアカウントのパスワードを入力します。
ログイン方法	メールサーバーの対応するログイン方法を選択します。

• **送信先メールアドレス**

イベントメールの送信先アドレスを入力します。

最大 8 件まで登録できます。

• **E メール送信テスト**

「送信先メールアドレス」欄に入力したアドレスにテストメールを送信します。

※SMTP メール設定の設定を保存した状態でテストメールを送信してください。

テストメールが受信できない場合は、下記事項をご確認ください。

- 本機のネットワーク設定が正しく設定されているか
- メールサーバー設定が正しく設定されているか
- 送信先メールアドレスは正しく設定されているか
- 受信側のメール設定にてセキュリティにより拒否されていないか

4-4-10 イベント出力 > FTP&JPEG -FTP サーバーへ通知する-

■ イベント > イベント出力 > FTP&JPEG

イベントが発生した際に指定した FTP サーバーへライブ映像の静止画(JPEG)を送信します。

• FTP 設定

➢ FTP 有効

FTP サーバーへの送信機能を使用する場合、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。
有効後、後述する FTP サーバー情報を入力してください。

• サーバー1~4 FTP 設定

➢ FTP 有効

サーバー1~4 のうち有効にするサーバーを選択します。(複数選択可)
続けて、使用する FTP サーバー情報を設定してください。

項目	内容
サーバー1	FTP サーバーアドレスを入力します。
パッシブモード	FTP サーバーと PASV(パッシブ)モードで通信を行う場合、ボックスにチェックを入れます。

イベント出力 > FTP & JPEG -FTP サーバーへ通知する-(つづき)

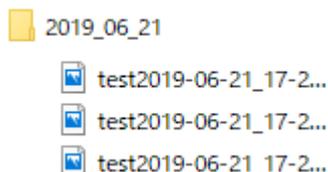
項目	内容
ポート	FTP サーバーのポート番号を入力します。
リモートディレクトリ	保存先のディレクトリを入力します。
ユーザー名	FTP サーバーに登録しているアカウントのユーザー名を入力します。
匿名のログイン	FTP サーバーに匿名でログインする場合、ボックスにチェックを入れます。 ※FTP サーバーが対応している必要があります。
パスワード	FTP サーバーに登録しているアカウントのパスワードを入力します。

➤ タイムフォルダー有効

ボックスにチェックを入れると、「時間タイプ」にて選択したフォルダーが作成されます。

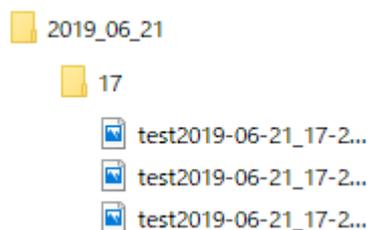
- 日

指定した保存先に年_月_日のフォルダーが作成され、日ごとにフォルダーを分けて静止画を保存します。



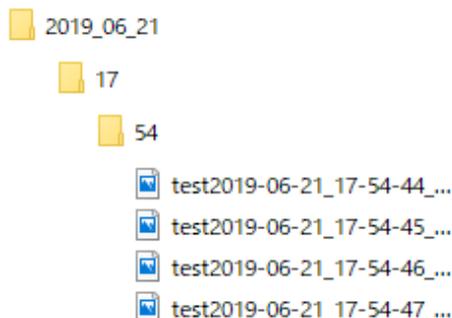
- 時

指定した保存先に年_月_日_時のフォルダーが作成され、時間ごとにフォルダーを分けて静止画を保存します。



イベント出力 > FTP & JPEG -FTP サーバーへ通知する-(つづき)

- 分
指定した保存先に年_月_日_時_分のフォルダーが作成され、分ごとにフォルダーを分けて静止画を保存します。



• サーバー1~4 JPEG 設定

項目	内容
プレイイベント	<p>プレイイベント期間と画像作成の間隔を設定します。 時間:プレイイベントの期間 (例:5 秒の場合、イベント発生 5 秒前からイベント発生までの画像が送信されます。) フレームレート: 1 秒間に作成する画像の枚数 ※プレイイベントの画像の枚数は、最大 30 枚です。</p>
イベント	<p>イベント期間の画像作成の間隔を設定します。 フレームレート: 1 秒間に作成する画像の枚数 イベント期間は、イベントの検出条件により異なります。 (例:モーション検知の場合、 モーション検知期間+保持時間の画像が送信されます。)</p>
ポストイベント	<p>ポストイベント期間と画像作成の間隔を設定します。 時間:ポストイベントの期間 (例:時間 5 秒の場合、 イベント終了から 5 秒間の画像が送信されます) フレームレート: 1 秒間に作成する画像の枚数 ※ポストイベントの画像の枚数は、最大 30 枚です。</p>
ファイル名	<p>ファイル名の先頭の文字列を設定します。また、ファイル名に付ける情報を日付時刻とシーケンス番号から選択します。 ※本機が再起動するとシーケンス番号は 1 に戻ります。 シーケンス番号を選択する場合、タイムフォルダーの使用を推奨します。</p>

4-4-11 イベント出力 > アラーム出力 -接点出力する-

■ イベント > イベント出力 > アラーム出力



イベントが発生した際に接点を作動させてアラーム信号を出力します。

アラーム信号の出力には、2 芯線などを本機に接続する必要があります。
詳しい接続方法については、「取扱説明書 -設置編-」をご覧ください。

• アラーム出力設定

➤ アラーム出力を有効にする

接点出力機能を使用する場合、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。

➤ タイプ

アラーム出力の定常状態を選択します。

- NO … 通常時、アラーム出力端子を開放状態にします。
イベントマップで関連付けしたイベントが発生後、短絡状態に切り替わります。
- NC … 通常時、アラーム出力端子を短絡状態にします。
イベントマップで関連付けしたイベントが発生後、開放状態に切り替わります。

4-4-12 イベント出力 > オーディオアラート

■ イベント > イベント出力 > オーディオアラート

イベント

- 基本設定
- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- イベント**
 - イベント入力
 - イベント出力**
 - SMTP(Eメール送信)
 - FTP&JPEG
 - アラーム出力
 - オーディオアラート**
 - 録画
 - XML通知
 - ブースト
 - 通知サーバー
 - Hi-Link
 - イベントマップ
- システム

イベント出力-オーディオアラート

オーディオアラート-設定

オーディオアラート-有効

オーディオファイル1

オーディオファイル2

オーディオファイル3

オーディオアラートテスト

No.	ファイル名	ファイルサイズ	プレイ時間	ビットレート
* Note ファイルサイズの合計は 512KB以下にしてください。				



本機能はご利用できません。
設定内容を変更しないでください。

4-4-13 イベント出力 > 録画

■ イベント > イベント出力 > 録画

イベント

- 基本設定
- ビデオ & イメージ
- オーディオ
- イベント
 - イベント入力
 - イベント出力
 - SMTP(Eメール送信)
 - FTP & JPEG
 - アラーム出力
 - オーディオアラート
 - 録画
 - XML通知
 - ブースト
 - 通知サーバー
 - Hi-Link
 - イベントマップ
- システム

イベント 出力-録画

録画設定

録画を有効にする

上書き

連続録画

*** Note**
連続録画を使用する場合、SDカードの寿命が短くなります。

-ストリームタイプ

-プレイベント [0... 10] 秒

-ポストイベント [0... 60] 秒

音声録音

録画スケジュール

録画しない 録画する

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

全て選択 全て削除

デバイス設定

デバイスタイプ

フォーマット

機器ステータス 記録装置がありません。

デバイスの取り外し

機器インフォメーション

全体	使用済	使用可	使用比率	不良セクター
0.00MB	0.00MB	0.00MB	0.00%	0.00%

イベントが発生した際に本機に挿入した MicroSD カードへ録画を行います。

本機能を使用する場合は、あらかじめ本機に MicroSD カードを挿入しておく必要があります。

<< 注意 >>

本機能をご利用になる前に「録画(SD)に関する注意事項(p.12)」をご覧ください。

イベント出力 > 録画 -SD カードに録画する-(つづき)

• 録画設定

録画設定

録画を有効にする

上書き
 連続録画

*** Note**
連続録画を使用する場合、SDカードの寿命が短くなります。

-ストリームタイプ ▼

-プレイベント [0... 10] 秒

-ポストイベント [0... 60] 秒

音声録音

- 録画を有効にする
録画機能を使用する場合、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。
- 上書き
ボックスにチェックを入れると上書き機能を有効にします。
MicroSD カードの容量が一杯になった際、古い映像から削除・上書きして録画を継続します。
- 連続録画
ボックスにチェックを入れると連続録画機能を有効にします。
イベントの有無に関わらず、常に MicroSD カードへ録画を行います。
- ストリームタイプ
録画をするストリームを選択します。
- プレイベント
イベント発生前の録画期間を設定します。
- ポストイベント
イベント発生後の録画期間を設定します。
- 音声録音
ボックスにチェックを入れると本機に接続したマイクからの音声を録音します。
本機能を使用する場合、「4-1-4 オーディオ入出力を設定する p.4-13」の「オーディオ設定」の「オーディオ有効」のボックスにチェックを入れ、「オーディオ入力」を設定してください。

イベント出力 > 録画 -SD カードに録画する-(つづき)

- 録画スケジュール

録画スケジュール

録画しない 録画する

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

全て選択 全て削除

録画を行うスケジュールを設定します。

各マスをクリックまたはドラッグ & ドロップすると録画の有効/無効を切替えることができます。

➤ 全て選択

全てのマスを一括で「録画する」のスケジュールにします。

➤ 全て削除

全てのマスを一括で「録画しない」のスケジュールにします。

- デバイス設定

「SD」から設定を変更しないでください。

- フォーマット

MicroSD カードをフォーマットします。

本機で MicroSD カードを使用する場合は、「フォーマット」をクリックしてください。

フォーマットが完了すると、機器ステータスの表示が「使用可」と表示されます。

<< 注意 >>

フォーマットを行うと、MicroSD 内のデータが全て削除されます。

別のカメラにて使用していた MicroSD カードを使用する場合、フォーマットを行う必要があります。

イベント出力 > 録画 -SD カードに録画する-(つづき)

- デバイスの取り外し

「取り外し」をクリックすると、安全に MicroSD カードを抜き出すことができます。

<< 注意 >>

「取り外し」をクリックせずに、MicroSD カードを抜き取らないでください。

録画データの破損につながります。

- 機器インフォメーション

接続中の MicroSD カードの情報を確認できます。

機器インフォメーション				
全体	使用済	使用可	使用比率	不良セクター
29.81GB	29.81GB	0.00MB	100.00%	0.00%

項目	内容
全体	最大容量を表示します。
使用済	書込み済みの容量を表示します。
使用可	空き容量を表示します。
使用比率	使用可能な容量の割合を表示します。
不良セクター	不良セクターの割合を表示します。 ※本項目の数値が大きい場合、MicroSD カードの交換を推奨します。

4-4-14 イベント出力 > XML 通知

■ イベント > イベント出力 > XML 通知

イベント

- 基本設定
- ビデオ & イメージ
- オーディオ
- イベント
 - イベント入力
 - イベント出力
 - SMTP(メール送信)
 - FTP & JPEG
 - アラーム出力
 - オーディオアラート
 - 録画
 - XML通知**
 - プーセント
 - 通知サーバー
 - Hi-Link
 - イベントマップ
- システム

イベント出力-XML通知

XML通知設定

XML通知を有効にする

-通知サーバーURL

-通知サーバーポート

保存 リセット

本機能はご利用できません。
設定内容を変更しないでください。

4-4-15 イベント出力 > ブースト -ブースト出力する-

■ イベント > イベント出力 > ブースト

イベント

基本設定

ビデオ&イメージ

オーディオ

イベント

イベント入力

イベント出力

- SMTP(メール送信)
- FTP& JPEG
- アラーム出力
- オーディオアラート
- 録画
- XML通知
- ブースト
- 通知サーバー
- Hi-Link
- イベント マップ

システム

イベント出力-ブースト

ブースト設定

ブースト有効

- ブーストストリーム オ リーム1

	ノーマルコンディション	ブーストコンディション
フレームレート	5	5
ビットレートコントロール	CBR	
ビットレート	800 [Kbps]	800 [Kbps]

保存 リセット



イベントが発生した際に一時的にフレームレートや画質を変更できます。

• ブースト設定

➤ ブースト有効

ブースト機能を使用する場合、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。

イベント出力 > ブースト -ブースト出力する-(つづき)

➤ ブーストストリーム

ブースト時に設定を変更するストリームを選択します。

また、ストリーム毎に通常時とブースト時のストリーム設定を変更できます。

- ノーマルコンディション

通常時のストリーム情報を設定します。

本項目で変更した内容は、ビデオ & イメージの基本設定にも反映されます。

- ブーストコンディション

イベント発生時のストリーム情報を設定します。

ストリーム 1、3、4 の場合、フレームレート、ビットレートコントロール、ビットレートを設定できます。

	ノーマルコンディション	ブーストコンディション
フレームレート	5 ▼	15 ▼
ビットレートコントロール	CBR ▼	
ビットレート	1000 ▼ [Kbps]	2000 ▼ [Kbps]

※ノーマルコンディションとブーストコンディションの低い方のフレームレートに対して、

GOP サイズが 2 倍以下になるように、GOP サイズを再設定してください。

GOP サイズの設定は、「4-1-3 ビデオ&イメージ ストリーム情報を設定する(p.4-10)」をご覧ください

ストリーム 2 の場合、フレームレートと画質を設定できます。

	ノーマルコンディション	ブーストコンディション
フレームレート	5 ▼	15 ▼
画質	50 [1 ...100]	80 [1 ...100]

4-4-16 イベント出力 > 通知サーバー

■ イベント > イベント出力 > 通知サーバー

イベント

- 基本設定
- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- イベント**
 - イベント入力
 - イベント出力**
 - SMTP(メール送信)
 - FTP&JPEG
 - アラーム出力
 - オーディオアラート
 - 録画
 - XML通知
 - プースト
 - 通知サーバー**
 - Hi-Link
 - イベントマップ
- システム

イベント出力-通知サーバー

通知サーバー設定

通知サーバーを有効にする

- タイプ HTTP

- メソッド POST

- URL

- ポート 80

- ユーザー名

- パスワード

通知サーバーテスト

メッセージ送信 [] テスト

保存 リセット



本機能はご利用できません。
設定内容を変更しないでください。

4-4-17 イベント出力 > Hi-Link

■ イベント > イベント出力 > Hi-Link



本機能はご利用できません。
設定内容を変更しないでください。

4-4-18 イベントマップ -イベント入力と出力を関連付ける-

■ イベント > イベントマップ



イベント入力とイベント出力の関係を設定できます。

本項目にて、関連付けを行わないと、イベント出力機能が作動しないため、必ず設定を行ってください。

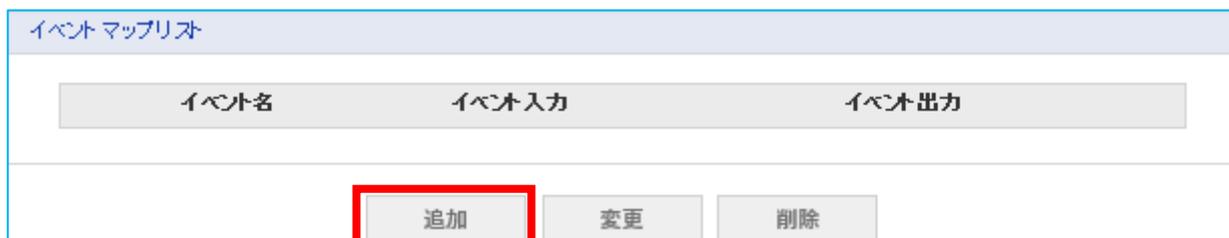
なおイベントの関連付けを行うには、あらかじめ条件となるイベント入力と動作となるイベント出力をそれぞれ設定しておく必要があります。

• イベントマップリスト

関連付けを行ったイベント動作を一覧で表示します。

下記手順で、イベント入力と出力の関連付けができます。

1. 「追加」をクリックします。



「追加」をクリックすると、紐付け設定画面が表示されます。

イベントマップ – イベント入力と出力を関連付ける-(つづき)

2. 「一般 > 名称」にてイベント名を設定します。



一般

・ 名称

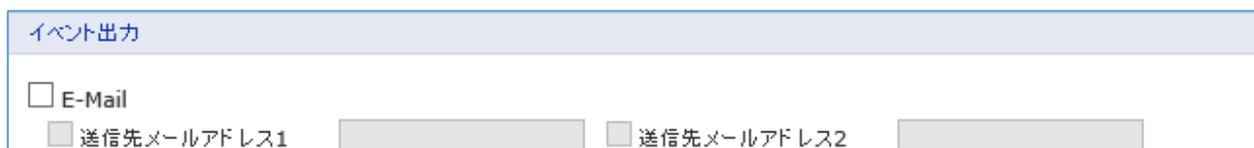
3. 「イベント入力 > タイプ」にて条件となるイベント入力を選択します。



イベント入力

・ タイプ

4. 「イベント出力」にてイベント発生時に作動させる機能を選択します。
使用するイベント出力のボックスをクリックしてチェックを入れてください。



イベント出力

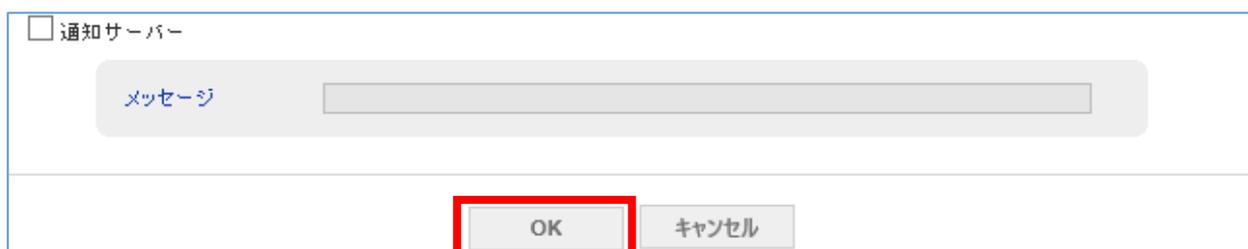
E-Mail

- E-Mail
登録したメールアドレスへイベント発生メールを送信します。
SMTP(Eメール送信)にて設定したアドレスが表示されます。
「メールタイトル」にて送信メールのタイトルを入力してください。
メールタイトルは、半角 1~31 文字または、全角 1~10 文字まで入力できます。
「追加情報」にてメール内に表示するコメントを入力してください。
追加情報は、半角 1~31 文字までまたは、全角 1~10 文字まで入力できます。
- FTP
登録した FTP サーバーへ静止画データを送信します。
FTP & JPEG にて設定した FTP サーバーのうち使用するサーバーを選択し、ボックスをクリックしてください。
- アラーム出力
接点出力を行います。
- オーディオアラート
本機能はご利用できません。
- XML 通知
本機能はご利用できません。

イベントマップ -イベント入力と出力を関連付ける-(つづき)

- ブースト
ブーストコンディションでストリーム配信を行います。
- 録画
イベント発生時に MicroSD カードへ録画を行います。
- Hi-Link
本機能はご利用できません。
- 通知サーバー
本機能はご利用できません。

5. 紐付け設定画面内の「OK」をクリックして、画面を閉じます。



通知サーバー

メッセージ

OK キャンセル

6. リスト欄に関連付けされたイベント名が表示されていることを確認します。

イベントマップリスト		
イベント名	イベント入力	イベント出力
free event	Onboot	SMTP(1),FTP(1),AlarmOut,BOOST

イベントマップ -イベント入力と出力を関連付ける-(つづき)

7. 「変更」をクリックすると、選択中のイベント行の関連付け内容を再設定できます。

イベントマップリスト		
イベント名	イベント入力	イベント出力
free event	Onboot	SMTP(1),FTP(1),AlarmOut,BOOST

※イベント入力の条件は変更できません。

イベント入力の条件を変更する場合、リストから「削除」した後、新たに追加してください。

8. 「削除」をクリックすると、選択中のイベント行を削除します。

イベントマップリスト		
イベント名	イベント入力	イベント出力
free event	Onboot	SMTP(1),FTP(1),AlarmOut,BOOST

4-5 システム

本機のネットワーク、時刻、セキュリティに関する設定、ログ情報の閲覧ができます。

<< 注意 >>

システム設定画面は、ユーザーグループが「管理者」のみアクセスが可能です。

ユーザー権限の設定は、「4-1-1 ユーザー -アカウント情報を設定する-(p.4-3)」をご覧ください。

システム

基本設定

ビデオ&イメージ

オーディオ

イベント

システム

インフォメーション

セキュリティ

日付&時刻

ネットワーク

言語

メンテナンス

サポート

インフォメーション

デバイス名設定

デバイス名

ロケーション設定

ロケーション1

ロケーション2

ロケーション3

ロケーション4

保存 リセット

項目	内容
インフォメーション	本機のデバイス名や設置場所などの情報を入力できます。
セキュリティ	ユーザー権限の設定やIPフィルターの設定ができます。
日付&時刻	本機のシステム時刻を設定できます。
ネットワーク	本機のIPアドレスなどのネットワーク設定を行います。
言語	Webページの表示言語を設定します。
メンテナンス	再起動や工場出荷時設定ができます。
サポート	本機の動作ログやステータスを確認できます。

4-5-1 インフォメーション -機器情報を確認する-

■ システム > インフォメーション

システム

基本設定

ビデオ&イメージ

オーディオ

イベント

システム

- ・ インフォメーション
- セキュリティ
- ・ 日付&時刻
- ネットワーク
- ・ 言語
- ・ メンテナンス
- ・ サポート

インフォメーション

デバイス名設定

デバイス名

ロケーション設定

ロケーション1

ロケーション2

ロケーション3

ロケーション4

保存 リセット

- デバイス名を変更する

本機のデバイス名を変更できます。

「デバイス名」にて入力した値は、SmartManager で名称欄に表示されます。

- ロケーション設定を設定する

本機の設置場所情報などを入力できます。

4-5-2 セキュリティ > ユーザー -アカウント情報を設定する-

■ システム > セキュリティ > ユーザー

The screenshot displays the 'Security User' configuration page. On the left is a sidebar with a 'システム' (System) menu. The main content area is titled 'セキュリティ-ユーザー' (Security User) and includes a 'ユーザー設定' (User Settings) section with a checked option for '匿名のビューワーログインを可能にする' (Enable anonymous viewer login). Below this is a 'ユーザーリスト設定' (User List Settings) section containing a table of users.

ユーザー名	ユーザーグループ	権限
admin	管理者	ライブ, セットアップ, システム, レンズ

Buttons for '追加' (Add), '変更' (Change), and '削除' (Delete) are located below the table. At the bottom of the main content area are '保存' (Save) and 'リセット' (Reset) buttons. A faint illustration of a laptop and a wrench is visible in the bottom right corner of the interface.

ユーザーの新規追加や操作可能権限の設定、パスワードの変更ができます。
本項目の設定内容については、「4-1-1 ユーザー (p.4-3)」をご覧ください。

4-5-3 セキュリティ > IP フィルタリング -アクセス制限をかける-

■ システム > セキュリティ > IP フィルタリング

ON/OFF	ID	方針	開始IP	終了IP
<input type="checkbox"/>	1	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	2	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	3	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	4	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	5	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0

アクセス制限を設けることで、特定のアドレスからのアクセス拒否や許可を設定できます。

1. 「IP フィルタリング有効」のボックスをクリックし、チェックを入れます。

ON/OFF	ID	方針	開始IP	終了IP
<input checked="" type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>	1	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	2	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	3	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	4	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	5	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0

セキュリティ > IP フィルタリング -アクセス制限をかける-(つづき)

2. 「ON/OFF」のボックスをクリックし、チェックを入れます。

The screenshot shows the 'IPフィルタリング設定' (IP Filtering Settings) window. The 'IPフィルタリング有効' (IP Filtering Enabled) checkbox is checked. A red box highlights the 'ON/OFF' column, where the checkbox for rule ID 1 is checked, and checkboxes for rules 2, 3, 4, and 5 are unchecked.

ON/OFF	ID	方針	開始IP	終了IP
<input checked="" type="checkbox"/>	1	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	2	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	3	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	4	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	5	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0

3. 「方針」にて設定するアドレスからのアクセスを許可または拒否を選択します。

The screenshot shows the 'IPフィルタリング設定' (IP Filtering Settings) window. The 'IPフィルタリング有効' (IP Filtering Enabled) checkbox is checked. A red box highlights the '方針' (Policy) column, where the dropdown menu for rule ID 1 is open and '許可' (Allow) is selected. The other rules (2, 3, 4, 5) also have '許可' selected.

ON/OFF	ID	方針	開始IP	終了IP
<input checked="" type="checkbox"/>	1	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	2	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	3	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	4	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	5	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0

- 許可 … 指定したアドレス範囲からのアクセスが可能になります。
- 拒否 … 指定したアドレス範囲からのアクセスができなくなります。

4. 「開始 IP」および「終了 IP」にて制限を設けるアドレス範囲を設定します。

The screenshot shows the 'IPフィルタリング設定' (IP Filtering Settings) window. The 'IPフィルタリング有効' (IP Filtering Enabled) checkbox is checked. A red box highlights the '開始IP' (Start IP) and '終了IP' (End IP) columns. For rule ID 1, the '方針' is '拒否' (Deny), and the IP range is set from 192 . 168 . 0 . 100 to 192 . 168 . 0 . 150. Other rules (2, 3, 4, 5) have '許可' (Allow) and the default IP range 0 . 0 . 0 . 0.

ON/OFF	ID	方針	開始IP	終了IP
<input checked="" type="checkbox"/>	1	拒否	192 . 168 . 0 . 100	192 . 168 . 0 . 150
<input type="checkbox"/>	2	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	3	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	4	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0
<input type="checkbox"/>	5	許可	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0

アドレスの範囲は、1 刻みとなります。

<< 注意 >>

「許可」と「拒否」の設定範囲が重複しているアドレスは、「許可」が優先されますのでご注意ください。
また、どちらにも含まれていないアドレスもアクセスは許可されます。

セキュリティ > IP フィルタリング -アクセス制限をかける-(つづき)

5. 設定後、「保存」をクリックして完了です。



4-5-4 セキュリティ > OpenVPN

■ システム > セキュリティ > OpenVPN

システム

基本設定

ビデオ&イメージ

オーディオ

イベント

システム

- インフォメーション
- セキュリティ
 - ユーザー
 - IPフィルタリング
 - OpenVPN
- 日付&時刻
- ネットワーク
- 言語
- メンテナンス
- サポート

セキュリティ-OpenVPN

OpenVPN設定

OpenVPN有効

サーバーモード

クライアントモード

OpenVPN IPアドレス: 0.0.0.0

クライアントモード設定

サーバーURL

プロトコルタイプ

ポート

再接続時間 [秒], 0 = 無制限

LZO圧縮を使用

CA証明書をインポート & クリック

ユーザー認証

ID

パスワード

機器認証

クライアント証明書をインポート & クリック

クライアントキーをインポート & クリック

本機能はご利用できません。
設定内容を変更しないでください。

4-5-5 セキュリティ > 日付&時刻

■ システム > 日付&時刻

システム

- 基本設定
- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- イベント
- システム**
 - インフォメーション
 - セキュリティ
 - 日付&時刻**
 - ネットワーク
 - 言語
 - メンテナンス
 - サポート

日付&時刻

カメラの現在時刻

日付: 2019-09-23 時間: 17:19:08

日付&時刻設定

・タイムゾーン

(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

サマータイムを有効にする

・タイムモード

パソコンの時刻と同期する

日付: 2019-09-23 時間: 17:19:15

NTPサーバーの時刻と同期する

NTPサーバー: time.nist.gov NTP間隔: 12 [時間]

手動設定

日付: 2019-09-23 時間: 17:19:04

日付&時刻フォーマット

日付フォーマット: YYYY-MM-DD

時刻フォーマット: 24時間

保存 リセット

本機のシステム時刻を設定できます。

本項目の設定内容については、「4-1-5 日付&時刻(p.4-15)」をご覧ください。

4-5-6 ネットワーク > 基本 -ネットワークに接続する-

■ システム > ネットワーク

システム

基本設定

ビデオ&イメージ

オーディオ

イベント

システム

- インフォメーション
- セキュリティ
- 日付&時刻
- ネットワーク
 - 基本
 - DDNS
 - RTP
 - UPnP
 - QoS
 - NAT
 - Zeroconf
 - Bonjour
- 言語
- メンテナンス
- サポート

ネットワーク-基本

IPアドレス設定

DHCP経由のIPアドレス
 次のIPアドレスを使用する:

-IPアドレス: 192 . 168 . 0 . 200
-サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
-デフォルトゲートウェイ: 192 . 168 . 0 . 1

IPv6アドレス設定

IPv6有効
IPv6アドレス: fe80::207:d8ff:fe1a:84f0/64

DNS設定

DHCP経由のIPアドレス
 次のDNSサーバーアドレスを使用する:

ドメイン名:
-プライマリDNSサーバー: 8 . 8 . 8 . 8
-セカンダリDNSサーバー: 8 . 8 . 4 . 4

ホスト名設定

ホスト名: KB-N620A0007D81A84F0

サービス

HTTPポート: 80
HTTPSポート: 443
RTSPポート: 554

リンクスピードコントロール

LANインターフェイス: オート
リンクスピード: 100M bit/sec

保存 リセット

本機のネットワーク通信に関する設定を行います。

ネットワーク > 基本 -ネットワークに接続する-(つづき)

- IPv4 アドレスを設定する

本機の IP アドレスを設定します。

IPアドレス設定	
<input checked="" type="radio"/> DHCP経由のIPアドレス	
<input type="radio"/> 次のIPアドレスを使用する:	
-IPアドレス	192 . 168 . 0 . 200
-サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
-デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 0 . 1

➤ DHCP 経由の IP アドレス

DHCP サーバー経由で IP アドレスを取得する場合に選択します。

<< 注意 >>

DHCP サーバー経由で IP アドレスを取得できない場合、静的 IP アドレスの設定になります。
DHCP サーバー経由で IP アドレス取得後に DHCP サーバーと通信不能になった場合、カメラが再起動するまで、DHCP サーバーから取得した IP アドレスのままとなります。

➤ 次の IP アドレスを使用する

本機の IP アドレスを手動で固定する場合に選択します。

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイをそれぞれ入力してください。

<< 注意 >>

静的 IP アドレスを設定する際は、**同一ネットワークにある他ネットワーク機器の IP アドレスと重複しないように十分にご注意ください。**

- IPv6 アドレスを設定する

IPv6 アドレスを表示します。

本機能はご利用できません。

設定内容を変更しないでください。

IPv6アドレス設定	
<input type="checkbox"/> IPv6 有効	
IPv6 アドレス: fe80::207:d8ff:fe1a:84f0/64	

ネットワーク > 基本 -ネットワークに接続する-(つづき)

- DNS を設定する

DNS ホストネームを設定します。

DNS設定

DHCP経由のIPアドレス
 次のDNSサーバーアドレスを使用する:

-ドメイン名

-プライマリDNSサーバー

-セカンダリDNSサーバー

➤ DHCP 経由の IP アドレス

DHCP サーバーを提供する DNS サーバー設定を自動的に使用します。

➤ 次の DNS サーバーアドレスを使用する

手動で DNS サーバーの設定を行います。

項目	内容
ドメイン名	本機能はご利用できません。
プライマリ DNS サーバー	優先 DNS サーバーアドレスを入力します。
セカンダリ DNS サーバー	予備 DNS サーバーアドレスを入力します。

- ホスト名を設定する

ホスト名設定

ホスト名

SmartManager の検索条件を Onvif デバイスにした場合に表示される名前を設定します

スマートマネージャー

ファイル 表示 設定 ヘルプ

Onvifデバイス

IPフィルター: ~ 適用

モデル名	名称	MACアドレス	IPアドレス
KB-N620A	KB-N620A0007D81A84F0	00:07:D8:1A:84:F0	192.168.0.200

ネットワーク > 基本 -ネットワークに接続する-(つづき)

- ポート番号を設定する

本機のポート番号を設定します。

サービス	
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>

項目	内容
HTTP ポート	HTTP 通信ポート番号を設定します。 ※変更後、自動的にページを再読み込みし、ログイン画面を表示します。ユーザー名とパスワードを入力してください。
HTTPS ポート	本機能はご利用できません。
RTSP ポート	RTSP 通信ポート番号を設定します。

<< 注意 >>

HTTP ポートと RTSP ポートは、21、514、3702、5351、20000、49152、48879 を使用しないでください。

HTTP ポートは、HTTPS ポート、RTSP ポートと重複しないように設定してください。

RTSP ポートは、HTTP ポート、HTTPS ポートと重複しないように設定してください。

- リンクスピードコントロール

リンクスピードコントロール	
LANインターフェイス	<input type="text" value="オート"/>
リンクスピード	<input type="text" value="100M"/> bit/sec

項目	内容
LAN インターフェイス	本項目は設定を変更しないでください。
リンクスピード	本項目は設定を変更しないでください。

4-5-7 ネットワーク > DDNS -DDNS サーバーを設定する-

■ システム > ネットワーク > DDNS

DDNS (Dynamic Domain Name Service) 機能に関する設定を行います。

<< DDNS 機能の使用上の注意 >>

本機能をご利用になる前に「DDNS 機能に関する注意事項 (p.13)」をご覧ください

• インターネット DDNS

DDNS サーバーの情報を設定します。

項目	内容
DDNS 有効	DDNS サーバー機能を使用する場合は、ボックスをクリックしてチェックを入れてください。
DDNS サーバー	DDNS サーバーアドレスを選択します。 ※「dyndns.org」で使用する DDNS サーバーは有償です。
ホスト名	登録したホスト名を設定します。 例: 使用するフルホスト名が HostName.cctv-network.co.kr の場合、HostName を入力してください。 ※選択するサーバーとドメイン名は一致する必要があります。
ユーザー名	アカウントのユーザー名を入力します。
パスワード	アカウントのパスワードを入力します。
パスワード確認	確認用にパスワードと同じ値を入力します。
最長更新間隔	IP アドレスの変更がない場合の更新間隔を選択します。

4-5-8 ネットワーク > RTP

■ システム > ネットワーク > RTP

システム

基本設定

ビデオ & イメージ

オーディオ

イベント

システム

- インフォメーション
- セキュリティ
- 日付 & 時刻
- ネットワーク**
 - 基本
 - DDNS
 - RTP**
 - UPnP
 - QoS
 - NAT
 - Zeroconf
 - Bonjour
- 言語
- メンテナンス
- サポート

ネットワーク-RTP

ポート範囲

開始ポート: 30000 [30000... 39760; 偶数のみ設定可能です。]
終了ポート: 30199

マルチキャスト-ストリーム 1

- マルチキャスト宛先IP: 231 . 1 . 128 . 20 [224.0.0.0... 239.255.255.255]
- RTPポート: 40000 [1024... 65530]
- RTP TTL: 1 [1... 255]
- 常時マルチキャスト

マルチキャスト-ストリーム 2

- マルチキャスト宛先IP: 231 . 1 . 128 . 21 [224.0.0.0... 239.255.255.255]
- RTPポート: 40000 [1024... 65530]
- RTP TTL: 1 [1... 255]
- 常時マルチキャスト

マルチキャスト-ストリーム 3

- マルチキャスト宛先IP: 231 . 1 . 128 . 22 [224.0.0.0... 239.255.255.255]
- RTPポート: 40000 [1024... 65530]
- RTP TTL: 1 [1... 255]
- 常時マルチキャスト

マルチキャスト-ストリーム 4

- マルチキャスト宛先IP: 231 . 1 . 128 . 23 [224.0.0.0... 239.255.255.255]
- RTPポート: 40000 [1024... 65530]
- RTP TTL: 1 [1... 255]
- 常時マルチキャスト

マルチキャスト(オーディオ)

- マルチキャスト宛先IP: 231 . 1 . 128 . 20 [224.0.0.0... 239.255.255.255]
- RTPポート: 40002 [1024... 65530]
- RTP TTL: 1 [1... 255]
- 常時マルチキャスト

マルチキャスト(メタ)

- マルチキャスト宛先IP: 231 . 1 . 128 . 20 [224.0.0.0... 239.255.255.255]
- RTPポート: 40004 [1024... 65530]
- RTP TTL: 1 [1... 255]
- 常時マルチキャスト

保存 リセット

リアルタイムでのオーディオおよび映像の送受信を行うための設定画面です。

本項目の設定は、変更しないでください。

4-5-9 ネットワーク > UPnP

■ システム > ネットワーク > UPnP

The screenshot shows a web-based configuration interface for a system. On the left is a sidebar menu titled 'システム' (System) with various categories like '基本設定' (Basic Settings), 'ビデオ&イメージ' (Video & Image), 'オーディオ' (Audio), 'イベント' (Events), 'システム' (System), 'ネットワーク' (Network), '言語' (Language), 'メンテナンス' (Maintenance), and 'サポート' (Support). The 'ネットワーク' (Network) category is expanded, showing sub-items: '基本' (Basic), 'DDNS', 'RTP', 'UPnP', 'QoS', 'NAT', 'Zeroconf', and 'Bonjour'. The 'UPnP' sub-item is selected and highlighted in blue. The main content area is titled 'ネットワーク-UPnP' (Network-UPnP) and contains a sub-section 'UPnP 設定' (UPnP Settings). Under this sub-section, there is a checked checkbox for 'UPnP 有効' (UPnP Enabled) and a text input field for 'フレンドリネーム' (Friendly Name) containing the value 'KB-N620A-0007D81A84F0'. At the bottom of the settings area are two buttons: '保存' (Save) and 'リセット' (Reset). In the bottom right corner of the main content area, there is a faint watermark image of a laptop and a wrench.

本項目の設定は、変更しないでください。

4-5-10 ネットワーク > QoS

■ システム > ネットワーク > QoS

システム

基本設定

ビデオ&イメージ

オーディオ

イベント

システム

- インフォメーション
- セキュリティ
- 日付&時刻
- ネットワーク
 - 基本
 - DDNS
 - RTP
 - UPnP
 - QoS
 - NAT
 - Zeroconf
 - Bonjour
- 言語
- メンテナンス
- サポート

ネットワーク-QoS

DSCP設定

ライブストリームDSCP	<input type="text" value="0"/>	[0... 63]
イベント/アラームDSCP	<input type="text" value="0"/>	[0... 63]
マネージメントDSCP	<input type="text" value="0"/>	[0... 63]

自動トラフィックコントロール

自動トラフィックコントロールを有効にする

- 最大帯域幅 Mbps
- プライオリティ

保存 リセット



本機能はご利用できません。
設定内容を変更しないでください。

4-5-11 ネットワーク > NAT

■ システム > ネットワーク > NAT

システム

- 基本設定
- ビデオ & イメージ
- オーディオ
- イベント
- システム**
 - インフォメーション
 - セキュリティ
 - 日付 & 時刻
 - ネットワーク**
 - 基本
 - DDNS
 - RTP
 - UPnP
 - QoS
 - NAT**
 - Zeroconf
 - Bonjour
 - 言語
 - メンテナンス
 - サポート

ネットワーク-NAT (Port Mapping)

通信NATトラバース設定

通信NATトラバースセットアップ: 有効

外部HTTPポート: [1024... 65535]
外部RTSPポート: [1024... 65535]

*** Note**
ポートが0の場合、自動的にネットワークカメラにポートが割り当てられます。

HTTP URL:
RTSP URL:



本項目の設定は、変更しないでください。

4-5-12 ネットワーク > Zeroconf

■ システム > ネットワーク > Zeroconf

システム

- 基本設定
- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- イベント
- システム**
 - インフォメーション
 - セキュリティ
 - 日付&時刻
 - ネットワーク**
 - 基本
 - DDNS
 - RTP
 - UPnP
 - QoS
 - NAT
 - Zeroconf**
 - Bonjour
 - 言語
 - メンテナンス
 - サポート

ネットワーク-Zeroconf

Zeroconf設定

Zeroconfを有効にする

IPアドレス : 169.254.80.117

保存 リセット



本項目の設定は、変更しないでください。

4-5-13 ネットワーク > Bonjour

■ システム > ネットワーク > Bonjour

システム

基本設定

ビデオ&イメージ

オーディオ

イベント

システム

- ・ インフォメーション
- セキュリティ
- ・ 日付&時刻
- ネットワーク
 - ・ 基本
 - ・ DDNS
 - ・ RTP
 - ・ UPnP
 - ・ QoS
 - ・ NAT
 - ・ Zeroconf
 - ・ Bonjour
- ・ 言語
- ・ メンテナンス
- ・ サポート

ネットワーク-Bonjour

Bonjour設定

Bonjourを有効にする

-フレンドリネーム

保存 リセット



本項目の設定は、変更しないでください。

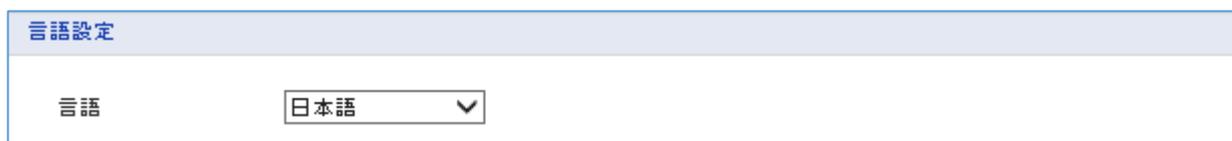
4-5-14 言語 -表示言語を設定する-

■ システム > 言語



Web ページ上にて表示する言語を設定できます。

1. 表示言語を選択します。



※日本語をご使用ください。

2. 言語を選択後、「保存」をクリックして完了です。

4-5-15 メンテナンス

■ システム > メンテナンス

システム
メンテナンス

- 基本設定
- ビデオ&イメージ
- オーディオ
- イベント
- システム
- インフォメーション
- セキュリティ
- 日付&時刻
- ネットワーク
- 言語
- メンテナンス
- サポート

再起動 再起動します。

リセット ネットワークの基本設定とフォーカスを除く設定値を工場出荷時の設定に戻します。

デフォルト 全ての設定値を工場出荷時の設定に戻します。

アップグレード

新しいファームウェアでカメラをアップグレードします。
アップグレードするファームウェアのファイルを指定してください。

参照... & クリック **アップグレード**

*** Note**
アップグレード実行中は、電源を落とさないでください。アップグレード終了後に自動的に再起動します。

設定のバックアップ

現在の設定をバックアップファイルに保存します。 **バックアップ**

設定の復元

バックアップファイルにより設定を復元します。
復元するバックアップファイルを指定してください。

参照... & クリック **復元**

IVライセンス

IVライセンスをアップロードする
- ライセンスキーファイルを指定する

参照... & クリック **Upload**

*** Note**
アップロード実行中は、電源を落とさないでください。アップロード終了後に自動的に再起動します。

レンズ

レンズ校正 フォーカスとズームを校正する。

- 本機の再起動 / 設定の初期化を行う

本機の再起動または、設定を全て初期化します。

メンテナンス

再起動
再起動します。

リセット
ネットワークの基本設定とフォーカスを除く設定値を工場出荷時の設定に戻します。

デフォルト
全ての設定値を工場出荷時の設定に戻します。

項目	内容
再起動	本機を再起動します。

メンテナンス(つづき)

項目	内容
リセット	本機を再起動し、各種設定内容を工場出荷時にリセットします。 ただし、下記項目は初期化されません。 <ul style="list-style-type: none">・ 「4-5-6 ネットワーク > 基本」の設定項目・ レンズの画角、フォーカス位置
デフォルト	IP アドレスを含む全ての設定を初期化します。

- FWを更新する

本機のファームウェアバージョンをアップグレードします。

アップグレード

新しいファームウェアでカメラをアップグレードします。
アップグレードするファームウェアのファイルを指定してください。

参照... & クリック

*** Note**
アップグレード実行中は、電源を落とさないでください。アップグレード終了後に自動的に再起動します。

1. 「参照」をクリックし、アップデートファイルの保存先を指定します。
※USB メモリにアップデートファイルを保存している場合、アップデートファイルはトップディレクトリに保存してください。
2. 参照先を指定後、「更新」をクリックします。
※自動的にアップデートを開始します。

<< 注意 >>

アップデート中は、絶対に本機の電源を落とさないでください。

アップデート後、本機は自動的に再起動を行います。

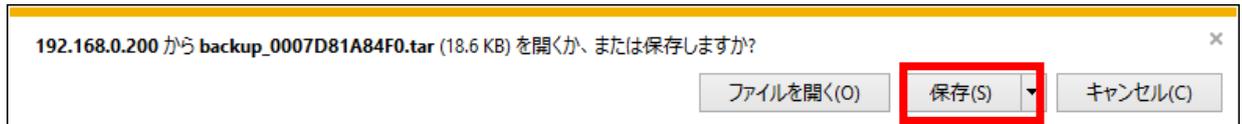
メンテナンス(つづき)

- 各種設定を外部に出力する

各種設定内容をお使いの PC にバックアップできます。



1. 「バックアップ」をクリックします。
2. ポップアップウィンドウが表示されたら「保存」をクリックして完了です。



- 各種設定をインポートする

「バックアップ」にて抽出した各種設定内容をインポートし、設定内容を復元できます。

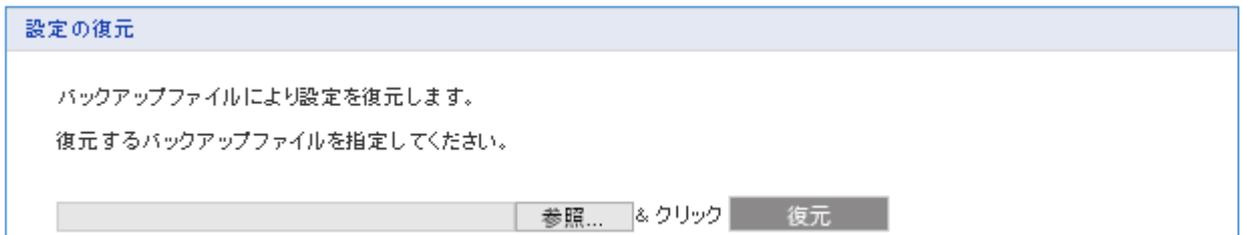
<< 注意 >>

復元を行うには、「バックアップ」にて抽出した設定データファイルが必要です。

復元は、バックアップ元と同じファームウェア、同じ機種同士でのみ使用できます。

下記設定は、復元されませんので、必要に応じて、再設定してください。

- ・「3-5 レンズ調整をする」のズーム、フォーカス位置
- ・「4-5-6 ネットワーク > 基本-ネットワークに接続する」のポート設定以外
- ・「4-5-9 ネットワーク > UPnP」[4-5-12 ネットワーク > Bonjour]のフレンドリーネーム



1. 「参照」をクリックし、インポートする設定ファイルを指定します。
2. ファイル指定後、「復元」をクリックします。
復元には、30 秒ほどかかります。

- IV ライセンス

本機能はご利用できません。

- レンズ (KB-N420A、KB-N520A、KB-N620A)

「レンズ校正」をクリックすると原点復帰動作をします。

自動調整でフォーカスが合わない場合に実行すると、フォーカスが合うようになる場合があります。

4-5-16 サポート

■ システム > サポート



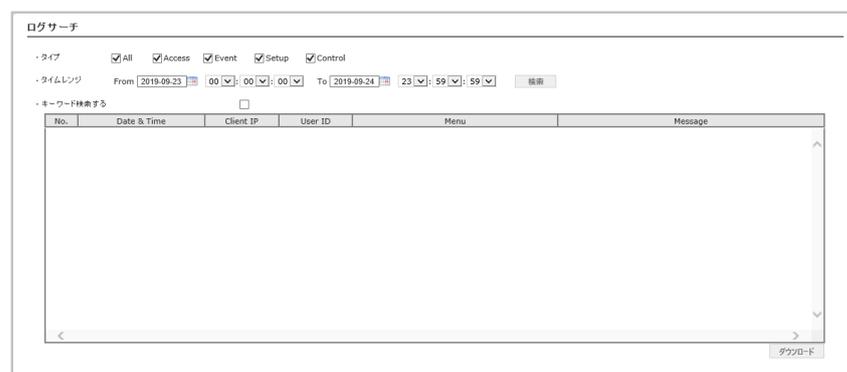
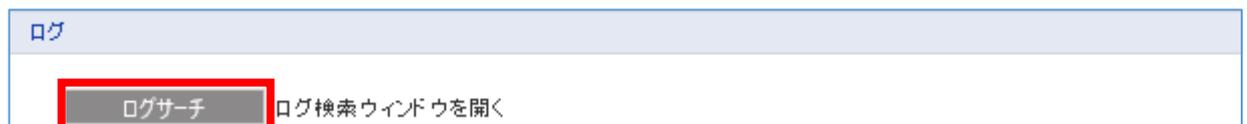
本機の動作ログの確認やトラブルシューティング、CPU 使用率などを確認できます。

- ログ情報を検索・ダウンロードする

各種動作ログを検索し、検索結果を外部出力できます。

1. 「ログサーチ」をクリックします。

※ログサーチ画面が表示されます。



サポート(つづき)

2. 「タイプ」にて検索を行うログの種類を選択します。

・タイプ All Access Event Setup Control

- All … 全ての動作ログを検索します。
- Access … 本機へのアクセスログを検索します。
- Event … イベント発生ログを検索します。
- Setup … 設定変更ログを検索します。
- Control … レンズコントロールなどの制御ログを検索します。

3. タイムレンジにて検索を行う期間を設定します。

・タイムレンジ From 2019-09-23 00:00:00 To 2019-09-24 23:59:59 検索

カレンダーアイコンから日付を選択してください。

また、プルダウンボタンから時刻を設定してください。

4. 「検索」をクリックします。

※検索結果に一覧で表示されます。

・タイムレンジ From 2019-09-23 00:00:00 To 2019-09-24 23:59:59 検索



No.	Date & Time	Client IP	User ID	Menu	Message
1	2019 Sep 23 16:04:09	192.168.0.128	admin	[setup>>event>>eventIn>>motion]	eventin.motion.mot[0].region_count=(0->1)&eventin.motion.mot[0].include_count=(0->1)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].on=(0->1)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].name={"->New"&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].type=(0->1)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].sensitivity=(0->55)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].threshold=(0->2)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].dwell=(0->3)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].on=(0->1)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].left=(0->5)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].right=(0->9)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].bottom=(0->13)&eventin.motion.mot[0].inc_region[0].top=(0->8)
2	2019 Sep 23 16:04:15	192.168.0.128	admin	[setup>>event>>eventIn>>motion]	eventin.motion.mot[0].region_count=(1->2)&eventin.motion.mot[0].exclude_count=(0->1)&eventin.motion.mot[0].exc_region[0].on=(0->1)&eventin.motion.mot[0].exc_region[0].name={"->New(1)"&eventin.motion.mot[0].exc_region[0].type=(0->2)&eventin.motion.mot[0].exc_region[0].on=(0->1)&eventin.motion.mot[0].exc_region[0].left=(0->16)&eventin.motion.mot[0].exc_region[0].right=(0->21)&eventin.motion.mot[0].exc_region[0].bottom=(0->14)&eventin.motion.mot[0].exc_region[0].top=(0->7)
3	2019 Sep 23 16:06:08	192.168.0.128	admin	[setup>>vide&image>>privacyMask]	pmask.mask_count=(0->1)&pmask.region[0].enable=(0->1)&pmask.region[0].name={"->New"&pmask.region[0].left=(0->7)&pmask.region[0].right=(0->1920)&pmask.region[0].top=(0->11)&pmask.region[0].bottom=(0->1080)
4	2019 Sep 23 16:06:11	192.168.0.128	admin	[setup>>vide&image>>privacyMask]	pmask.region[0].top=(11->0)

5. 「キーワード検索する」から検索結果のしぼりこみができます。

ボックスにチェックを入れて、キーワードを入力後「リクエスト」をクリックしてください。

・キーワード検索する admin リクエスト

サポート(つづき)

6. 「ダウンロード」をクリックすると、テキストデータとしてダウンロードを開始します。
※ログの検索結果がない場合は、ダウンロードはできません。

ダウンロード

- 機器レポートを確認する

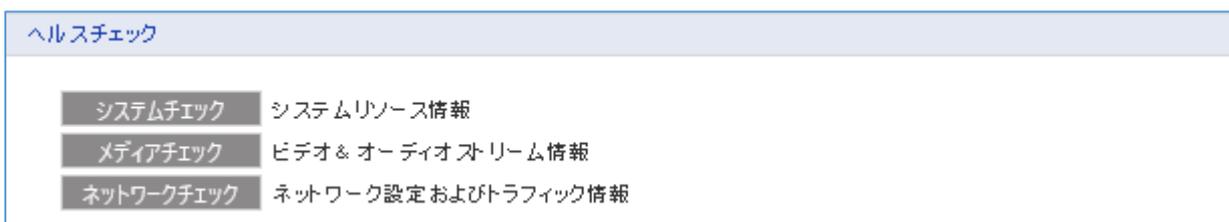
本機のサーバステータスとユニットパラメータを確認できます。



- サーバーレポート … 本機のサーバステータスを表示します。
- パラメーターリスト … 各種設定値を一覧で表示します。

- 機器の状態を確認する

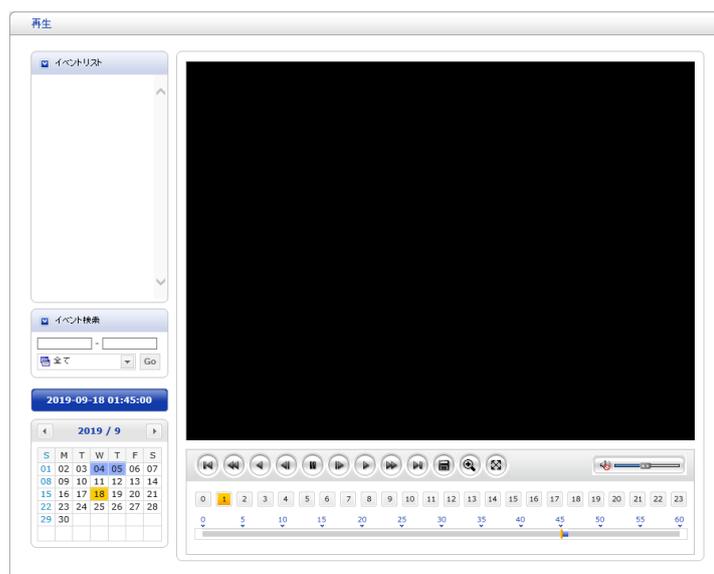
CPU 使用率やネットワーク通信状況を確認できます。



- システムチェック … 本機の稼働時間や CPU 使用率を表示します。
- メディアチェック … 各ストリームの設定値を表示します。
※メディアチェック画面を開いている間、本機のパフォーマンスが一時的に低下する場合があります。
- ネットワークチェック … 本機のネットワークステータスと通信状態を表示します。

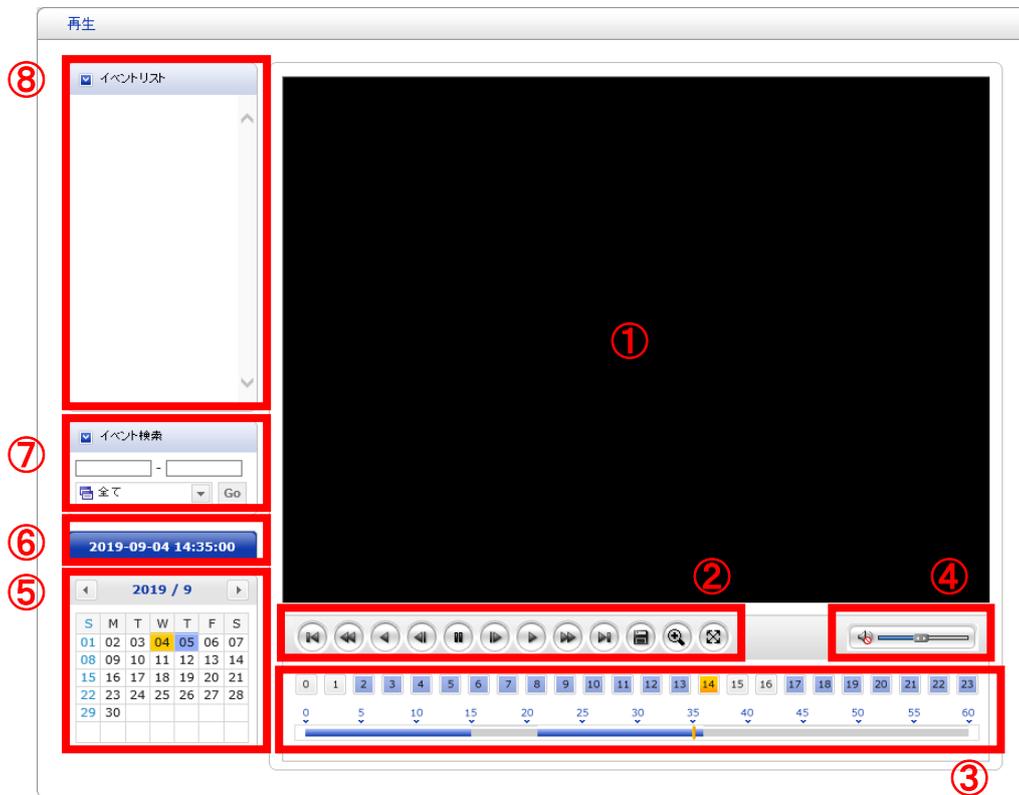
5章 検索・再生・バックアップ

本機にアクセス後、「Playback」をクリックすると、検索・再生画面に切り替わります。
イベント毎に録画映像の検索や、必要なデータをバックアップすることができます。



ライブ画面または、設定画面を表示中でも、画面上部の「Playback」をクリックすると検索・再生画面に切替えることができます。

Web ブラウザーを起動してから初めてアクセスした場合は、ログイン画面が表示されます。
管理者またはオペレーター権限のユーザー名とパスワードを入力して検索・再生画面にアクセスしてください。



番号	内容
①	ビデオスクリーン SD カードに録画された映像を表示します。
②	各種操作ボタン 録画映像再生時に一時停止や早送りを行います。  : 映像の先頭に移動します。  : 早戻しします。  : 逆再生します。  : 1フレーム分逆方向に移動します。  : 一時停止します。  : 1フレーム分移動します。

検索・再生画面上の各種アイコンの見方(つづき)

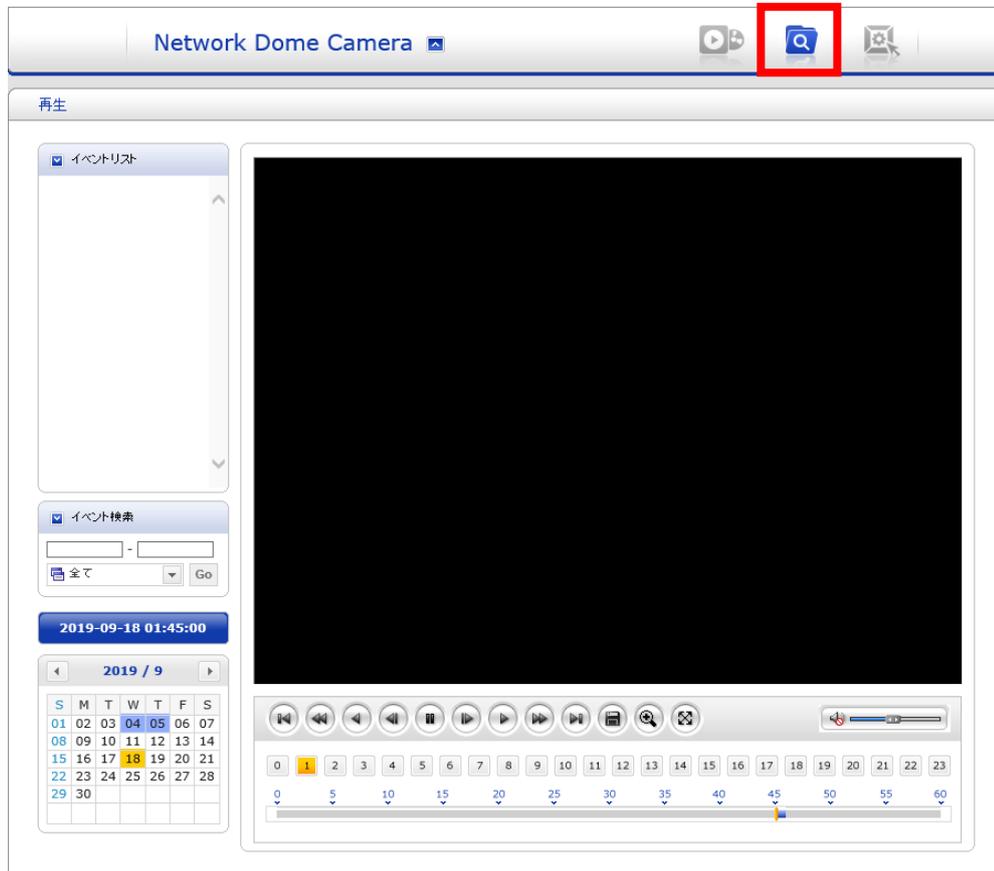
番号	内容
②	 : 再生します。  : 早送りします。  : 映像の末尾へ移動します。  : 録画映像のバックアップを行います。 詳しくは、「5-4 バックアップする(p.5-8)」をご覧ください。  : 再生中の映像をデジタルズーム表示します。  : 再生映像をフルスクリーンで表示します。 フルスクリーン表示中は、「Esc キー」を押すと元に戻ります。
③	タイムチャート 選択した日付の検索画面を表示します。この表示は 24 時間表示となります。 録画データがある場合は、青色のセクションで表示されます。 選択位置は、黄色のセクションで表示されます。
④	音量調整 スライダーで録画映像の音量を調整します。 スピーカーアイコンをクリックすると、ミュート/解除を切替えます。
⑤	検索カレンダー MicroSD カード内の検索結果を表示します。 録画データがある日付は色付きで表示されます。
⑥	再生時刻表示 録画映像再生時の時刻を表示します。
⑦	イベント検索 イベント発生時に録画した映像を検索します。
⑧	イベントリスト イベント検索するとイベントリストに、録画イベントが表示されます。

5-2 タイムサーチする

カレンダーとタイムバーを使用して録画映像を検索・再生します。

下記手順では、MicroSD カードに録画した映像データの再生にあたり最も簡単な手順を記載しています。

1. 「PlayBack」アイコンをクリックして、検索画面に移動します。



2. 画面左下のカレンダーから、見たい映像の日付を選択します。

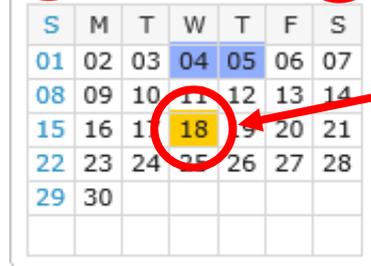
※録画映像がある日付は背景が青色で表示されます。

※録画映像を再生中の場合、一時停止してから、日付を選択してください。

前月へ移動します。



次月へ移動します。



選択中の日付は黄色で表示されます。

タイムサーチする(つづき)

3. 日付を選択後、画面下のタイムバーより録画映像の開始時刻を選択します。
複数の録画データのある時間帯の録画データを再生する場合、Web ページをリロード後、タイムバー下の選択肢から選択します。選択は数字が小さい録画データが古い時間のデータです。

0 時～24 時までを 1 時間刻みで表示します。
録画データがある時間帯は青色で表示されます。
選択中の時間帯は黄色で表示されます。

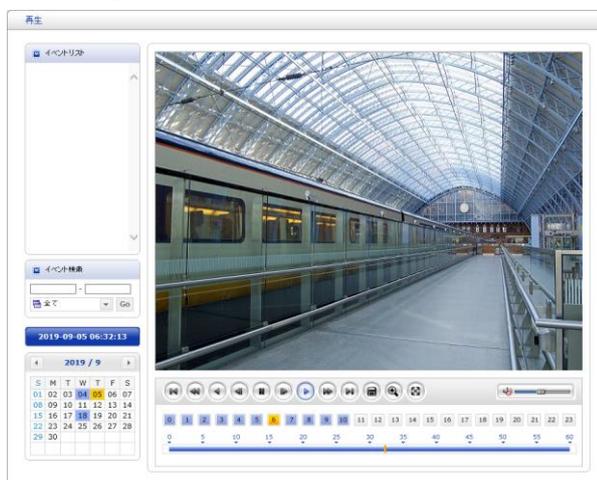


0 分～59 分までを 1 分間刻みで表示します。
録画データがある時間帯は青色で表示されます。
複数の録画データがある時間帯は赤色で表示されます。

タイムバーにて選択した開始時刻は、カレンダーの上の時刻欄に表示されます。



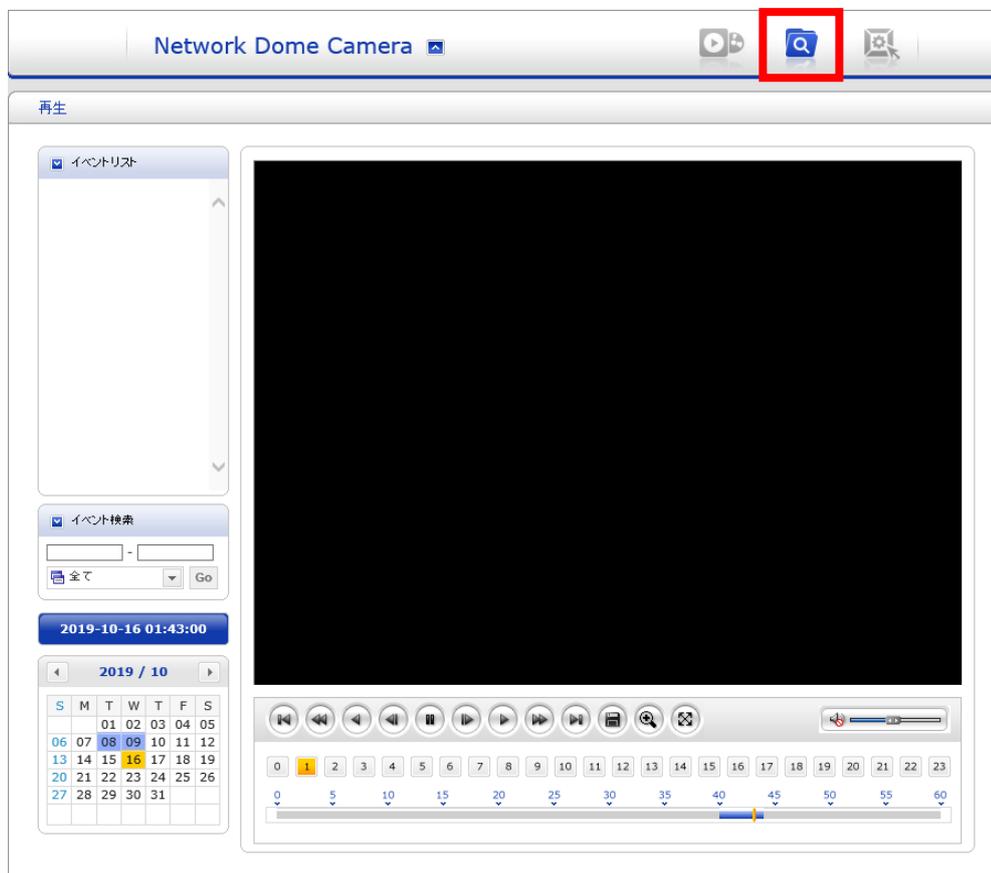
4. 再生開始時刻を設定後、 (再生アイコン)をクリックします。
クリック後、自動的に録画映像の再生が始まります。



5-3 イベントサーチする

MicroSD カード内の録画データ内で発生したイベント毎に条件を絞って録画映像を検索・再生できます。

1. 「PlayBack」アイコンをクリックして、検索画面に移動します。

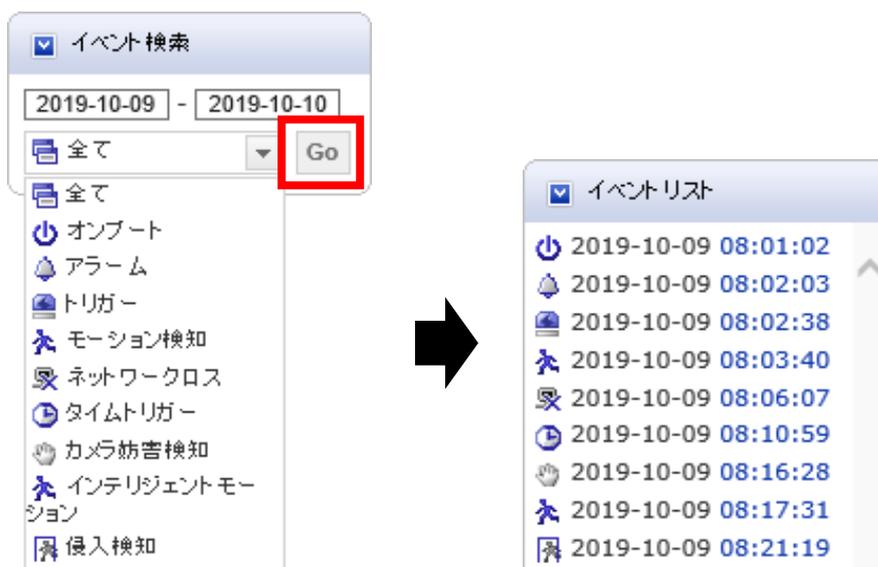


2. 「イベント検索」欄をクリックして、検索を行う開始日と終了日を設定します。

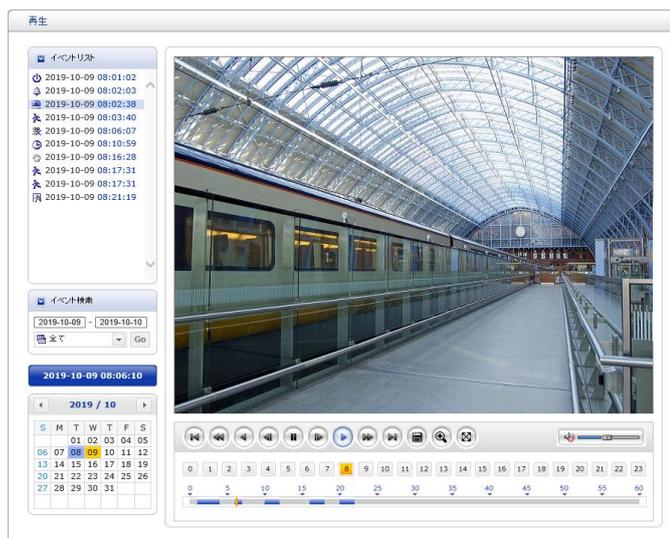


イベントサーチする(つづき)

1. 「イベント検索」欄のプルダウンをクリックして、検索を行うイベント内容を選択します。
「全て」を選択すると、検索期間内で発生した全てのイベント発生履歴を検索します。
2. 「Go」をクリックすると「イベントリスト」に検索結果が表示されます。



3. リスト内から再生したい行をクリックし、 (再生アイコン)をクリックします。
クリック後、自動的にイベント発生時の録画映像の再生が始まります。



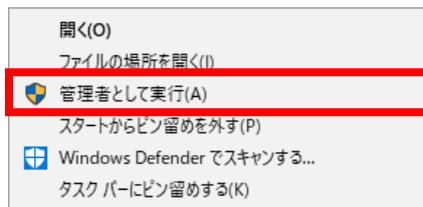
5-4 バックアップする

MicroSD カード内に保存されている録画データをお使いの PC にバックアップできます。
バックアップを行う際はあらかじめ取り出したい映像の期間を決めてから行うとスムーズに行えます。

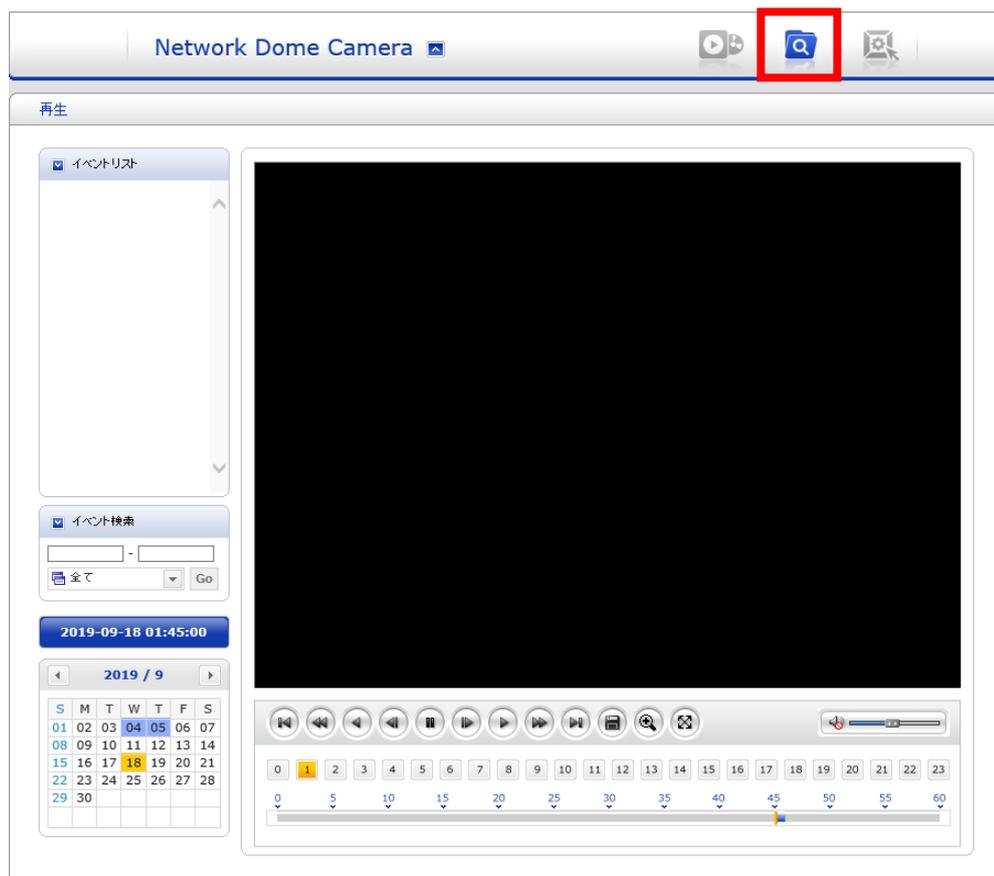
バックアップは、録画映像の再生中でも操作可能です。(再生中の映像は一時停止します。)

<< 注意 >>

バックアップを行う場合は、Internet Explorerを管理者として実行する必要があります。



1. 「PlayBack」アイコンをクリックして、検索画面に移動します。



2.  (バックアップアイコン)をクリックします。

※設定画面が表示されます。

バックアップする(つづき)

- 「Start Date/Time」にてバックアップ開始日時を設定します。
※ここで設定した年月日時分がバックアップしたデータの名前となります。
- 「End Date/Time」にてバックアップ終了日時を設定します。

Export [mp4 file]

Start Date/Time : 2019/09/04 20:00:00

End Date/Time : 2019/09/04 21:00:00

Overlap ID : 1 Refresh

Export Path
C:\Users\User\CameraBackup

FPS : 1 Estimate Size : 0

To .mp4 Export Cancel

- 「Export Path」にてバックアップデータの保存先を指定します。
保存先を指定後、「OK」をクリックしてください。

Export [mp4 file]

Start Date/Time : 2019/09/04 20:00:00

End Date/Time : 2019/09/04 21:00:00

Overlap ID : 1 Refresh

Export Path
C:\Users\User\CameraBackup

FPS : 1 Estimate Size : 0

To .mp4 Export Cancel

フォルダーの参照

Select a directory

デスクトップ

OneDrive

User

3D オブジェクト

CameraBackup

OneDrive

アドレス帳

お気に入り

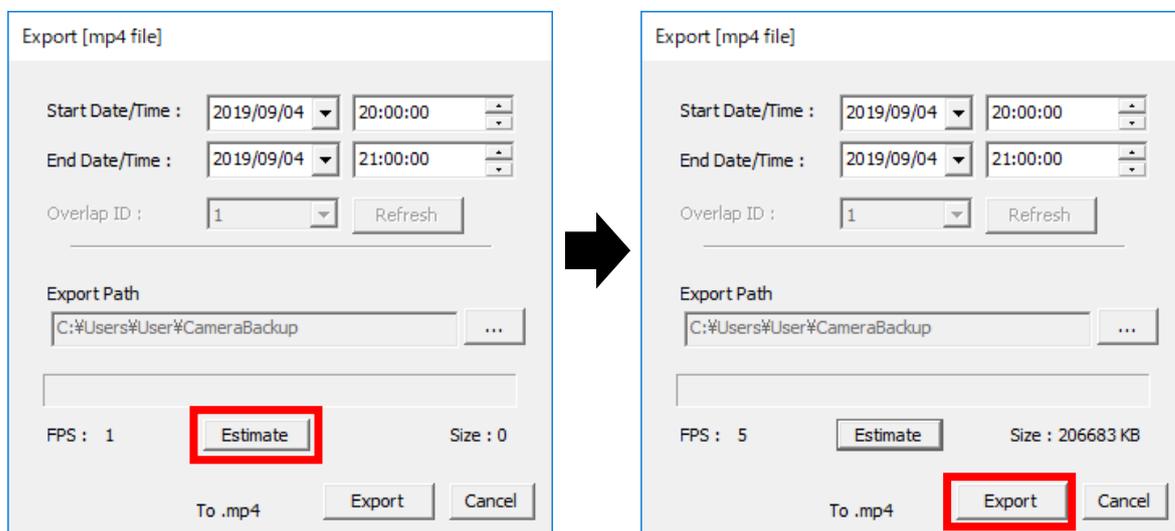
ダウンロード

デスクトップ

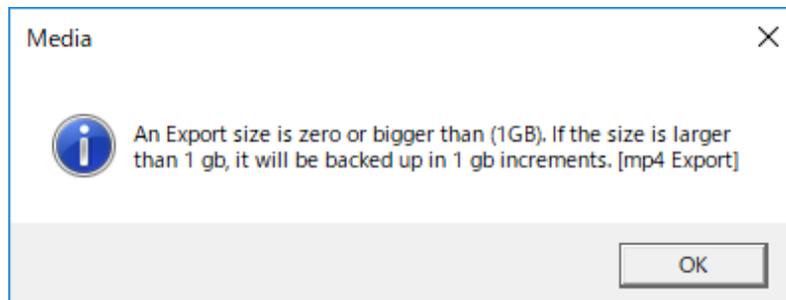
新しいフォルダーの作成(N) OK キャンセル

バックアップする(つづき)

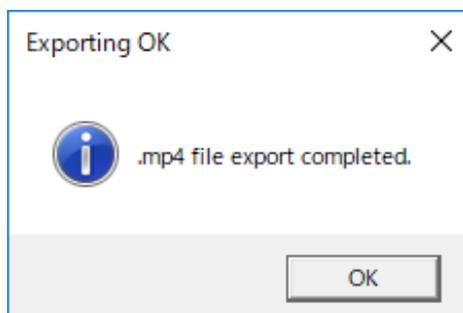
- 「Estimate」をクリックして、バックアップするファイルのサイズを算出します。
- 続けて「Export」をクリックします。
※自動的にバックアップが始まります。



「Estimate」または「Export」をクリックした際に下記メッセージが表示されたら、「OK」をクリックし、開始日時と終了日時を変更して、バックアップするファイルのサイズを再調整してください。



- 下記メッセージが表示されたら「OK」をクリックします。



指定した保存先にバックアップデータがあることを確認して完了です。

バックアップデータは MP4 形式となります。

Windows Media Player または VLC Media Player、GOM Player などの汎用プレイヤーで再生が可能です。

※ご使用のプレイヤーで再生できない場合、別の汎用プレイヤーをお試しください。

6章 工場出荷時の設定一覧

本製品の工場出荷時の設定は以下のようになっています。

階層	設定項目	初期設定値
ライブビュー		
＞ レンズコントロール	ズーム KB-N420A, KB-N620A KB-N520A	535 (Tele 端) 0 (Wide 端)
	フォーカス	初期値なし (初期化後自動調整動作)
基本設定		
＞ ユーザー	ユーザー設定 - 匿名のビューワー～	チェックあり
	ユーザーリスト設定	admin 権限のみ登録
＞ ネットワーク	IP アドレス設定 - IP アドレス	DHCP 経由の IP アドレス 192.168.0.200
	- サブネットマスク	255.255.255.0
	- デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
＞ ビデオ&イメージ	センサー設定 - キャプチャーモード	1920*1080,30fps,NTSC
	ストリーム 1 設定 - コーデックタイプ	H.265
	- コーデック	H.265 Main Profile
	- 解像度	1920*1080
	- ビットレートコントロール	CBR
	- ビットレート	800Kbps
	- フレームレート	5
	- GOP サイズ	5
	ストリーム 2 設定 - コーデック	MJPEG
- 解像度	640*360	
- フレームレート	15	
- 画質	80	

階層	設定項目	初期設定値
> ビデオ&イメージ	ストリーム 3 設定 - コーデックタイプ - コーデック - 解像度 - ビットレートコントロール - ビットレート - フレームレート - GOP サイズ	H.265 H.265 Main Profile 640*360 CBR 400Kbps 5 5
	ストリーム 4 設定 - コーデックタイプ - コーデック - 解像度 - ビットレートコントロール - ビットレート - フレームレート - GOP サイズ	H.265 H.265 Main Profile 640*360 CBR 4000Kbps 15 15
> オーディオ	オーディオ設定 - オーディオ有効 KB-N320AS, KB-N420A KB-N520A, KB-N620A - 圧縮タイプ - サンプルレート - サウンドビットレート	チェックあり チェックなし G.711 u-law 8KHz 64Kbps
	オーディオ入力 - 入力 KB-N320AS, KB-N420A - 入力音量 - ミュート	自動検出 内部アンプ 5 チェックなし
	オーディオ出力 - オーディオ出力有効 - 出力音量 - ミュート	チェックなし 5 チェックなし
> 日付&時刻	日付&時刻設定 - タイムゾーン - サマータイムを有効にする - タイムモード	(GMT +09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo チェックなし パソコンの時刻と同期する
	日付&時刻フォーマット - 日付フォーマット - 時刻フォーマット	YYYY-MM-DD 24 時間

階層	設定項目	初期設定値
ビデオ&イメージ		
> 基本	基本設定 > ビデオ&イメージ 参照	
> プライバシーマスク	プライバシーマスク設定 - プライバシーマスク有効 - エリア(ID1~8)	チェックなし なし
> ハイストリーム	ハイストリーム設定 - ハイストリームを有効にする - 関心領域の画質 - 非関心領域の画質 - 非関心領域のフレームレート - 静的関心領域(ID1~8)	チェックなし 静的関心領域 標準 標準 5 なし
> カメラセットアップ	露出コントロール - モード - 露出目標 - 最大ゲイン - シャッター - 最長シャッター KB-N320AS, KB-N420A KB-N520A KB-N620A - 最短シャッター KB-N320AS, KB-N420A KB-N520A, KB-N620A - P アイリス モード (KB-N520A, KB-N620A) - 範囲 (KB-N520A, KB-N620A) - 絞り調整 (KB-N520A, KB-N620A) - DC アイリス 有効 (KB-N320AS, KB-N420A)	自動 5 中 自動 1/15s 1/30s 1/100s 1/10000s 自動 F1.6 ~ F2.8 24 チェックあり

階層	設定項目	初期設定内容
> カメラセットアップ	画像設定 - ブライツネス - コントラスト - 彩度 - 色相 - シャープネス - ホワイトバランスモード - R ゲイン - B ゲイン - G ゲイン	5 5 5 5 5 自動 512 512 256
	拡張機能 - WDR 機能を有効にする - 強度 - フリップ - ミラー - ノイズリダクションを有効にする - レベル - Defog 機能を有効にする - 強度 - 測光モード	チェックなし 中 チェックなし チェックなし チェックあり 中 チェックなし 中 センター
	デイ&ナイトコントロール - モード - しきい値 - スマートフォーカスを～ (KB-N420A, KB-N520A, KB-N620A)	自動 中 チェックなし
> カメラセットアップ	IR コントロール (KB-N520A, KB-N620A) - IR 有効 - IR タイプ - 最大光量 KB-N520A KB-N620A - スピード	チェックあり 固定 IR 3 1 5

階層	設定項目	初期設定内容
> OSD	OSD 設定 - ストリーム 1~4OSD 有効 - OSD 透明度 - 背景 有効	全てチェックあり 0 チェックなし
	OSD カラー - 文字色 - 背景色	白 黒
	OSD タイトル - OSD タイトル有効 - タイトル KB-N320AS KB-N420A KB-N520A KB-N620A - OSD サブタイトル有効 - サブタイトル	チェックなし KB-N320A KB-N420A KB-N520A KB-N620A チェックなし subtitle
	日付/時刻 - 日付&時刻 有効	チェックなし
オーディオ		
> 基本	基本設定 > オーディオ 参照	
イベント		
> イベント入力 > オンブート	オンブート設定 - オンブート有効 - 保持時間	チェックなし 3 秒
> イベント入力 > アラーム入力	アラーム入力 ポート 1 設定 - アラーム入力 ポート 1 有効 - タイプ - 保持時間	チェックなし NO 3 秒
> イベント入力 > マニュアルトリガー	マニュアルトリガー1~4 設定 - マニュアルトリガー1~4 を有効にする - 保持時間	チェックなし 3 秒
> イベント入力 > モーション検知	モーション検知設定 - モーション検知を有効にする - 検知領域 - しきい値 - 感度 - 保持時間 - 非検知領域	チェックなし エリアなし 2 55 3 秒 エリアなし

階層	設定項目	初期設定内容
> イベント入力 > ネットワークロス	ネットワークロス設定 - ネットワークロスを有効にする - 保持時間	チェックなし 3 秒
> イベント入力 > AIHM	AIHM 設定 - AHIM 有効 - 録画ステータスチェック有効 - イベントフォーマット有効	チェックなし チェックなし チェックなし
> イベント入力 > タイムトリガー	タイムトリガー設定 - タイムトリガー有効 - タイムトリガー 1 ~ 4 - 指定した日付に ~ - 日付 - 時刻 - 毎日、指定時刻に~ - 時刻 - 指定した曜日に~ - 曜日 - 時刻 - 毎月、指定日の~ - 日付 - 時刻	チェックなし チェックなし チェックなし 初期化の日付 初期化の時刻 チェックなし 初期化の時刻 チェックなし 初期化の曜日 初期化の時刻 チェックなし 初期化の日付 初期化の時刻

階層	設定項目	初期設定内容
> イベント入力 > VCA(映像解析)	VCA(映像解析)設定	
	- VCA(映像解析)有効にする	チェックなし
	オブジェクト	
	- 感度	80
	- 横幅 最小サイズ	2
	- 縦幅 最小サイズ	6
	- 横幅 最大サイズ	50
	- 縦幅 最大サイズ	60
ディテクションルール		
- 1 ~ 3	全て無効	
排他的領域		
- 排他的領域	エリアなし	
カメラ妨害検知		
- 保持時間	3 秒	
- 感度	50	
- 照明変化検出 点灯	チェックなし	
- 照明変化検出 消灯	チェックなし	
- 照明感度	60	
インテリジェントモーション検知		
- 保持時間	3 秒	
- 感度	85	
- エリア	左上側	
侵入検知		
- 侵入	チェックなし	
- 滞在	チェックなし	
- 退出	チェックなし	
- エリア	右上側	
ビデオコントロール		
- シーンの種類	屋外	
- 表示モード	水平	

階層	設定項目	初期設定内容
> イベント出力 > SMTP(Eメール送信)	SMTP(Eメール送信)設定 - SMTP(Eメール送信)を有効にする - 送信元 - イメージ添付 - インターバル - イベント蓄積数 - メールサーバー使用 - メールサーバー - ポート - 接続セキュリティ - ユーザー名 - パスワード - ログイン方法	チェックなし 設定なし チェックなし 60 秒 50 チェックなし 設定なし 25 なし 設定なし 設定なし SMTP 認証 (LOGIN)
	送信先メールアドレス - 送信先メールアドレス 1~8	設定なし
> イベント出力 > FTP&JPEG	FTP 設定 - FTP 有効 - サーバー1~4 FTP 設定 - FTP 有効 - パッシブモード - サーバー1(~4) - ポート - リモートディレクトリ - タイムフォルダー有効 - 時間タイプ - サーバー1~4 JPEG 設定 - プレイイベント - イベント - ポストイベント - ファイル名	チェックなし チェックなし チェックなし 設定なし 21 設定なし チェックなし 日 5 秒、1fps 1fps 5 秒、1fps basename_ + 日付/時刻
> イベント出力 > アラーム出力	アラーム出力設定 - アラーム出力を有効にする - タイプ	チェックなし NO
> イベント出力 > オーディオアラート	オーディオアラート設定 - オーディオアラート有効 - オーディオファイル 1~3	チェックなし 登録なし

階層	設定項目	初期設定内容
> イベント出力 > 録画	録画設定 <ul style="list-style-type: none"> - 録画を有効にする - 上書き - 連続録画 - ストリームタイプ - プレイイベント - ポストイベント - 音声録音 	チェックなし チェックあり チェックなし ストリーム 1 0 秒 0 秒 チェックなし
	録画スケジュール	全てのマスが録画する状態
	デバイス設定 <ul style="list-style-type: none"> - デバイスタイプ - アドレス - リモートディレクトリ - 容量 - ID - パスワード 	SD 設定なし 設定なし 0 GB 設定なし 設定なし
> イベント出力 > XML 通知	XML 通知設定 <ul style="list-style-type: none"> - XML 通知を有効にする - 通知サーバーURL - 通知サーバーポート 	チェックなし 設定なし 80
> イベント出力 > ブースト	ブースト設定 <ul style="list-style-type: none"> - ブースト有効 - ブーストストリーム 	チェックなし ストリーム 1
	ブーストコンディション <ul style="list-style-type: none"> - フレームレート - ビットレート (ストリーム 1,3,4) - 画質 (ストリーム 2) 	5 800 Kbps 80
> イベント出力 > 通知サーバー	通知サーバー設定 <ul style="list-style-type: none"> - 通知サーバーを有効にする - タイプ - メソッド - URL - ポート - ユーザー名 - パスワード 	チェックなし HTTP POST 設定なし 80 設定なし 設定なし
> イベント出力 > Hi-Link	ハイリンク設定 <ul style="list-style-type: none"> - ハイリンクイネーブル 	チェックなし
> イベントマップ	イベントマップリスト	登録なし

階層	設定項目	初期設定値
システム		
> インフォメーション	デバイス名設定 - デバイス名 KB-N320AS KB-N420A KB-N520A KB-N620A	ボックス型 IP カメラ/ ドーム型 IP カメラ/ 屋外用チューブ型 IP カメラ/ 屋外用ドーム型 IP カメラ
	ロケーション設定 - ロケーション 1~4	設定なし
> セキュリティ > ユーザー	ユーザー設定 - 匿名のビューワー~	チェックあり
	ユーザーリスト設定	admin 権限のみ登録済み
> セキュリティ > IPフィルタリング	IPフィルタリング設定 - IPフィルタリング有効 - ID1~5 ON/OFF - ID1~5 方針 - ID1~5 開始IP - ID1~5 終了IP	チェックなし チェックなし 許可 0.0.0.0 0.0.0.0
> セキュリティ > OpenVPN	OpenVPN 設定 - OpenVPN 有効	チェックなし クライアントモード
	クライアントモード設定 - サーバーURL - プロトコルタイプ - ポート - 再接続時間 - LZO 圧縮を使用 - ID - パスワード	設定なし UDP 1194 3600 秒 チェックあり 設定なし 設定なし
> 日付&時刻	日付&時刻設定 - タイムゾーン - サマータイムを有効にする - 手動でサマータイムを~ - サマータイム開始 - サマータイム終了 - 時間差 - タイムモード - NTP サーバー - NTP 間隔	(GMT +09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo チェックなし チェックなし 3 月 1 週(日) 00:00 10 月 1 週(日) 00:00 0 分 パソコンの時刻と同期する time.nist.gov 12 時間
	日付&時刻フォーマット - 日付フォーマット - 時刻フォーマット	YYYYY-MM-DD 24 時間

階層	設定項目	初期設定値
> ネットワーク > 基本	IP アドレス設定 - IP アドレス - サブネットマスク - デフォルトゲートウェイ	DHCP 経由の IP アドレス 192.168.0.200 255.255.255.0 192.168.0.1
	IPv6 アドレス設定 - IPv6 有効	チェックなし
	DNS 設定 - ドメイン名 - プライマリ DNS サーバー - セカンダリ DNS サーバー	次の DNS サーバーアドレスを使用する 設定なし 8.8.8.8 8.8.4.4
	サービス - HTTP ポート - HTTPS ポート - RTSP ポート	80 443 554
	リンクスピードコントロール - LAN インターフェイス - リンクスピード	オート 100Mbit/sec
> ネットワーク > DDNS	インターネット DDNS - DDNS 有効 - DDNS サーバー - ホスト名 - ユーザー名 - パスワード - 最長更新間隔	チェックなし cctv-network.co.kr 設定なし 設定なし 設定なし 1 時間
> ネットワーク > RTP	ポート範囲 - 開始ポート - 終了ポート	30000 30199
	マルチキャストストリーム 1~4 - マルチキャスト宛先 IP - RTP ポート - RTP TTL - 常時マルチキャスト	231.1.128.20~231.1.128.23 40000 1 チェックなし
	マルチキャスト(オーディオ) - マルチキャスト宛先 IP - RTP ポート - RTP TTL - 常時マルチキャスト	231.1.128.20 40002 1 チェックなし
	マルチキャスト(メタ) - マルチキャスト宛先 IP - RTP ポート - RTP TTL - 常時マルチキャスト	231.1.128.20 40004 1 チェックなし

階層	設定項目	初期設定値
> ネットワーク > UPnP	UPnP 設定 - UPnP 有効 - フレンドリー名	チェックあり モデル名-MAC アドレス 例:KB-N620A-0007D81A84F0
> ネットワーク > QoS	DSCP 設定 ライブストリーム DSCP イベント/アラーム DSCP マネージメント DSCP	0 0 0
	自動トラフィックコントロール - 自動トラフィックコントロールを~ - 最大帯域幅 - プライオリティ	チェックなし 1 Mbps フレームレート
> ネットワーク > NAT	通信 NAT トラバーサル設定 - 通信 NAT トラバーサルセットアップ - 外部 HTTP ポート - 外部 RTSP ポート	無効 10000 10001
> ネットワーク > Zeroconf	Zeroconf 設定 - Zeroconf を有効にする	チェックあり
> ネットワーク > Bonjour	Bonjour 設定 - Bonjour を有効にする フレンドリー名	チェックあり モデル名-MAC アドレス 例:KB-N620A-0007D81A84F0
> 言語	言語設定 - 言語	日本語

7章 トラブルシューティング

症状	確認	対処
映像が出ない / NVR または PC から接続できない	カメラの電源(PoE HUB や NVR)などの周辺機器に電源は入っていますか？	周辺機器の電源が入っていることを確認する。
	LAN ケーブルは正しく接続されていますか？	LAN ケーブルの接続を確認する。
	IP アドレスなどのネットワーク設定は正しいですか？	NVR または PC、カメラのネットワーク設定を確認の上、正しく設定する。
SmartManager でカメラが検索されない	カメラの電源(PoE や NVR など)などの周辺機器に電源は入っていますか？	周辺機器の電源が入っていることを確認する。
	LAN ケーブルは正しく接続されていますか？	LAN ケーブルを PC、カメラ、周辺機器と正しく接続する。
	SmartManager がファイアウォールなどでブロックされていませんか？	ファイアウォールやウイルス対策ソフトを一旦オフにする。
映像が映らない / 乱れる / ノイズが見える	アドオンのインストール、実行をブロックされていませんか？	Internet Explorer の設定を初期化する。 ファイアウォールやウイルス対策ソフトを一旦オフにし、Web ページをリロードする。
	LAN ケーブルは、STP ケーブル(カテゴリ5e 以上)を使用していますか？	LAN ケーブルを STP ケーブル(カテゴリ5e 以上)にする。
	LAN ケーブルの配線距離が仕様(100m)より、長くなっていませんか？	100m 以内で配線する。
	配線と平行して、AC100V/200V などの電源ラインが並走していませんか？ また経路にノイズ源がありませんか？	カメラの配線から商用電源ラインやノイズ源を離すように配線する
	接続する相手側のネットワーク機器が適切に接地されていますか？	接続する相手側のネットワーク機器を適切に接地する。
	金属の支柱や壁に設置している場合、カメラを絶縁していますか？	金属の支柱や壁に設置する際はカメラを絶縁する。
	映像がぼやける	フォーカスは合っていますか？
カメラのカバー、レンズは汚れていませんか？		きれいな布でふき取る。
映像が暗い	画像(画角)の中に照明などの光が入っていませんか？	照明が映らないようにカメラの角度を調整する。
	モニターの設定は正しいですか？	モニターの設定を確認する。
	WDR、測光モードの設定はできていますか？	WDR、測光モードを設定する。
	露出コントロールは正しく設定されていますか？	露出コントロールを設定する。
カラー撮影とモノクロ撮影が切り替わらない	照度センサーに直接光があたっていませんか？	カメラの角度を調整する。
	カメラのレンズ、カバーは汚れていませんか？	きれいな布でふき取る。
	デイ&ナイトコントロールのしきい値は適切ですか？	しきい値を調整する。
ネットワーク接続できない	接続やネットワーク設定に問題がありませんか？	ネットワーク管理者に相談する。
DDNS 接続でネットワークに接続できない	接続やネットワーク設定に問題がありませんか？	ネットワーク管理者に相談する。
	サービス提供元でアカウントやホスト名を作成していますか？	サービス提供元でアカウントとホスト名を作成後にDDNS設定をする。

8章 製品仕様

8-1 KB-N320AS

撮像素子	1/2.8 型 CMOS センサー (SONY STARVIS)	
出力端子	RJ-45 (10BASE-T / 100BASE-T)	
電源電圧	PoE (IEEE802.3af) / DC12V	
DC12V 入力電圧	2P スクリューレス端子台 (極性あり)	
最大消費電力	DC12V 動作時: 5.8W PoE 動作時: 5.2W	
外径寸法	66(幅) × 63(高さ) × 124(奥行)mm [カメラ本体]	
質量	約 330g [カメラ本体]	
動作温度(湿度)	-10℃ ~ +50℃ (0%~90% ただし結露なきこと)	
有効画素数	1920 × 1080 (約 200 万画素)	
全画素数	1945 × 1097	
映像圧縮方式	H.264 / H.265 / MJPEG	
フレームレート	1FPS ~ 30FPS	
レンズマウント	CS	
レンズ焦点距離	2.8mm ~ 12mm	
撮像角度	ワイド端	水平:約 97° / 垂直:約 53°
	テレ端	水平:約 35° / 垂直:約 20°
赤外線 投光器	投光距離	-
	投光角度	-
最低被写体照度 (F1.4)	カラー :0.13lx (AGC:中、電子シャッター:1/15s 時) モノクロ:0.013lx (AGC:中、電子シャッター:1/15s 時)	
電子シャッター	オート、1 秒~1/20,000 秒	
ワイドダイナミックレンジ (WDR)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH	
AGC	LOW、MIDDLE、HIGH	
フリッカレス	50Hz、60Hz	
デイ&ナイト	オート(ICR 開閉)、カラー固定、モノクロ固定	
ホワイトバランス	オート、マニュアル	
SENSUP	-	
ノイズ除去(3DNR)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH	

KB-N320AS(つづき)

霧除去(Defog)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH
プライバシーマスク	OFF、ON(最大 8 箇所)
動体検知	OFF、ON(最大 8 箇所)
画像反転	OFF、水平、垂直
調整用モニター出力	BNC(変換ケーブル付属、NTSC1.0Vp-p 75Ω)
音声入出力	入力:1 / 出力:1
音声圧縮方式	G.711
内蔵マイク	無指向性コンデンサマイク
アラーム入出力	入力:1 / 出力:1
イベント	オンブート、アラーム入力、マニュアルトリガー、モーション、ネットワーク接続停止、VCA 機能
VCA 機能	いたずら検知、侵入検知、モーション検知
ROI 機能	8 箇所
カードスロット	1(microSD/microSDHC/microSDXC)
アクション	FTP、Eメール、アラーム出力、ブースト
最大伝送距離	100m(LAN ケーブル)
防塵防水性能	-
原産国	韓国
付属品	カメラ本体(KB-N320A)、取扱説明書 -設置編-、特殊形状レンチ(フランジバック調整用)、調整用モニター出力ケーブル、レンズ(本体付属)、レンズ保護キャップ、CD-R

※仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。

8-2

KB-N420A

撮像素子	1/2.8 型 CMOS センサー (SONY STARVIS)	
出力端子	RJ-45 (10BASE-T / 100BASE-T)	
電源電圧	PoE (IEEE802.3af) / DC12V	
DC12V 入力電圧	DC ジャック (変換ケーブル付属)	
最大消費電力	DC12V 動作時: 5.8W PoE 動作時: 6.4W	
外径寸法	130(φ) × 94(高さ)mm	
質量	約 400g [カメラ本体]	
動作温度(湿度)	-10°C ~ +50°C (0%~90% ただし結露なきこと)	
有効画素数	1920 × 1080 (約 200 万画素)	
全画素数	1945 × 1097	
映像圧縮方式	H.264 / H.265 / MJPEG	
フレームレート	1FPS ~ 30FPS	
レンズマウント	-	
レンズ焦点距離	2.7mm ~ 12mm	
撮像角度	ワイド端	水平: 約 108° / 垂直: 約 57°
	テレ端	水平: 約 32° / 垂直: 約 18°
赤外線 投光器	投光距離	-
	投光角度	-
最低被写体照度 (F1.6)	カラー : 0.13lx (AGC: 中、電子シャッター: 1/15s 時) モノクロ: 0.013lx (AGC: 中、電子シャッター: 1/15s 時)	
電子シャッター	オート、1 秒 ~ 1/20,000 秒	
ワイドダイナミックレンジ (WDR)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH	
AGC	LOW、MIDDLE、HIGH	
フリッカレス	50Hz、60Hz	
デイ&ナイト	オート(ICR 開閉)、カラー固定、モノクロ固定	
ホワイトバランス	オート、マニュアル	
SENSUP	-	
ノイズ除去(3DNR)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH	

KB-N420A(つづき)

霧除去(Defog)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH
プライバシーマスク	OFF、ON(最大 8 箇所)
動体検知	OFF、ON(最大 8 箇所)
画像反転	OFF、水平、垂直
調整用モニター出力	BNC(変換ケーブル付属、NTSC1.0Vp-p 75Ω)
音声入出力	入力:1 / 出力:1
音声圧縮方式	G.711
内蔵マイク	無指向性コンデンサマイク
アラーム入出力	入力:1 / 出力:1
イベント	オンブート、アラーム入力、マニュアルトリガー、モーション、ネットワーク接続停止、VCA 機能
VCA 機能	いたずら検知、侵入検知、モーション検知
ROI 機能	8 箇所
カードスロット	1(microSD/microSDHC/microSDXC)
アクション	FTP、Eメール、アラーム出力、ブースト
最大伝送距離	100m(LAN ケーブル)
防塵防水性能	-
原産国	韓国
付属品	取扱説明書 -設置編-、DC 電源ケーブル、調整用モニター出力ケーブル、テンプレート紙、端子台、CD-R

※仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。

8-3

KB-N520A

撮像素子	1/2.8 型 CMOS センサー (SONY STARVIS)	
出力端子	RJ-45 (10BASE-T / 100BASE-T)	
電源電圧	PoE (IEEE802.3af) / DC12V	
DC12V 入力電圧	DC ジャック (変換ケーブル付属)	
最大消費電力	DC12V 動作時: 6.7W PoE 動作時: 6.9W	
外径寸法	80(幅) × 84(高さ) × 138(奥行)mm [カメラ本体]	
質量	約 830g [カメラ本体]	
動作温度(湿度)	-10°C ~ +50°C (0%~90% ただし結露なきこと)	
有効画素数	1920 × 1080 (約 200 万画素)	
全画素数	1945 × 1097	
映像圧縮方式	H.264 / H.265 / MJPEG	
フレームレート	1FPS ~ 30FPS	
レンズマウント	-	
レンズ焦点距離	2.8mm ~ 12mm	
撮像角度	ワイド端	水平: 約 100° / 垂直: 約 56°
	テレ端	水平: 約 33° / 垂直: 約 18°
F 値	F1.6~F5.6	
赤外線 投光器	投光距離	約 30m
	投光角度	約 76°
最低被写体照度	カラー : 0.13lx (AGC: 中、電子シャッター: 1/15s 時) モノクロ: 0.013lx (AGC: 中、電子シャッター: 1/15s 時) モノクロ: 0lx (赤外線照射時)	
電子シャッター	オート、1 秒~1/20,000 秒	
ワイドダイナミックレンジ (WDR)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH	
AGC	LOW、MIDDLE、HIGH	
フリッカレス	50Hz、60Hz	
デイ&ナイト	オート(ICR 開閉)、カラー固定、モノクロ固定	
ホワイトバランス	オート、マニュアル	
SENSUP	-	
ノイズ除去(3DNR)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH	

KB-N520A(つづき)

霧除去(Defog)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH
プライバシーマスク	OFF、ON(最大 8 箇所)
動体検知	OFF、ON(最大 8 箇所)
画像反転	OFF、水平、垂直
調整用モニター出力	BNC(変換ケーブル付属、NTSC1.0Vp-p 75Ω)
音声入出力	入力:1 / 出力:1
音声圧縮方式	G.711
内蔵マイク	-
アラーム入出力	入力:1 / 出力:1
イベント	オンブート、アラーム入力、マニュアルトリガー、モーション、ネットワーク接続停止、VCA 機能
VCA 機能	いたずら検知、侵入検知、モーション検知
ROI 機能	8 箇所
カードスロット	1(microSD/microSDHC/microSDXC)
アクション	FTP、Eメール、アラーム出力、ブースト
最大伝送距離	100m(LAN ケーブル)
防塵防水性能	IP66
原産国	韓国
付属品	取扱説明書 -設置編-、DC 電源ケーブル、調整用モニター出力ケーブル、サンシェード、サンシェード取付ビス、ポリワッシャー、落下防止ワイヤー取付ビス、特殊形状レンチ、絶縁ブッシュ、端子台、LAN コネクター用防水カバー、自己融着テープ、絶縁プレート、カメラ取付ビス、CD-R

※仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。

8-4

KB-N620A

撮像素子	1/2.8 型 CMOS センサー (SONY STARVIS)	
出力端子	RJ-45 (10BASE-T / 100BASE-T)	
電源電圧	PoE (IEEE802.3af) / DC12V	
DC12V 入力電圧	DC ジャック (変換ケーブル付属)	
最大消費電力	DC12V 動作時: 6.5W PoE 動作時: 6.9W	
外径寸法	144(φ) × 99(高さ)mm	
質量	約 780g	
動作温度(湿度)	-10°C ~ +50°C (0%~90% ただし結露なきこと)	
有効画素数	1920 × 1080 (約 200 万画素)	
全画素数	1945 × 1097	
映像圧縮方式	H.264 / H.265 / MJPEG	
フレームレート	1FPS ~ 30FPS	
レンズマウント	-	
レンズ焦点距離	2.8mm ~ 12mm	
撮像角度	ワイド端	水平: 約 100° / 垂直: 約 56°
	テレ端	水平: 約 33° / 垂直: 約 18°
F 値	F1.6~F5.6	
赤外線 投光器	投光距離	約 20m
	投光角度	約 76°
最低被写体照度	カラー : 0.13lx (AGC: 中、電子シャッター: 1/15s 時) モノクロ: 0.013lx (AGC: 中、電子シャッター: 1/15s 時) モノクロ: 0lx (赤外線照射時)	
電子シャッター	オート、1 秒~1/20,000 秒	
ワイドダイナミックレンジ (WDR)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH	
AGC	LOW、MIDDLE、HIGH	
フリッカレス	50Hz、60Hz	
デイ&ナイト	オート(ICR 開閉)、カラー固定、モノクロ固定	
ホワイトバランス	オート、マニュアル	
SENSUP	-	
ノイズ除去(3DNR)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH	

KB-N620A(つづき)

霧除去(Defog)	OFF、LOW、MIDDLE、HIGH
プライバシーマスク	OFF、ON(最大 8 箇所)
動体検知	OFF、ON(最大 8 箇所)
画像反転	OFF、水平、垂直
調整用モニター出力	BNC(変換ケーブル付属、NTSC1.0Vp-p 75Ω)
音声入出力	入力:1 / 出力:1
音声圧縮方式	G.711
内蔵マイク	-
アラーム入出力	入力:1 / 出力:1
イベント	オンブート、アラーム入力、マニュアルトリガー、モーション、ネットワーク接続停止、VCA 機能
VCA 機能	いたずら検知、侵入検知、モーション検知
ROI 機能	8 箇所
カードスロット	1(microSD/microSDHC/microSDXC)
アクション	FTP、Eメール、アラーム出力、ブースト
最大伝送距離	100m(LAN ケーブル)
防塵防水性能	IP66
原産国	韓国
付属品	取扱説明書 -設置編-、乾燥剤、特殊形状レンチ、DC 電源ケーブル、自己融着テープ、調整用モニター出力ケーブル、LAN コネクター用防水カバー、テンプレート紙、端子台、CD-R



保証書について

付属の冊子(取扱説明書 -設置編-)の背面が、保証書になります。

※お願い: お買い上げ時に必ず保証書にご記入ください。保証書は大切に保存して下さい。再発行は致しません。

〈保証規定〉

1. 本保証は、持ち込みされた機器の修理サービスを提供するものであり、修理に係る費用(オンコール費、出張修理費、施工費)、修理期間の代替器対応をご提供するサービスではありません。但し、同時にメンテナンス契約を締結する際は、その限りではありません。
2. 不具合機器の取り外し、取付け、再設定等は別途費用が発生します。
3. 次の事由による損害の場合は、保証の対象にはなりません。
 - A 弊社窓口以外に修理を依頼された場合
 - B 修理に際し、保証書の提示がない場合
 - C 次に掲げる事由によって生じた本商品の故障または損傷
 - ・不適切な使用(落下、衝撃、冠水、電池液漏れ等)、または維持、管理の不備によって生じた故障または損傷
 - ・使用上の誤り(取扱説明書記載以外の使用)、または純正部品以外の管理の不備によって生じた故障または損傷
 - ・地震、噴火、津波、地盤変動・地盤沈下、風害、水害、その他の天災ならびにガス害、塩害、公害および異常電圧
 - ・火災、落雷、破裂、爆発または外部からの物体の落下、飛来、衝突、もしくは倒壊等の偶然かつ外来の事由
 - D 取付場所の移動、落下等によって生じた本商品の故障または損傷
4. 保証期間について
 - A 機器販売のみの場合…機器発送日を保証開始日とします。
 - B 工事を含む場合…工事完了日を保証開始日とします。

〈保証条件〉

1. 次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。
 - A 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障
 - B 災害など不可抗力による損傷
 - C 本書上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合
2. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物(PC、ソフトウェアを含みます)に生じた故障もしくは損傷等の損害
3. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物が使用できなかったことによって生じた損害
4. 故障および損害の認定等について、弊社と使用者の間で見解の相違が生じた場合には、中立的な第三者の意見を求めることがあります。
5. 遠隔地へのお出張修理を依頼される場合は、その出張に要する実費を申し受けます。
6. 本保証は日本国内においてのみ有効です。

〈補修用性能部品の保有期間〉

弊社では防犯カメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。ただし、保有期間内であっても無くなる場合、また期間が終わっても保有している場合がありますので詳しくは修理窓口にお問い合わせください。

〈修理不能の場合〉

修理不能の場合は、代替器または後継機器によるユニット交換となる場合があります。

〈メンテナンスについて〉

防犯・監視用途でご利用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認ください。

株式会社 ケービデバイス

本社 〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町 22 番地 2

TEL 075-354-3372 FAX 075-354-3382



※製品の定格及びデザインは改良の為予告無く変更することがあります。